



北海道立函館美術館年報



2017-2018 (平成29-30) 年度

北海道立函館美術館年報

2017 - 2018 (平成29 - 30) 年度

HAKODATE MUSEUM OF ART, HOKKAIDO

目次

展覧会事業

ミュージアム・コレクション

- 1.近代彫刻…………… 3
- 2.鷗亭記念室…………… 4
- 3.常設展示室…………… 10

特別展

- 平成29-30年度特別展一覧…………… 13
- 昭和の洋画を切り拓いた若き情熱…………… 14
- ニッポンの写実 そっくりの魔力…………… 18
- 生誕120年記念 田辺三重松展…………… 22
- 猫まみれ展…………… 25
- 追悼特別展 高倉健…………… 32
- 道南四都物語…………… 42
- 奇才・ダリ版画展…………… 46
- 歌川広重 二つの東海道五拾三次…………… 53
- ケータイ絵文字のほっこりワールド
ハコビ・コレクションの文字と記号…………… 55
- 生誕110年 岩船修三展／水辺のものがたり…………… 58

教育普及事業

- 1.美術講演会…………… 61
- 2.アーティスト・トーク…………… 61
- 3.ギャラリー・トーク…………… 61
- 4.特別展セミナー…………… 62
- 5.ギャラリー・ツアー…………… 62
- 6.ファミリー・ツアー…………… 63
- 7.美術映画会…………… 63
- 8.キッズ・シアター…………… 64
- 9.コンサート…………… 64
- 10.マジカル・ワークショップ…………… 65
- 11.ワークショップ…………… 66
- 12.書道ワークショップ…………… 66
- 13.ハコビ・アトリエ…………… 67
- 14.絵本のよみきかせ…………… 67
- 15.波響ぐるっと4館ツアー…………… 68
- 16.美術と味覚のイベント…………… 68
- 17.その他のイベント…………… 69
- 18.その他のプログラム…………… 70
- 19.出張アート教室…………… 70
- 20.道立函館美術館活用学習のための指導者研修…………… 70
- 21.教員のための鑑賞研修…………… 71
- 22.博物館実習…………… 72

美術作品の収集

- 平成29年度作品収集状況・収集作品一覧…………… 73
- 平成30年度作品収集状況・収集作品一覧…………… 74
- 収集作品図版目録…………… 76
- 美術作品の貸出…………… 81
- 貸館事業(書道展、夕陽会、アニメ映画上映会)…………… 82
- 刊行物…………… 82
- 展覧会別観覧状況…………… 83
- 関係者名簿及び職員…………… 84
- 沿革…………… 85
- 建築設備概要…………… 86

● 展覧会事業

ミュージアム・コレクション

館内中央ホール、ロビー、中庭、前庭には、ロダン、ブールデル、ルノワールなどの西洋近代彫刻ならびに日本の近代彫刻を展示している。また、書と東洋美術を展示する鷗亭記念室と、主に道南ゆかりの美術や現代美術を紹介する常設展示室において、年3回の展示替えを行いながら、当館の所蔵品および受託作品を紹介している。

1. 近代彫刻

ホールには、ヨーロッパの近代彫刻を代表するロダン、ブールデルの作品のほか、ルノワールの彫刻作品《勝利のヴィーナス》を、ロビー・中庭には西洋および日本の近代彫刻を展示している。また、前庭にはモニュメントとして、ブールデルの《自由》《サッフオー》を展示している。

(ホール展示作品)

オーギュスト・ロダン	《衣をまとったバルザック》	1897
オーギュスト・ルノワール	《勝利のヴィーナス》	1915-16
エミール=アントワヌ・ブールデル	《衣をまとったベートーヴェン》	1910
〃	《聖母子(アルザスの聖母像)》	1919-20
〃	《ベートーヴェンの首》	1929
小川 誠	《祈り》	1999

(ロビー展示作品)

エミール=アントワヌ・ブールデル	《果実》	1911
〃	《悲愴(十字架のベートーヴェン)》	1929
北村 治禧	《心の舞》	1983(昭和58)
古賀 忠雄	《平和》	1965(昭和40)
〃	《草原の朝(馬と少年)》	1970(昭和45)

(中庭展示作品)

池田 譲	《□<○》	1995(平成7)
池田 譲	《作品9706》	1997(平成9)

(前庭展示作品)

エミール=アントワヌ・ブールデル	《自由》	1923
〃	《サッフオー》	1925



ホール



オーギュスト・ロダン
《衣をまとったバルザック》



オーギュスト・ルノワール
《勝利のヴィーナス》



中庭 池田 譲 《作品9706》



小川 誠 《祈り》



美術館全景



エミール=アントワヌ・ブールデル
《自由》



エミール=アントワヌ・ブールデル
《サッフオー》

2. 鷗亭記念室

松前出身の書家、金子鷗亭の作品をはじめとする日本の近現代の書家の作品、そして鷗亭から寄贈された中国・日本の絵画、中国・朝鮮の陶磁器、中国の書家の作品など、東洋美術と書の世界を中心に展示紹介するほか、常設展示室と共通するテーマ展示も行っている。

平成29年度

※観覧者数は、常設展示室と共通である。

	タイトル・テーマ	会期	日数	観覧者数	展示概要
1	ミュージアム・コレクション春夏: 花鳥のながめ 蠣崎波響から 山口蓬春まで	2017. 4. 8(土)～9. 1(金)	112	10,053	東洋画の伝統的画題である「花鳥」をキーワードに、いきものや植物などをテーマとする絵画、書、工芸作品を展示し、あわせて新収蔵品を紹介。 ※常設展示室と共通のテーマによる展示
2	ミュージアム・コレクション秋冬: こころを筆にのせてー金子 鷗亭と近代詩文書	2017. 10. 4(水)～2018. 1. 21(日)	88	6,974	日本近代の詩歌、自作の俳句や短歌をモチーフにした金子鷗亭による近代詩文書の代表作を展示。
3	ミュージアム・コレクション冬春: 高麗青磁と李朝白磁	2018. 1. 31(水)～3. 31(土)	52	2,869	金子鷗亭旧蔵の高麗青磁と朝鮮白磁のコレクションを一堂に展示。

平成30年度

※観覧者数は、常設展示室と共通である。

	タイトル・テーマ	会期	日数	観覧者数	展示概要
1	ミュージアム・コレクション春夏: 金子鷗亭 ふるさと・北をう たう	2018. 4. 7(土)～8. 26(日)	103	9,908	ふるさと・北海道を題材にした近現代の文学、自作の短歌や俳句をモチーフにした金子鷗亭作品を展示。
2	ミュージアム・コレクション秋冬: たべもの×アート=おいし い関係	2018. 10. 5(金)～2019. 2. 3(日)	97	5,645	食べ物という身近なモチーフを取り上げた絵画、書、彫刻、工芸作品を、6つのテーマのもとに展示。 ※常設展示室と共通のテーマによる展示
3	ミュージアム・コレクション冬春: 東洋の美	2019. 2. 9(土)～3. 31(日)	58	2,241	金子鷗亭の旧蔵の書画と工芸作品からよりすぐって展示。

鷗亭記念室出品目録

平成29年度

2017.4.8(土)～9.1(金) ミュージアム・コレクション春夏：花鳥のながめー蠣崎波響から山口蓬春まで

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵
1	長谷川溝二郎	[花](未完)	制作年不詳	油彩・キャンバス	33.4×24.3	
2	益田春光	鶯宿梅	制作年不詳	紙本彩色・屏風(四曲一隻)	130.0×193.9	
3	蠣崎波響	桜花図(岡本花亭詩書)	詩:1833(天保4)	紙本淡彩・墨書・軸	画58.6×53.3 詩43.0×53.3	
4	蠣崎波響	名鷹図	1815(文化12)	絹本彩色・軸	100.4×43.8	
5	山口蓬春	瑞鶴	1943(昭和18)	絹本彩色・軸	141.5×50.8	
6	蠣崎波響	瑞鶴祥雛(愛子鶴図)	1826(文政9)	絹本彩色・軸	98.0×34.0	
7	北條玉洞	鶏朝顔図	制作年不詳	紙本彩色・軸	113.2×41.9	
8	熊谷守一	芽若葉	制作年不詳	紙本彩色・軸	39.0×49.0	
9	歌川国貞(二代)	牡丹の園 今様源氏	1861(文久元)	木版・紙(大判錦絵三枚続)	37.5×76.3	
10	歌川国貞(三代豊国)	風流五行之内 土性	1864(文治元)	木版・紙(大判錦絵三枚続)	35.4×72.8	
11	炭光任	牡丹芥子	1945-54(昭和20年代)頃	絹本彩色	102.0×83.5	
12	上村淳之	冬日	制作年不詳	紙本彩色	38.0×45.0	
13	大山忠作	白梅	制作年不詳	紙本彩色	45.0×33.0	
14	田辺三重松	薔薇	1963(昭和38)	油彩・キャンバス	53.0×45.5	
15	浅倉五十吉	花と鳩(九谷)	1985(昭和60)	陶磁	25.0×25.0×3.0	
16		古九谷雲雁文五彩七寸皿	江戸前期	陶磁	20.5×20.5×3.0	
17		古九谷瑞鳥文皿	江戸前期	陶磁	20.0×20.0×3.0	
18	北上聖牛	竹図	1925(大正14)頃	絹本彩色・屏風(六曲一隻)	168.5×372.0	
19	山口蓬春	松原図	1932(昭和7)	紙本彩色・屏風(二曲一双)	各168.0×169.9	
20	中野越南	後撰集	1930(昭和5)	墨・紙・卷子	18.0×292.0	
21	金子鷗亭	若山牧水歌 山ざくらの歌六連	1991(平成3)	墨・紙・屏風(六曲一隻)	各137.4×49.5	
22		呉須赤絵花鳥文大皿	明代末期	陶磁	38.5×38.5×9.5	
23	金子鷗亭	与謝蕪村句 虹を吐いて	1985(昭和60)	墨・紙・軸	138.0×27.0	
24	金子鷗亭	高浜虚子句 白牡丹といふ	1985(昭和60)	墨・紙・軸	138.0×27.0	
25	金子鷗亭	原石鼎句 鮎の背に	1983(昭和58)	墨・紙	35.0×47.0	
26	小川東州	鶴	1977(昭和52)	墨・紙	67.5×59.3	
27	金子鷗亭	松尾芭蕉六句	1994(平成6)	墨・紙・屏風(六曲一隻)	39.0×49.0	
新収蔵作品コーナー						
28	三箇三郎	前線通過	2009(平成21)	油彩・キャンバス	161.0×193.0	
29	三箇三郎	錦秋	2015(平成27)	油彩・キャンバス	129.0×160.9	
30	岩船修三	アラスカ山脈(マッキンレー)	1984(昭和59)	リトグラフ・紙	31.5×41.5	
31	岩船修三	憩う女	1984(昭和59)	リトグラフ・紙	31.5×40.0	
32	岩船修三	秋の大雪山	1984(昭和59)	リトグラフ・紙	41.0×31.0	
33	岩船修三	はこだて港	1984(昭和59)	リトグラフ・紙	31.0×41.5	

2017.10.4(水)～2018.1.21(日) ミュージアム・コレクション秋冬：こころを筆にのせてー金子鷗亭と近代詩文書

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵
1		三彩虎形水滴	宋代	陶磁	8.0×5.0×6.0	
2	金子鷗亭	宮沢賢治詩 雨ニモマケズ	1987(昭和62)	墨・紙	151.5×249.0	
3		馬肝色翔龍長方硯	宋代	石	13.9×23.3×8.0	
4		馬肝色太史式蜘蛛硯	宋代	石	18.0×28.5×7.1	
5		大西洞硯板	明代	石	15.8×23.5×4.8	
6		八星硯		石	16.0×19.3×2.7	
7		歙州眉子紋硯		石	10.8×18.9×3.0	
8	金子鷗亭	萩原朔太郎詩 竹	1979(昭和54)	墨・紙・屏風(二曲一隻)	102.5×264.0	函館市蔵(当館受託)
9	荒川武夫	鷗亭題字「鷹一つ」虎溪山唐津風茶硯	1984(昭和59)	陶磁	9.5×9.5×9.5	
10	金子鷗亭	石川啄木二首 潮かをる/函館の	1981(昭和56)	墨・紙	各138.0×33.5二連 (表装寸)148.0×81.5	
11	金子鷗亭	北原白秋詩 海雀	1952(昭和27)	墨・紙	67.5×132.5	函館市蔵(当館受託)
12	金子鷗亭	小野十三郎詩 断崖	1955(昭和30)	墨・紙	68.0×134.5	函館市蔵(当館受託)
13		青花龍文筆盒(景德鎮窯)	明代(16世紀末～17世紀初頭)	陶磁	31.0×12.5×9.5	
14		堆朱花鳥龍文筆筒	清代	漆工	12.0×12.0×12.0	
15		白玉蕉葉筆洗	清代	玉	15.5×8.5×5.0	
16		琥珀人物形筆架	清代	琥珀	7.0×4.0×7.5	
17		龍首水滴	清代	金工	13.0×6.5×7.5	
18	金子鷗亭	井上靖詩 交脚弥勒	1986(昭和61)	墨・紙・屏風(八曲一隻)	137.5×399.0(屏風寸)171.0×434.0	

*所蔵に記載のない作品はすべて当館蔵

2018.1.31(水)～ 3.31(土) ミュージアム・コレクション冬春:高麗青磁と李朝白磁

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵
1		青磁陰刻雲鶴文茶碗	高麗時代(12世紀)	陶磁	14.5×14.5×5.0	
2		青磁陰刻花文鉢	高麗時代(12世紀)	陶磁	16.5×16.5×8.0	
3		青磁陰刻龍文鉢	高麗時代(11世紀)	陶磁	18.0×18.0×8.0	
4		青磁象嵌菊花文鉢	高麗時代(14世紀)	陶磁	20.0×20.0×8.0	
5		青磁茶碗	高麗時代(14世紀)	陶磁	18.0×18.0×6.5	
6		青磁陰刻鳳凰文鉢	高麗時代(14世紀)	陶磁	18.5×18.5×8.0	
7		三島花文扁壺	朝鮮時代	陶磁	17.0×12.5×21.0	
8		黒釉扁壺	高麗時代(14世紀)	陶磁	17.0×12.0×23.0	
9		黒釉盤口瓶	高麗時代(13世紀)	陶磁	14.5×14.5×23.0	
10		青磁鉄砂盤口瓶	高麗時代(14世紀)	陶磁	14.5×14.5×24.5	
11		青磁盤口瓶	高麗時代(14世紀)	陶磁	13.0×13.0×24.5	
12		三島刷毛目瓶	朝鮮時代	陶磁	15.0×15.0×31.0	
13		白泥地鉄絵唐草文瓶	朝鮮時代(16世紀)	陶磁	17.0×17.0×29.0	
14		刷毛目鉄絵草文壺	朝鮮時代	陶磁	16.0×16.0×31.0	
15		白泥地灰釉瓶	朝鮮時代(15世紀)	陶磁	14.0×14.0×23.0	
16		白泥黒釉たれ盤口瓶	朝鮮時代(15世紀)	陶磁	14.0×14.0×24.5	
17		白磁提灯形大壺	朝鮮時代	陶磁	31.0×31.0×34.0	
18		白磁提灯形壺	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	23.0×23.0×34.5	
19		井戸茶碗	朝鮮時代(16世紀)	陶磁	17.0×17.0×8.0	
20		井戸茶碗	朝鮮時代(16世紀)	陶磁	16.0×16.0×7.5	
21		伊羅保刷毛茶碗	朝鮮時代(16世紀)	陶磁	16.0×16.0×8.0	
22		三島刷毛目茶碗	朝鮮時代	陶磁	20.0×16.0×10.5	
23		李朝文字絵(義)	朝鮮時代	紙本彩色・軸	50.0×30.0	
24		白磁辰砂花卉文壺	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	16.0×16.0×10.5	
25		辰砂鉄砂三桃水滴	朝鮮時代	陶磁	15.0×15.0×11.0	
26		辰砂石榴大水滴	朝鮮時代	陶磁	16.0×16.0×13.0	
27		白磁辰砂花瓜形水滴	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	11.0×11.0×7.5	
28		白磁八角面取瓶	朝鮮時代(17世紀)	陶磁	8.5×8.5×10.0	
29		白磁染付辰砂獅子水滴	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	8.0×6.0×6.0	
30		白磁辰砂鳥文八角面取瓶	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	5.5×5.5×10.2	
31		辰砂龍形水滴	朝鮮時代	陶磁	16.0×5.5	
32		白磁染付辰砂花瓶	朝鮮時代	陶磁	18.5×18.5×27.5	
33		染付花瓶	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	17.0×17.0×27.0	
34		白磁染付鶴文瓶	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	14.0×14.0×23.0	
35		白磁染付花瓶	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	12.5×12.5×18.5	
36		白磁染付牡丹文瓶	朝鮮時代(17世紀)	陶磁	16.0×16.0×28.0	
37		青磁鴨形水滴	高麗時代(14世紀)	陶磁	12.0×2.5×6.0	
38		青磁象嵌八角面取花文水滴	高麗時代(14世紀)	陶磁	5.0×5.0×2.5	
39		青磁油壺	高麗時代(14世紀)	陶磁	6.0×6.0×5.0	
40		青磁象嵌点文瓶	高麗時代(14世紀)	陶磁	6.5×6.5×11.5	
41		象嵌三島手瓶	朝鮮時代(15世紀)	陶磁	10.0×10.0×14.5	
42		青磁象嵌三島手瓶	朝鮮時代(15世紀)	陶磁	10.0×10.0×10.0	
43		青磁象嵌三島手瓶	朝鮮時代(15世紀)	陶磁	8.5×8.5×15.0	
44		青磁象嵌三島手瓶	朝鮮時代(15世紀)	陶磁	8.5×8.5×15.0	
45		青磁象嵌三島手瓶	朝鮮時代(15世紀)	陶磁	8.5×8.5×16.5	
46		青磁象嵌三島手茶碗	朝鮮時代(15世紀)	陶磁	14.0×14.0×9	
47		鉄絵竹文扁壺	朝鮮時代(16世紀)	陶磁	15.5×6.0×18.0	
48		白磁染付獅子水滴	朝鮮時代(19世紀)	陶磁	16.0×9.0×10.0	
49		白磁丸形水滴	朝鮮時代(17世紀)	陶磁	10.5×10.5×11.0	
50		白磁染付花文水滴	朝鮮時代(17世紀)	陶磁	7.5×7.5×4.0	
51		白磁染付唐草文八角面取水滴	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	11.0×11.0×7.0	
52		白磁染付菊花文丸形水滴	朝鮮時代(17世紀)	陶磁	10.0×10.0×8.5	
53		白磁染付蘭花文八角面取水滴	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	12.0×12.0×6.0	
54		白磁染付柿形面取水滴	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	7.5×6.5×6.5	
55		染付花文六角水滴	朝鮮時代	陶磁	4.0×4.0×2.0	
56		染付花卉文八角水滴	朝鮮時代	陶磁	5.5×5.5×3.0	
57		染付花卉文六角水滴	朝鮮時代	陶磁	5.5×5.5×2.0	
58		染付花卉文角形水滴	朝鮮時代	陶磁	9.0×9.0×6.0	
59		白磁染付山水大水滴	朝鮮時代(17世紀)	陶磁	14.5×14.5×10.0	
60		白磁染付山水水滴	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	7.0×7.5×4.5	
61		白磁染付山水環形水滴	朝鮮時代(19世紀)	陶磁	9.0×9.0×4.0	
62		白磁染付山水水滴	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	6.5×7.0×4.5	
63		染付角形山水水滴	朝鮮時代	陶磁	6.0×6.0×3.0	
64		白磁染付山水水滴	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	8.5×8.5×3	
65		白磁染付龍文壺	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	18.0×18.0×27.5	

平成30年度

2018.4.7(土)～ 8.26(日) ミュージアム・コレクション春夏:金子鷗亭 ふるさと・北をうたう

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵
1	金子鷗亭	北原白秋詩 曇り日のオホーツク海	1984(昭和59)	墨・紙・屏風(四曲一双)	各138.0×51.0八連 (屏風寸)各172.0× 266.0	
2	金子鷗亭	北原白秋詩 曇り日のオホーツク海	1987(昭和62)	墨・紙・屏風(八曲一隻)	134.0×402.0(屏風 寸)171.5×423	
3	金子鷗亭	自作句 溪若葉	1979(昭和54)	墨・紙	100.0×131.0	
4	金子鷗亭	自詠 仰向ける	1989(平成元)	墨・紙	179.0×77.0	
5	金子鷗亭	自作句 杈構へ	1996(平成8)	墨・紙	53.5×136.4	
6	金子鷗亭	石川啄木歌 砂山の	1998(平成10)	墨・紙	50.3×136.0	
7	金子鷗亭	石川啄木二首 潮かをる/函館の	1981(昭和56)	墨・紙	各138×33.5二連 (表 装寸)148.0×81.5	
8	金子鷗亭	自詠 幾萬億	1993(平成5)	墨・紙	178.5×76.5	
9	金子鷗亭	自作句 天地ただ	1985(昭和60)	墨・紙	132.5×55.5	
10	金子鷗亭	抱朴含真	1984(昭和59)頃	墨・紙		
11	金子鷗亭	荒川武夫宛 金子鷗亭書状	1984(昭和59)	墨・紙・軸		
12	荒川武夫	鷗亭題字「芭蕉句 明月や」虎溪山唐津風 茶碗	1984(昭和59)	陶磁	14.0×14.0×8.0	
13	荒川武夫	鷗亭題字「芭蕉句 閑さや」虎溪山唐津風 茶碗	不詳	陶磁	14.5×14.5×8.5	
14	荒川武夫	鷗亭題字「芭蕉句 山路来て」虎溪山唐津 風茶碗	1984(昭和59)	陶磁	11.0×11.0×9.0	
15	荒川武夫	鷗亭題字「鷹一つ」虎溪山唐津風茶碗	1984(昭和59)	陶磁	9.5×9.5×9.5	
16	荒川武夫	鷗亭題字「天賜清福」虎溪山唐津風茶碗	不詳	陶磁	13.0×13.0×9.0	
17	荒川武夫	鷗亭題字「寶字」虎溪山唐津風茶碗	不詳	陶磁	11.0×11.0×8.5	
18	荒川武夫	鷗亭題字「萬寿」虎溪山皿	1984(昭和59)	陶磁	24.0×24.0×2.5	
19	荒川武夫	鷗亭題字「牧水歌 ひともとや」虎溪山皿	不詳	陶磁	24.0×24.0×2.5	
20	荒川武夫	鷗亭題字「延寿萬歳」虎溪山皿	不詳	陶磁	23.0×23.0×2.5	

2018.10.5(金)～ 2019.2.3(日) ミュージアム・コレクション秋冬:たべもの×アート=おいしい関係

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵
1	エミール・アントワーヌ・ブルーデル	果実	1911	ブロンズ		
2	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:ベジタリアン・ベジタブル	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
3	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:ニューイングランド・クラムチャウダー	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
4	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:チキン・ダンプリング	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
5	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:ホット・ドッグ・ビーコン	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
6	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:オイスター・シチュー	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
7	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:トマト・ビーフ・ヌードル	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
8	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:ゴールデン・マッシュルーム	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
9	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ:チェダー・チーズ	1969	シルクスクリーン・紙	88.9×58.4	
10	金子鷗亭	若山牧水歌 われいまだ	1995(平成7)	墨・紙・額	137.0×51.7	
11	田辺三重松	鮮魚一匹	1948(昭和23)	油彩・キャンバス	34.0×45.0	
12	高森明	カスベ・鳥		油彩・キャンバス	161.5×129.5	
13	田辺三重松	海辺の春日	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	162.1×130.3	
14	上野山清貢	鮭		油彩・キャンバス	67.0×33.5	
15	金子鷗亭	若山牧水歌 野葡萄の	1985(昭和60)	墨・紙・額	47.0×74.0	
16	橋本三郎	逆光卓とオレンジ	1948(昭和23)	油彩・キャンバス	100.1×65.8	
17	山本行雄	モディブ・イン・ライト	1920(大正9)	油彩・キャンバス	60.0×72.0	
18	岩田治子	静物(かき)	1986(昭和61)	油彩・キャンバス	90.9×72.7	
19	岩田治子	静物(洋なし)	1987(昭和62)	油彩・キャンバス	100.0×80.3	
20	岩田治子	静物(モモ)	1989(平成元)	油彩・キャンバス	90.9×72.7	
21	木村訓丈	六つのはまなすの実	1985(昭和60)	アクリル・キャンバス、パネル	52.0×46.0	
22	長谷川隣二郎	蜜柑とレモン	1977(昭和52)	油彩・キャンバス	26.1×22.8	
23	長谷川隣二郎	果物籠	1980(昭和55)	油彩・キャンバス	23.2×35.0	函館市蔵(当館受託)
24	前田政雄	壺と桃	1933(昭和8)頃	油彩・キャンバス	35.2×45.0	
25	前田政雄	ざくろ		油彩・キャンバス	19.8×26.5	
26	前田政雄	果物	1933(昭和8)頃	油彩・キャンバス	24.5×39.4	
27	平塚運一	エキス・リブリス	1928(昭和3)	木版・紙(『版』第3号)	9.7×7.2	
28	松本満子	柿	1928(昭和3)	木版・紙(『版』第5号)	6.4×6.4	
29		辰砂石榴大水滴	朝鮮時代	陶磁	16.0×16.0×13.0	
30		白磁染付柿形面取水滴	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	7.5×6.5×6.5	
31		祥瑞手桃形香合(景德鎮窯)	清代	陶磁	6.5×6.5×8.0	
32		辰砂桃水柱(景德鎮窯)	清代	陶磁	19.0×9.5×15.0	
33		辰砂鉄砂三桃水滴	朝鮮時代	陶磁	15.0×15.0×11.0	
34	瀬戸英樹	牛乳台のある風景	1983(昭和58)	油彩・キャンバス	182.3×227.4	
35	柿原俊男	ナチュラル・モルト	1928(昭和3)	木版・紙(『版』第4号)	13.8×11.4	
36	徳力富吉郎	習作	1928(昭和3)	木版・紙(『版』第5号)	17.4×13.5	
37	長谷川隣二郎	アイスクリーム	1981(昭和56)	油彩・キャンバス	33.2×52.8	
38	長谷川隣二郎	お菓子	1986(昭和61)	油彩・キャンバス	27.3×40.9	
39	金子鷗亭	田中冬二詩 冴えた冬の夜	1956(昭和31)	墨・紙・額	32.0×35.0	
40	作者不明	蔵書票	1929(昭和4)頃	木版・紙(『版』第9号)	14.5×12.5	
41	長谷川隣二郎	甘蔗と大蒜	1984(昭和59)	油彩・キャンバス	21.2×33.4	
42	前田政雄	[ふきのとう]		木版・紙	8.2×12.4	
43	歌川国貞	風流五行之内 土性	1864(元治元)	木版・紙[大判錦絵三枚続]	35.4×72.8	
44	歌川国芳	木曾街道六十九次之内:岩村田 大井子 田畑を潤す	1852(嘉永5)	木版・紙[大判錦絵]	35.8×24.2	
45	金子鷗亭	宮沢賢治詩 雨ニモ負ケズ		墨・紙・額	151.5×249.0	
46	浅蔵五十吉	釉際瑞果譜			21.5×21.5×7.5	
47	楠部弥弼	釉埴枇杷文花瓶		陶磁	21.5×21.5×17.0	
48		白磁辰砂瓜形水滴	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	11.0×11.0×7.5	
49		青花瓜文壺	明代	陶磁	20.0×20.0×18.0	
50		青花石榴文皿	明代	陶磁	21.0×21.0×3.4	

*所蔵に記載のない作品はすべて当館蔵

2019.2.9(土)～4.7(日) ミュージアム・コレクション冬春:東洋の美 こころ、悠々と、あそぶ。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵
1	呉昌硯	奇石図	1913	紙本水墨・軸	136.0×40.0	
2	呉昌硯	菊花扇面	1917	紙本彩色・軸	10.0×40.0(扇面)	
3	呉昌硯	墨竹	1917	紙本水墨・軸	150.0×41.0	
4	呉昌硯	花卉四幅対:牡丹・縫蠟・枇杷・蓮	不詳	紙本彩色・軸	各45.0×31.0	
5		唐三彩駱駝	唐代	陶磁	37.0×13.0×51.0	
6		三彩馬	唐代	陶磁	53.0×15.0×54.0	
7		三彩胡貌駝丁	唐代	陶磁	18.0×13.0×44.0	
8	金子鷗亭	自詠 唐三彩女の俑	1984(昭和59)	墨・紙	138.0×52.0	
9	金子鷗亭	自詠 唐三彩いなく	1986(昭和61)	墨・紙	138.0×58.0	
10	金子鷗亭	自詠 宋元の	1995(平成7)	墨・紙	178.5×73.5	
11		青磁四耳小壺	隋代	陶磁	13.5×13.5×14.5	
12		三彩鍔(ふく)	唐代(8世紀)	陶磁	23.0×23.0×17.2	
13		三彩水注	唐代(9世紀)	陶磁	12.5×12.5×15.5	
14		藍緑彩万年壺	唐代	陶磁	21.0×21.0×17.5	
15		緑釉万年壺	唐代	陶磁	23.0×23.0×19.0	
16		黒地揺落壺	宋代	陶磁	28.5×28.5×24.0	
17		白地揺落唐草文壺	宋代	陶磁	18.0×18.0×32.5	
18		白化粧地灰釉水注(磁州窯)	宋代	陶磁	17.5×17.5×31.5	
19		白地黒花龍文四耳壺(磁州窯)	宋代	陶磁	16.5×16.5×22.0	
20		呉須赤絵人物文鹿文大皿(汕頭窯)	明代末期	陶磁	38.5×38.5×9.5	
21		青磁陰刻雲鶴文茶碗	高麗時代(12世紀)	陶磁	14.5×14.5×5.0	
22		青磁陰刻花文鉢	高麗時代(12世紀)	陶磁	16.5×16.5×8.0	
23		青磁茶碗	高麗時代(14世紀)	陶磁	18.0×18.0×6.5	
24		青磁陰刻花文鉢	高麗時代(12世紀)	陶磁	16.5×16.5×8.0	
25		青磁象嵌菊花文鉢	高麗時代(14世紀)	陶磁	20.0×20.0×8.0	
26		青磁陰刻鳳凰文鉢	高麗時代(14世紀)	陶磁	18.5×18.5×8.0	
27		青磁陰刻龍文鉢	高麗時代(11世紀)	陶磁	18.0×18.0×8.0	
28		青磁象嵌三島手茶碗	朝鮮時代(15世紀)	陶磁	14.0×14.0×9	
29		井戸茶碗	朝鮮時代(16世紀)	陶磁	17.0×17.0×8.0	
30		伊羅保刷毛目茶碗	朝鮮時代(16世紀)	陶磁	16.0×16.0×8.0	
31		井戸茶碗	朝鮮時代(16世紀)	陶磁	16.0×16.0×7.5	
32		三島刷毛目茶碗	朝鮮時代	陶磁	20.0×16.0×10.5	
33		鉄絵竹文扁壺	朝鮮時代(16世紀)	陶磁	15.5×6.0×18.0	
34		白泥地鉄絵唐草文瓶	朝鮮時代(16世紀)	陶磁	17.0×17.0×29.0	
35		三島刷毛目瓶	朝鮮時代	陶磁	15.0×15.0×31.0	
36		白磁提灯形大壺	朝鮮時代	陶磁	31.0×31.0×34.0	
37		象嵌三島手瓶	朝鮮時代(15世紀)	陶磁	10.0×10.0×14.5	
38		青磁象嵌三島手瓶	朝鮮時代(15世紀)	陶磁	10.0×10.0×10.0	
39		青磁象嵌三島手瓶	朝鮮時代(15世紀)	陶磁	8.5×8.5×15.0	
40		青磁象嵌三島手瓶	朝鮮時代(15世紀)	陶磁	8.0×8.0×15.0	
41		青磁象嵌三島手瓶	朝鮮時代(15世紀)	陶磁	8.5×8.5×16.5	
42		白泥黒釉たれ盤口瓶	朝鮮時代(15世紀)	陶磁	14.0×14.0×24.5	
43		白泥地灰釉瓶	朝鮮時代(15世紀)	陶磁	14.0×14.0×23.0	
44		白磁染付鶴文瓶	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	14.0×14.0×23.0	
45	荒川武夫	鷗亭題字「寶字」虎溪山唐津風茶碗	1965(昭和40)	陶磁	11.0×11.0×8.5	
46	荒川武夫	鷗亭題字「芭蕉句 閑さや」虎溪山唐津風茶碗	1965(昭和40)	陶磁	14.0×14.0×8.5	
47	荒川武夫	鷗亭題字「芭蕉句 明月や」虎溪山唐津風茶碗	1984(昭和59)	陶磁	14.0×14.0×8.0	
48	荒川武夫	鷗亭題字「芭蕉句 鷹一つ」虎溪山唐津風茶碗	1984(昭和59)	陶磁	9.5×9.5×9.5	
49	金子鷗亭	抱朴含真	1984(昭和59)	墨・紙		
50	金子鷗亭	荒川武夫宛書簡	1984(昭和59)	墨・紙		

3. 常設展示室

田辺三重松をはじめ、蠣崎波響、山口蓬春、岩船修三、橋本三郎など道南ゆかりの作家の作品や、当館の収集方針のひとつである「文字と記号に関わる現代美術」などを中心に展示するほか、鷗亭記念室と共通するテーマ展示を行なった。

平成29年度

※観覧者数は、鷗亭記念室と共通である。

	タイトル・テーマ	会期	日数	観覧者数	展示概要
1	ミュージアム・コレクション春夏: 花鳥のながめ	2017. 4. 8(土)～9. 1(金)	112	10,053	東洋画の伝統的画題である「花鳥」をキーワードに、いきものや植物などをテーマとする絵画、書、工芸作品を展示し、あわせて新収蔵品を紹介。 ※鷗亭記念室と共通のテーマによる展示
2	ミュージアム・コレクション秋冬: タッチ！ ―絵画と書にみる「筆触」	2017. 10. 4(水)～ 2018. 1. 21(日)	88	6,974	「筆あと」をキーワードに、東洋画、日本画、洋画、書、工芸を展示。
3	ミュージアム・コレクション冬春: マリージュ―文字とアートが 出会うところ	2018. 1. 31(水)～3. 31(土)	52	2,869	油彩や写真、陶磁などさまざまな素材による文字や記号をモチーフとする現代の美術作品を展示。

平成30年度

※観覧者数は、鷗亭記念室と共通である。

	タイトル・テーマ	会期	日数	観覧者数	展示概要
1	ミュージアム・コレクション春夏: ふしぎの国のいきものたち	2018. 4. 7(土)～8. 26(日)	103	9,908	身近ないきものとは違う「ふしぎないきもの」をモチーフにした作品を展示。
2	ミュージアム・コレクション秋冬: たべもの×アート＝おいしい 関係	2018. 10. 5(金)～2019. 2. 3(日)	97	5,645	食べ物という身近なモチーフを取り上げた絵画、書、彫刻、工芸作品を、6つのテーマのもとに展示。 ※鷗亭記念室と共通のテーマによる展示
3	ミュージアム・コレクション冬春: 鷗亭先生、ヨーロッパへ行く。	2019. 2. 9(土)～3. 31(日)	58	2,241	書の普及のため、たびたびヨーロッパにおもむいた金子鷗亭。訪欧にちなんだ作品や西洋文化への関心があらわれている作品を展示。

常設展示室出品目録

平成29年度

2017.4.8(土)～9.1(金) ミュージアム・コレクション春夏:花鳥のながめ—蠣崎波響から山口蓬春まで

* 鷗亭記念室目録(p.5)参照

2017.10.4(水)～2018.1.21(日) ミュージアム・コレクション秋冬:タッチ!—絵画と書にみる「筆触」

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵
1		白地黒花龍文四耳壺(磁州窯)	元代	陶磁	16.5×16.5×22.0	
2	松本春子	源氏物語 初音	1937(昭和12)	墨・紙・帖	各25.0×35.0 (帖外寸)25×17.5	
3	(伝)鄭燮	蘭		紙本水墨・軸	35.2×37.4	
4	呉昌碩	墨竹		紙本水墨・軸	150.0×41.0	
5	児島善三郎	伊豆風景	1938(昭和13)	油彩・キャンバス	53.0×45.0	函館市(当館受託)
6	天野宮蔵	晩秋のトランプ修道院	1978(昭和53)	油彩・キャンバス	130.5×162.5	
7	木田金次郎	漁村放牧	1961(昭和36)	油彩・キャンバス	65.1×80.3	
8	木村捷司	マラケッシュの水売り	1982(昭和57)	油彩・キャンバス	130.3×89.4	
9	鎌田俳捺子	作品	1966(昭和41)	油彩、石膏・麻布、漁網コラーージュ	197.0×181.5	
10	ジョルジュ・マチュー	グリーン・パロック	1961	油彩・キャンバス		
11	篠田桃紅	漸く	1991(平成3)	墨、銀泥・紙	180.2×136.5	
12	益田春光	尾花と太陽	1986(昭和61)	紙本彩色	97.0×131.0	
13	中島荘牛	睡蓮	2006(平成18)	墨・紙	57.0×237.0	
14		志野花文香合	江戸初期	陶磁	4.0×4.0×3.5	

2018.1.31(水)～3.31(土) ミュージアム・コレクション冬春:マリアージュ 文字とアートが出会うところ

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵
1	荒木高子	砂の聖書	1985(昭和60)	陶磁、シャモット、シルクスクリーン	57.0×33.3×14.0	
2	三箇三郎	作品K	1960(昭和35)	油彩、石膏、板		
3	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープ II	1969	シルクスクリーン	各88.9×58.4	
4	平林薫	五十一音一箱	1985(昭和60)	杉板、ベニヤ板、紙粘土ほか(51点組)	各50.0×20.5×50.0 (各箱は開閉式で、開閉角度により幅と奥行は約2倍寸まで可変)	
5	金昌烈	解体	1985-88	油彩・麻布、他	193.5×290.5	
6	バーバラ・クルーガー	無題(We will undo you)	1981-83	写真・ボード		
7	河原温	NOV.23,1971 Todayシリーズ(1966-2013)より	1971	アクリリック・キャンバス、紙箱 付属	25.4×33.0	
8	三島喜美代	NEWS PAPER F-87	1987(昭和62)	陶磁	130.0×98.0×98.0	

平成30年度

2018.4.7(土)～8.26(日) ミュージアム・コレクション春夏:ふしぎの国のいきものたち

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵
1	森寛斎	雲龍	不詳	紙本水墨・軸	120.0×50.5	
2		白磁染付獅子水滴	朝鮮時代(19世紀)	陶磁	16.0×9.0×10.0	
3	鹿子木孟郎	鬼	不詳	紙本彩色・軸	132.0×31.5	
4		青磁陰刻龍文鉢	高麗時代(11世紀)	陶磁	18.0×18.0×8.0	
5		辰砂龍形水滴	朝鮮時代	陶磁	16.0×5.5	
6		龍首水滴	清代	金工	13.0×6.5×7.5	
7	景德鎮窯	青花龍文香爐	清代	陶磁	9.5×9.5×11.0	
8	景德鎮窯	青花龍文筆盒	明代(16世紀末～17世紀初頭)	陶磁	31.0×12.5×9.5	
9	植木蒼悦	下界凝視	1971(昭和46)	紙本彩色		
10	早瀬龍江	水の子	1948(昭和23)	油彩・キャンバス	61.0×73.0	
11	岩船修三	小鳥を捕えたコロボックル	1966(昭和41)頃	油彩・キャンバス	95.5×128.5	
12	鶴川五郎	森の魍魎魍魎A	2007(平成19)	油彩・キャンバス	72.7×90.9	
13	鶴川五郎	森の魍魎魍魎B	2007(平成19)	油彩・キャンバス	72.7×90.9	
14	鶴川五郎	森の魍魎魍魎C	2007(平成19)	油彩・キャンバス	72.7×60.6	
15	鶴川五郎	森の魍魎魍魎D	2007(平成19)	油彩・キャンバス	72.7×60.6	
16		白磁染付龍文壺	朝鮮時代(18世紀)	陶磁	18.0×18.0×27.5	
17	景德鎮窯	青花龍文壺	明代末	陶磁	30.0×30.0×34.0	
18	深井克美	無題	1975(昭和50)	油彩・キャンバス	145.5×97.0	
19	深井克美	タキオン	1974(昭和49)	油彩・キャンバス	116.5×91.0	
20	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:藤原元真[墨染桜ノ壺]	1852(嘉永5)	木版・紙	36.0×25.2	
21	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:在原業平朝臣[清玄]	1852(嘉永5)	木版・紙	36.0×24.8	
22	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:藤原敏行朝臣[累の亡壺]	1852(嘉永5)	木版・紙	36.0×25.1	
23	歌川国貞(三代豊国)	見立三十六歌撰之内:中務[安方ノ壺]	1852(嘉永5)	木版・紙	36.0×24.7	
24	鈴木秀明	予感1	1979(昭和54)	油彩・キャンバス		
25	鈴木秀明	夜の譜	1987(昭和62)	油彩・キャンバス		

2018.10.5(金)～2019.2.3(日) ミュージアム・コレクション秋冬:たべもの×アート=おいしい関係

* 鷗亭記念室目録(p.8)参照

2019.2.9(土)～4.7(日) ミュージアム・コレクション冬春:鷗亭先生、ヨーロッパへ行く。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵
1	金子鷗亭	自詠 ポンペイ	1964(昭和39)	墨・紙、額	54.0×78.5	函館市蔵(当館受託)
2	金子鷗亭	自詠 真呂仁恵の	1977(昭和52)	墨・紙、額	136.6×137.5	函館市蔵(当館受託)
3	金子鷗亭	自詠 オペラ座	1979(昭和54)	墨・紙、額	99.5×131.5	函館市蔵(当館受託)
4	金子鷗亭	自作句 アンテックの亀	1985(昭和60)	墨・紙、額	138.0×52.0	
5	金子鷗亭	自作句 春昼や	1986(昭和61)	墨・紙、額	138.0×52.0	
6	金子鷗亭	武者小路実篤詩 レンブラント	1977(昭和52)	墨・紙、額	103.5×131.0	函館市蔵(当館受託)
7	金子鷗亭	自作句 春ロンドン	1993(平成5)	墨・紙、額	48.5×136.5	
8	金子鷗亭	草野心平詩 蛙	1988(昭和63)	墨・紙、額	168.0×168.0	函館市蔵(当館受託)
9	エミール・アントワーヌ・ブルデル	果実	1911	ブロンズ	44.0×24.5×100.0	
10	エミール・アントワーヌ・ブルデル	悲愴(十字架のペートルヴェン)	1929	ブロンズ	45.0×45.0×71.0	

*所蔵に記載のない作品はすべて当館蔵

特別展

平成29-30年度特別展一覧

平成29年度

展覧会名	会期	日数	観覧者数	主催・後援等
始まりはバリ。 昭和の洋画を切り拓いた 若き情熱 1930年協会から独立へ	2017.4.8(土)～5.28(日)	44	3,529	主催：北海道立函館美術館 共催：北海道新聞函館支社 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、函館山ロープウェイ(株)FM いるか 協力：北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社 特別協力：公益財団法人日動美術財団
ニッポンの写真 そっくりの魔力	2017.6.10(土)～8.20(日)	62	14,102	主催：北海道立函館美術館、北海道新聞社、「そっくりの魔力」展実行委員会 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか 協力：北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社
生誕120年記念 田辺三重松展	2017.10.4(水)～10.27(金)	21	3,075	主催：北海道立函館美術館 共催：北海道新聞函館支社 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、函館山ロープウェイ(株)FM いるか 協力：北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社
招き猫亭コレクション 猫まみれ展 アートになった猫たち 浮世絵から現代 美術まで	2017.11.3(金・祝)～2018.1.21(日)	65	7,059	主催：北海道立函館美術館 共催：北海道新聞函館支社 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、函館山ロープウェイ(株)FM いるか 協力：招き猫亭、北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社 企画協力：アートシード
追悼特別展 高倉健	2018.1.31(水)～3.31(土)	52	4,064	主催：北海道立函館美術館、毎日新聞社、函館美術館がフジテレビ「いらいや」の 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、函館山ロープウェイ(株)FM いるか 特別協力：高倉プロモーション 協力：一般社団法人日本映画制作者連盟、北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社、函館市民映画館 シネマアイリス 特別協力：健康福祉

平成30年度

展覧会名	会期	日数	観覧者数	主催・後援等
北海道150年事業 アートギャラリー北海道 北のさきがけ 道南四都物語	2018.4.28(土)～6.13(水)	40	3,898	主催：北海道立函館美術館、「アートギャラリー北海道in道南」実行委員会 共催：北海道新聞函館支社 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、函館山ロープウェイ(株)FM いるか 協力：北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社、北海道中央バスグループ(株)シービーツアーズ
奇才・ダリ版画展 炸裂するシュルレアリスムの世界	2018.7.14(土)～8.26(日)	39	14,694	主催：北海道立函館美術館、北海道新聞社、奇才・ダリ版画展実行委員会 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか、スペイン大使館 Embajada de España 協力：北海道旅客鉄道函館支社、五稜郭タワー 企画協力：谷口事務所
歌川広重 二つの東海道 五拾三次 江戸っ子たちの旅ログ!?	2018.10.5(金)～11.25(日)	46	6,384	主催：北海道立函館美術館 共催：北海道新聞函館支社 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、函館山ロープウェイ(株)FM いるか 協力：北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社 特別協力：公益財団法人日動美術財団、日本美術商事株式会社
ケータイ絵文字のほっこり ワールド NTT DOCOMOの初期の絵文字から 【同時開催】 ハコビコレクションの「文字 と記号」	2018.12.1(土)～2019.2.3(日)	51	1,828	主催：北海道立函館美術館 共催：北海道新聞函館支社 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、函館山ロープウェイ(株)FM いるか 協力：北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社 企画協力：株式会社NTTドコモ(「ケータイ絵文字のほっこりワールド」展) 助成：芸術文化振興基金(「ハコビ・コレクションの『文字と記号』展」)
生誕110年 岩船修三展 【同時開催】水辺のものがたり	2019.2.9(土)～4.7(日)	58	2,449	主催：北海道立函館美術館 共催：北海道新聞函館支社 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、函館山ロープウェイ(株)FM いるか 協力：北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社

始まりはパリ。昭和の洋画を切り拓いた若き情熱 1930年協会から独立へ。

会期：2017年4月8日(土)～5月28日(日) 44日間

主催：北海道立函館美術館

共催：北海道新聞函館支社

後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局
函館山ロープウェイ(株)FMいるか

協力：北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社

特別協力：公益財団法人日動美術財団

観覧者数：3,529名

観覧料：一般920(720)円、高大生610(410)円、小中生300(200)円

巡回：鳥取県立博物館、田辺市立美術館、河口湖美術館、酒田市美術館・北九州市立美術館分館・八王子市夢美術館

1926(大正15)年、欧州帰りの若い画家たちにより「1930年協会」が結成され、1930(昭和5)年にはその後継の「独立美術協会」が結成された。この二つの美術団体の画家たちは、みずみずしい感性が脈打つ作品により、1920-30年代の画壇に新風を吹き込んだ。本展では、佐伯祐三、里見勝蔵、前田寛治、北海道出身の三岸好太郎ら29名の画家の秀作75点を展示し、当時の若い洋画家たちの情熱を身近に感じる機会とした。



ポスター(B2)/チラシ(A4)共通デザイン

【関連事業】

美術講演会「若き画家たちの情熱1920's-30's パリから東京、そして北海道へ」

日時：4月8日(土) 14:00～

講師：大下智一氏(北海道立近代美術館主任学芸員)

会場：当館講堂(聴講無料) 聴講者数：70名

ギャラリー・ツアー

日時：4月22日(土) 14:00～14:30 聴講者数：20名

4月29日(土) 14:00～14:30 聴講者数：22名

5月6日(土) 14:00～14:30 聴講者数：15名

講師：当館学芸員

会場：当館特別展示室(要観覧券)

ファミリー・ツアー

日時：4月30日(日) 11:00～

講師：柳沢弥生(当館主任学芸員)

会場：当館特別展示室(要観覧券) 聴講者数：11名

ランチ&トーク 「アートとフレンチを味わう」

日時：5月11日(木) 10:30～(約2時間半)

会場：当館特別展示室、講堂、レストラン箕輪(函館市杉並町4-30)

参加者数：19名(募集制)

特別展セミナー

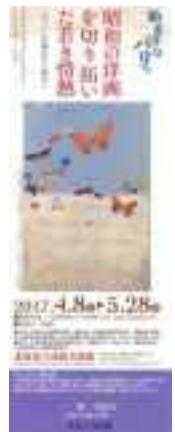
日時：5月20日(土) 14:00～

講師：柳沢弥生(当館主任学芸員)

会場：当館講堂(聴講無料) 参加者数：11名

ハコビ・マジカル・ワークショップ「版画に挑戦！」

日時：5月27日(土) 13:30～(約2時間半)



チケット



展示風景

講師: 平方亮三氏(版画家)、当館学芸員
マジカル・クラブ・アシスタント(北海道教育大学函館校学生サークル)
会場: 当館特別展示室、常設展示室、講堂 参加者数: 21名(募集制)

美術映画会

日時: 4月15日(土) 14:00～ 聴講者数: 34名
「画家・三岸好太郎の肖像」(約44分)
日時: 5月13日(土) 14:00～ 聴講者数: 43名
「美の巨人たち2 一つのテーマに魅せられて 向井順吉 三岸好太郎」(約50分)
会場: 当館講堂(入場無料)

キッズ・シアター

日時: 5月3日(水・祝) 11:00～ 聴講者数: 16名
「どろんこハリー」「ベッドのまわりはおばけがいっぱい」他、全6話(53分)
日時: 5月4日(木・祝) 11:00～ 聴講者数: 11名
「くまのコールテンくん」「すてきな三にんぐみ」他、全7話(67分)
日時: 5月5日(金・祝) 11:00～ 聴講者数: 10名
「じてんしゃにのるひとまねこざる」「ごきげんなライオン」他、全7話(59分)
会場: 当館講堂(入場無料)

[図録]

規格: 21.0×15.0cm/136頁
構成: 染谷滋「昭和初期洋画壇と1930年協会」/木下孝則「純真を慕ふ一九三〇年洋画協会に就て」/「独立宣言」/図版「第1章 1930年協会の軌跡」/「第2章 独立美術協会誕生」/林野雅人「若き洋画家たちの夢 1930年協会から独立美術協会へ」/三谷渉「佐伯祐三と1930年協会」/大下智一「『1930年協会－独立美術協会』と北海道外山卯三郎と三岸好太郎を中心に」/川俣高人「1930年協会と初期独立一児島善太郎の残したもの」/作家・作品解説/年譜/作品リスト
編集: 鳥取県立博物館(林野雅人)・田辺市立美術館(三谷渉)・北海道立函館美術館(大下智一)・八王子市夢美術館(川俣高人、林彩子)・公益財団法人日動美術財団(富士根智之)
発行: 鳥取県立博物館・田辺市立美術館・河口湖美術館・北海道立函館美術館・酒田市美術館・北九州市立美術館・公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団・公益財団法人日動美術財団

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵先
第1章 1930年協会の軌跡						
1	前田寛治	西洋婦人像	1925(大正14)頃	油彩・カンヴァス	92.0×73.0	鳥取県立博物館
2	前田寛治	椅子に座る男(アルジェの兵士)	1925(大正14)	油彩・カンヴァス	60.3×49.5	田辺市立美術館
3	前田寛治	メーデー	1924(大正13)頃	油彩・カンヴァス	72.7×91.0	個人蔵
4	前田寛治	ブルターニュの女	1925(大正14)	油彩・カンヴァス	166.0×101.0	個人蔵
5	前田寛治	物を喰う男	1924(大正13)頃	油彩・カンヴァス	116.7×91.0	鳥取県立博物館
6	前田寛治	籠の静物	1929(昭和4)	油彩・カンヴァス	50.0×61.0	鳥取県立博物館
7	前田寛治	赤い裸婦	1928(昭和3)	油彩・カンヴァス	50.3×60.6	鳥取県立博物館
8	前田寛治	棟梁の家族	1928(昭和3)	油彩・カンヴァス	131.0×162.5	鳥取県立博物館
9	前田寛治	少女坐像(赤衣)	1927(昭和2)	油彩・カンヴァス	117.0×91.0	鳥取県立博物館
10	前田寛治	伏臥裸婦	1928(昭和3)	油彩・カンヴァス	113.0×146.0	鳥取県立博物館
11	前田寛治	横臥裸婦	1928(昭和3)	油彩・カンヴァス	97.0×162.0	鳥取県立博物館
12	木下義謙	M氏の肖像	1927(昭和2)	油彩・カンヴァス	90.9×72.7	鳥取県立博物館
13	小島善太郎	青い帽子(テレサの像)	1924(大正13)	油彩・カンヴァス	65.7×53.7	鳥取県立博物館
14	小島善太郎	ナポリの老婆B(老婆)	1925(大正14)	油彩・カンヴァス	60.6×72.7	青梅市立美術館
15	小島善太郎	読書(青きフォートニによりて)	1924-26(大正13-15)	油彩・カンヴァス	73.0×92.5	八王子市夢美術館
16	小島善太郎	静物「秋」	1928(昭和3)	油彩・カンヴァス	65.2×90.9	八王子市夢美術館
17	中山巍	椅子に座る婦人	1927(昭和2)	油彩・カンヴァス	129.0×87.5	鳥取県立博物館
18	中山巍	青背座婦	1927(昭和2)	油彩・カンヴァス	116.7×80.3	愛知県美術館
19	鈴木亜夫	臥裸婦A	1926(大正15)	油彩・カンヴァス	60.6×72.2	青梅市立美術館
20	鈴木亜夫	花	1928(昭和3)	油彩・カンヴァス	53.0×45.5	鳥取県立博物館
21	林武	顔	1927(昭和2)	油彩・カンヴァス	53.0×46.0	鳥取県立博物館
22	林武	婦人像(扇を持つ)	1929(昭和4)	油彩・カンヴァス	90.0×73.0	笠間日動美術館
23	児島善三郎	裸婦(仰臥)	1926(大正15)	油彩・カンヴァス	53.5×61.0	北九州市立美術館
24	児島善三郎	鏡の前の裸婦	1925(大正14)	油彩・カンヴァス	130.0×96.5	鳥取県立博物館
25	児島善三郎	ソテツのある公園	1926-28(大正15-昭和3)	油彩・カンヴァス	49.6×65.4	北九州市立美術館
26	川口軌外	静物(B)	1927(昭和2)頃	油彩・カンヴァス	73.3×61.2	個人蔵
27	鈴木千久馬	婦人	1929(昭和4)	油彩・カンヴァス	73.0×60.7	目黒区美術館
28	鈴木千久馬	卓上静物	1926(大正15)頃	油彩・カンヴァス	91.0×117.0	鳥取県立博物館
29	大野五郎	自画像	1929(昭和4)	油彩・カンヴァス	45.5×37.9	個人蔵
30	中村節也	泥舟	1927(昭和2)	油彩・カンヴァス	60.6×72.8	群馬県立近代美術館
31	中村節也	裸婦と鳥籠	1928(昭和3)	油彩・カンヴァス	90.9×116.7	群馬県立近代美術館
32	古賀春江	失題	1926(大正15)頃	油彩・カンヴァス	73.0×53.5	鳥取県立博物館
33	佐伯祐三	オーヴェールの教会	1924(大正13)	油彩・カンヴァス	58.9×71.0	鳥取県立博物館
34	佐伯祐三	リュクサンブール公園	1927(昭和2)	油彩・カンヴァス	71.0×59.0	田辺市立美術館
35	佐伯祐三	パリの街角	1927(昭和2)	油彩・カンヴァス	52.0×64.0	笠間日動美術館
36	佐伯祐三	扉	1928(昭和3)	油彩・カンヴァス	73.3×60.4	田辺市立美術館
37	佐伯祐三	工場	1928(昭和3)	油彩・カンヴァス	73.4×60.3	田辺市立美術館
38	里見勝蔵	花	1924(大正13)	油彩・カンヴァス	53.5×45.5	個人蔵
39	里見勝蔵	マリーヌの記念	1924(大正13)	油彩・カンヴァス	73.5×92.0	鳥取県立博物館
40	里見勝蔵	溪谷の春	1924(大正13)	油彩・カンヴァス	72.0×104.0	京都国立近代美術館
41	里見勝蔵	石膏のある静物	1927(昭和2)	油彩・カンヴァス	60.5×73.0	鳥取県立博物館
42	里見勝蔵	少女	1928(昭和3)	油彩・カンヴァス	80.2×60.9	北九州市立美術館
43	伊原宇三郎	フランス・ノルマンディー・エトルタ	1926(大正15)	油彩・カンヴァス	60.0×72.9	鳥取県立博物館
44	伊原宇三郎	カナペの女	1926(大正15)	油彩・カンヴァス	89.3×145.5	目黒区美術館
第2章 独立美術協会誕生						
45	林武	裸婦	1931(昭和6)	油彩・カンヴァス	91.0×73.1	鳥取県立博物館
46	林武	石膏像のある静物	1931(昭和6)	油彩・カンヴァス	72.8×60.6	愛知県美術館
47	野口彌太郎	門	1931(昭和6)頃	油彩・カンヴァス	65.2×91.0	愛知県美術館
48	小島善太郎	笛を吹く男	1932(昭和7)	油彩・カンヴァス	116.5×91.5	笠間日動美術館
49	里見勝蔵	花のある静物	1931-32(昭和6-7)	油彩・カンヴァス	90.7×60.8	神奈川県立近代美術館
50	里見勝蔵	少女	1935(昭和10)	油彩・カンヴァス	53.0×33.0	青梅市立美術館
51	川口軌外	花	1932(昭和7)頃	油彩・カンヴァス	100.0×73.0	個人蔵
52	川口軌外	スヴニール	1932(昭和7)	油彩・カンヴァス	92.0×64.8	京都国立近代美術館
53	川口軌外	花	1932(昭和7)	油彩・カンヴァス	92.0×64.8	鳥取県立博物館
54	三岸好太郎	雲の上を飛ぶ蝶	1934(昭和9)	油彩・カンヴァス	91.5×60.6	東京国立近代美術館
55	福沢一郎	骨董屋	1929(昭和4)	油彩・カンヴァス	163.0×114.0	富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館
56	福沢一郎	溺死	1930(昭和5)	油彩・カンヴァス	91.0×116.7	富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館
57	福沢一郎	寡婦と誘惑	1930(昭和5)	油彩・カンヴァス	130.3×162.0	富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館
58	伊藤康	新聞を読む女	1928(昭和3)	油彩・カンヴァス	64.0×79.6	愛知県美術館
59	伊藤康	ギター奏手	1932(昭和7)	油彩・カンヴァス	100.0×81.0	愛知県美術館
60	須田国太郎	連山	1933(昭和8)	油彩・カンヴァス	64.0×90.0	京都国立近代美術館

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵先
61	須田国太郎	漁村田後	1936(昭和11)	油彩・カンヴァス	65.0×91.0	鳥取県立博物館
62	清水登之	セーヌ湖畔	1924(大正13)	油彩・カンヴァス	60.6×50.0	栃木県立美術館
63	清水登之	山麓の家族	1931-32(昭和6-7)	油彩・カンヴァス	112.0×145.5	栃木県立美術館
64	高島達四郎	少年青帽	1927(昭和2)	油彩・カンヴァス	116.9×72.9	目黒区美術館
65	高島達四郎	海の幸	1936(昭和11)	油彩・カンヴァス	162.0×131.0	富岡市立美術博物館・ 福沢一郎記念美術館
66	高島達四郎	裸婦群像(海女)	1937(昭和12)	油彩・カンヴァス	112.0×195.4	笠間日動美術館
67	鈴木保徳	納屋の内	1933(昭和8)	油彩・カンヴァス	162.0×130.0	富岡市立美術博物館・ 福沢一郎記念美術館
68	鈴木保徳	後ろ向きの母	1934(昭和9)	油彩・カンヴァス	162.0×112.0	板橋区立美術館
69	今西中通	真珠	1935(昭和10)	油彩・カンヴァス	130.0×192.7	神奈川県立近代美術館
70	林重義	舞妓(赤)	1934(昭和9)	油彩・カンヴァス	116.7×91.0	愛知県美術館
71	海老原喜之助	雪景	1931(昭和6)	油彩・カンヴァス	73.1×99.8	北九州市立美術館
72	居串佳一	採氷風景	1935(昭和10)	油彩・カンヴァス	90.0×116.0	東京国立近代美術館
73	田中行一	白帽子	1933(昭和8)	油彩・カンヴァス	130.0×89.0	青梅市立美術館
74	大野五郎	異国の子	1936(昭和11)	油彩・カンヴァス	145.3×89.5	板橋区立美術館
75	田中佐一郎	裸婦三像	1931(昭和6)	油彩・カンヴァス	163.5×131.9	群馬県立近代美術館

ニッポンの写実 そっくりの魔力

会期：2017年6月10日(土)～8月20日(日) 62日間
 主催：北海道立函館美術館、北海道新聞社、「そっくりの魔力」展実行委員会
 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、函館山ロープウェイ(株)FMいるか
 協力：北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社

観覧者数：14,102名
 観覧料：一般1,000(900)円、高大生600(400)円、中学生300(200)円、小学生以下無料

インターネットを通して、ひとりひとりが難なく高精彩の画像にアクセスすることのできる今日においても、「本物そっくり」であることは、かわらず私たちを魅了します。写真を活用したスーパーリアリズムの絵画。デジタル技術を駆使し、イメージを現実以上に磨き上げる写真。一方では、伝統的な職人的技巧による、迫真的な彫刻や工芸作品が、あらためて脚光を浴びています。明治以降の写実的な絵画超絶的な技巧を見せる工芸や彫刻、高精細な映像作品など約80点により、「そっくり」の魔力の深奥に迫った。

【関連事業】

ギャラリー・トーク

6月10日(土)10:30～、14:00～ 計2回、各約40分
 講師：村田理如氏(清水三年坂美術館 館長)
 会場：特別展示室(要観覧券) 聴講者数：86名

ギャラリー・ツアー「超絶！ そっくりの魔力」

日時：6月24日(土)14:00～14:30 聴講者数：37名
 7月1日(土)14:00～14:30 聴講者数：34名
 7月8日(土)14:00～14:30 聴講者数：32名
 講師：当館学芸員 会場：特別展示室(要観覧券)

合唱コンサート

日時：7月2日(日)14:00～(約30分) 聴講者数：67名
 出演：女声コーラストラル(7月2日)
 日時：8月5日(土)14:00～(約30分) 聴講者数：62名
 出演：遺愛女子中学・高等学校音楽部
 日時：8月20日(日) 14:00～(約30分) 聴講者数：120名
 出演：函館MB混声合唱団
 会場：特別展示室(要観覧券)

夏休みハコビ・アトリエ「ミニ・ランドセルづくりに挑戦!」

日時：7月22日(土)～8月20日(日) 各日9:30～16:30
 会場：当館ホール(無料) 参加者数：1280名

そっくりカフェ

日時：7月22日(土)～8月20日(日) 各日9:30～17:00(オーダーストップ16:30)
 会場：当館前庭

絵本のおみきかせ

日時：7月23日(日)11:00～(約30分) 聴講者数：28名
 7月30日(日)11:00～(約30分) 聴講者数：68名
 おみきかせ：函館絵本の会 銀のふね
 会場：当館特別展示室(要観覧券)

ハコビ・マジカル・ワークショップ「そっくりスイーツに挑戦!」

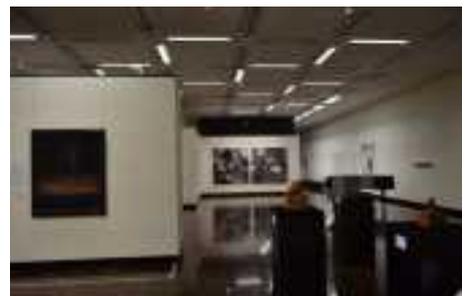
日時：7月29日(土) 10:00～12:00/13:30～15:30(2回実施)
 講師：和泉詩織氏(710 candle)
 会場：当館特別展示室、常設展示室、講堂 参加者数：80名(募集制)



ポスター(B2)/チラシ(A4)共通デザイン



チケット



展示風景

【図録】

規格: 15.2×20.1cm 136頁

構成: 毛利伊知郎「そっくりの魔力」／久米淳之「『そっくりの魔力』の魅力」／

I 親しきものへのまなざし／II 生と死をみつめて／III 存在をみいだす／

IV 世界を写す～写真からの啓示／作家・作品解説／出品リスト

企画アドバイザー: 久米淳之

編集: 北海道立函館美術館、豊橋市美術博物館、奈良県立美術館

デザイン: 佐藤守功 印刷: 山藤三陽印刷株式会社 発行: 北海道新聞社

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵先
序						
1	宗義	自在鋏形	大正一昭和時代	赤銅	長9.5	清水三年坂美術館
2	横山松三郎	菊	制作年不詳	油彩、絹	45.5×30.4	函館市蔵(北海道立函館美術館寄託)
3	宮本佳美	canon	2013(平成25)	水彩、アクリル、綿布	193.9×112.1	作家蔵
4	満田晴徳	自在深山鋏形(雄)	2015(平成27)	銅、真鍮、青銅	3.0×6.5×9.0	作家蔵
I 親しきものへのまなざし						
5	岸田劉生	卓上林檎葡萄之図	1918(大正7)	油彩、板	24.0×33.4	豊橋市美術博物館
6	磯江毅	マルメロ	2004-05(平成16-17)	油彩、キャンバス	53.7×61.0	個人蔵
7	椿貞雄	冬瓜図	1925(大正14)	油彩、キャンバス	50.6×61.0	豊橋市美術博物館
8	椿貞雄	夏蜜柑図	1941(昭和16)	油彩、キャンバス	33.5×53.0	豊橋市美術博物館
9	高橋由一	厨房具	1878-79(明治11-12)	油彩、キャンバス	42.3×60.5	愛知県美術館
10	高島野十郎	百合とヴァイオリン	1921-26(大正10-15)	油彩、キャンバス	41.1×53.2	目黒区美術館
11	高島野十郎	牡丹花	1926(大正15)	油彩、キャンバス	53.3×45.8	目黒区美術館
12	小糸源太郎	嬢嬢	1937(昭和12)	油彩、キャンバス	145.5×106.0	東京国立近代美術館
13	野田弘志	黒い風景 其の参	1973(昭和48)	油彩、キャンバス	145.5×112.1	豊橋市美術博物館
14	野田弘志	やませみ	1971(昭和46)	油彩、板	80.3×116.7	豊橋市美術博物館
15	上田薫	スプーンの苺	1975(昭和50)	油彩、アクリル、キャンバス	182.0×227.0	豊橋市美術博物館
16	上田薫	スプーンのゼリーB	1974(昭和49)	油彩、アクリル、キャンバス	130.3×162.2	高松市美術館
17	佐藤雅晴	1×1=1	2015(平成27)	デジタルフォトペインティング	60.0×90.0	作家蔵
18	安藤緑山	牙彫喜座柿	大正時代	象牙、彩色	長26.5	清水三年坂美術館
19	安藤緑山	牙彫 竹の子、豌豆、独活	大正時代	象牙、彩色	12.0×18.5×11.0	清水三年坂美術館
20	山崎南海	牙彫自在伊勢海老	大正時代	象牙、彩色	長25.5	清水三年坂美術館
21	明珍正信	自在伊勢海老	江戸時代後期	鉄	長31.0	清水三年坂美術館
22	安藤緑山	牙彫貝尽し	大正時代	象牙、彩色	12.5×18.5×6.6	清水三年坂美術館
23	三宅一樹	航海術	2015(平成27)	木(ヒマヤカ杉神木)、胡粉	17.0×39.0×15.0	アトリエ榎乃舎
24	三宅一樹	龍泉に降りし玉珠	2015(平成27)	木(屋久杉)、ガラス	43.0×24.0×12.0	アトリエ榎乃舎
25	満田晴徳	自在大女郎蜘蛛	2016(平成28)	真鍮	5.0×9.0×10.0	作家蔵
26	満田晴徳	自在陸宿借	2016(平成28)	銅、真鍮、青銅	5.0×9.0×8.0	作家蔵
27	高村光雲	天鹿馴兎	1895(明治28)	木	11.0×29.0×18.5	個人蔵
28	三浦柳三郎	牙彫鳩家族置物	明治時代後期	象牙、貝、真鍮、木	19.8×42.0×23.0	個人蔵
29	石川光明	羊	明治時代	木(山桜)	18.5×31.5×19.2	清水三年坂美術館
II 生と死をみつめて						
30	岡田三郎助	麻の着物	1929(昭和4)	油彩、キャンバス	53.0×33.5	豊橋市美術博物館
31	野田弘志	きもの	1974(昭和49)	油彩、キャンバス	116.7×90.9	豊橋市美術博物館
32	岸田劉生	高須光治君之肖像	1915(大正4)	油彩、板	45.5×37.6	豊橋市美術博物館
33	椿貞雄	鶏頭持てる村の婦	1920(大正9)	油彩、キャンバス	45.5×38.0	豊橋市美術博物館
34	水野正一	少女	1920(大正9))頃	油彩、キャンバス	45.7×37.8	豊橋市美術博物館
35	山田睦三郎	赤い帽子のとみ子	1920(大正9)	油彩、キャンバス	45.6×38.5	豊橋市美術博物館
36	大澤鉦一郎	自画像	1921(大正10)	油彩、板	33.3×24.2	豊橋市美術博物館
37	笈忠治	自画像23	1930(昭和5)	インク、紙	42.0×34.0	豊橋市美術博物館
38	宮脇晴	母の肖像	1919(大正8)	油彩、キャンバス	41.1×31.8	豊橋市美術博物館
39	鹿子木孟郎	裸子の写生	1906(明治39)	油彩、キャンバス	81.2×54.5	豊橋市美術博物館
40	三栖右嗣	老いる	1975(昭和50)	油彩、キャンバス	161.0×129.0	東京国立近代美術館
41	諏訪敦	大野一雄	2007-08(平成19-20)	油彩、キャンバス	119.9×194.0	作家蔵
42	野田弘志	TOKIJKU(非時)I Egg	1991(平成3)	油彩、キャンバス	145.3×111.3	豊橋市美術博物館
43	水野暁	Tangential line(piece1),(piece2)	2010(平成22)	油彩、綿布、板	53.0×72.7/ 53.0×72.7	個人蔵
44	諏訪敦	どうせなにもみえない	2005(平成17)	油彩、銀尖筆、キャンバス	90.9×60.6	個人蔵
45	磯江毅	新聞紙の上の裸婦	1993-94(平成5-6)	鉛筆、水彩、ジェッソ、紙	150.0×182.0	個人蔵
46	木下晋	無一 I	1992(平成4)	鉛筆、ケント紙	165.0×99.5	目黒区美術館
47	木下晋	無一 II	1992(平成4)	鉛筆、ケント紙	165.0×99.5	目黒区美術館
48	諏訪敦	gaze(Esquisse)	1999-2010(平成11-12)	鉛筆、インク、グラフ用紙	21.0×29.6	作家蔵
49	諏訪敦	つま先	2009(平成21)	鉛筆、パネル	18.0×14.0	作家蔵
50	磯江毅	鯛	2007(平成19)	鉛筆、水彩、ジェッソ、板	41.0×53.0	個人蔵
51	野田弘志	ホッチャレ	1983(昭和58)	鉛筆、紙	7.9×10.5	豊橋市美術博物館
52	高村光雲	砥草刈	1914(大正3)	木	高35.0	大阪新美術館建設準備室
53	高村光雲	西行法師	明治時代	木(山桜)	56.7×21.0×27.0	清水三年坂美術館
III 存在をみいだす						
54	星野真吾	露草	1982(昭和57)	紙本彩色	22.8×16.0	個人蔵
55	星野真吾	卓上の一輪	1983(昭和58)	紙本彩色	45.5×35.5	個人蔵
56	星野真吾	机	1978(昭和53)	紙本彩色	91.0×65.0	豊橋市美術博物館

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵先
57	星野眞吾	夜の静物	1984(昭和59)	紙本彩色	116.7×90.8	豊橋市美術博物館
58	野田弘志	パネル	1971(昭和46)	油彩、板	90.9×116.7	豊橋市美術博物館
59	野田弘志	潦	1984(昭和59)	鉛筆・紙	12.1×16.0	豊橋市美術博物館
60	野田弘志	北の海のやどかり	1983(昭和58)	鉛筆・紙	17.2×20.8	豊橋市美術博物館
61	野田弘志	竹棒とひも	1984(昭和59)	鉛筆・紙	7.6×10.4	豊橋市美術博物館
62	森田藻己	竹の中の大工根付	明治時代	木(黄楊)	2.5×3.5×2.5	清水三年坂美術館
63	橋本平八	石に就て	1928(昭和3)	木(樟)、彩色	28.6×18.2×19.6	個人蔵(三重県立美術館 寄託)
64	三宅一樹	”平八の石”に就て	2010(平成22)	木(樟)	21.0×13.0×13.0	個人蔵
65	須田悦弘	チューリップ	2002(平成14)	木、彩色	7.4×33.2×15.8 6.9×35.3×16.1	高松市美術館
66	前原冬樹	一刻	2013(平成25)	木(朴)、墨、油彩	89.0×30.7×6.5	作家蔵
67	前原冬樹	螺旋人間	2014(平成26)	木(榎)、油彩	28.0×6.0×3.0	GALLERY 小暮
68	前原冬樹	一刻	2016(平成28)	木(檜)、珈琲、紅茶、墨、油 彩	13.0×25.0×11.0	作家蔵

IV 世界を写す～写真からの啓示

70	横山松三郎	渡邊孝平之像	明治時代	写真油絵、ガラス	35.0×28.8	個人蔵(市立函館博物館 寄託)
71	佐藤雅晴	ポートレート02	2014(平成26)	デジタルフォトペインティング	150.0×100.0	作家蔵
72	三尾公三	Fiction Space B-2	1970(昭和45)	アクリル、パネル	170.0×130.0	豊橋市美術博物館
73	三尾公三	シーレの部屋	1989(平成元)	アクリル、パネル	162.0×120.0	豊橋市美術博物館
74	橋爪彩	Toilette des filles 2	2012(平成24)	油彩、パネルにエマルジョン	194.0×130.3	個人蔵
75	上田薫	なま玉子J	1978(昭和53)	油彩、アクリル、キャンバス	162.0×130.0	高松市美術館
76	上田薫	玉子にスプーンA	1986(昭和61)	油彩、アクリル、キャンバス	130.3×162.0	豊橋市美術博物館
77	岡田修二	水辺62	2011(平成23)	油彩、キャンバス	174.0×174.0	作家蔵
78	岡田修二	水辺63	2011(平成23)	油彩、キャンバス	174.0×174.0	作家蔵
79	鳴剛	団地T&T	1974(昭和49)	アクリル、写真、キャンバス	132.0×324.0	高松市美術館
80	山口英紀	そのドアの向こう側	2013(平成25)	紙本水墨	各41.0×41.0	GALLERY 小暮
81	佐藤雅晴	Calling(ドイツ編)	2009-10(平成21-22)	アニメーション、ループ(7分)		作家蔵
82	佐藤雅晴	Calling(日本編)	2014(平成26)	アニメーション、ループ(7分)		作家蔵
83	伊藤隆介	Realistic Virtuality	2004(平成16)/ 2017(平成29)	CCDカメラ、液晶プロジェク ター、モーター、照明、ミクス トメディア	寸法可変	作家蔵

*No.69 横山松三郎《丁髷の男と外国人》は、豊橋会場と奈良会場でのみ展示されたため、ここでは不掲載とした。No.70は函館会場のみ展示。

生誕120年記念 田辺三重松展

会期：2017年10月4日(水)～10月27日(金) 21日間

主催：北海道立函館美術館

共催：北海道新聞函館支社

後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、
函館山ロープウェイ(株)FMいるか

協力：北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社

観覧者数：3,075名

観覧料：一般510(410)円、高大生300(200)円、65歳以上および中学生以下無料

田辺三重松(1897[明治30]年～1971[昭和46])は、函館商業学校(現・北海道函館商業高校)在学中、絵画に関心を抱いた。同校卒業後は、家業に就きながら絵画の独習を続け、1928(昭和3)年第15回二科展に初出品ながら入選を果たした。以後、二科会入選の常連となり、安井曾太郎や児島善三郎の薫陶を受けながら技量を高め、1942(昭和17)年に二科賞受賞、翌年に二科会会員に推挙された。戦後は、行動美術協会設立と全道美術協会(全道展)の設立に加わり、教職を離れて画業に専念。昭和30年代に入るところから、風景を前にした率直な感動を、力強い輪郭線と大胆な色彩の対比により表現する画風を確立した。1967(昭和42)年には網膜剝離により右目の視力を失うが、一層画境を深めた。北海道画壇をけん引するとともに、生涯北海道の雄大な風景を描き続けた。

本展覧会では、当館の所蔵品から、油彩画56点、初期の水彩画を含む35点の資料を展示した。生誕120年の節目に三重松の画業を回顧するとともに、ダイナミックな作品の数々を紹介する機会となった。



ポスター(B2)/チラシ(A4)共通デザイン

[関連事業]

ギャラリー・ツアー

日時：10月7日(土)14:00～14:30 聴講者数：23名

10月14日(土)14:00～14:30 聴講者数：28名

講師：当館学芸員

会場：当館特別展示室(要観覧券)



表示風景



チケット

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵先
第1章 画家としての出発						
1	田辺三重松	駒ヶ岳山麓の村	1918(大正7)	水彩・紙	25.3×34.0	
2	田辺三重松	雪の街	1918(大正7)	水彩・紙	25.4×34.5	
3	田辺三重松	立待岬にて	1919(大正8)	水彩・紙	34.5×51.0	
4	田辺三重松	荒波とカモメ	不詳	水彩・紙	27.3×35.0	
5	田辺三重松	室蘭	不詳	水彩・紙	25.8×34.3	
6	田辺三重松	函館港(仮称)	不詳	水彩・紙	34.0×26.0	
7	田辺三重松	バラと果物(仮称)	不詳	水彩・紙	25.4×33.8	
8	田辺三重松	薔薇	1928(昭和3)	油彩・キャンバス	53.0×45.5	
9	田辺三重松	函館風景	1929(昭和4)	油彩・キャンバス	83.0×100.0	函館市蔵(当館受託)
10	田辺三重松	造船場町	1930(昭和5)	油彩・キャンバス	91.0×112.0	函館市蔵(当館受託)
11	田辺三重松	チューリップ	1931(昭和6)	油彩・キャンバス	41.0×32.0	
12	田辺三重松	トラビスト修道院の夏	1932(昭和7)	油彩・キャンバス	89.0×114.0	函館市蔵(当館受託)
13	田辺三重松	峠下の秋	1934(昭和9)	油彩・キャンバス	31.8×40.9	
第2章 模索と二科展での活躍						
14	田辺三重松	碇泊	1935(昭和10)	油彩・キャンバス	97.0×145.5	函館市蔵(当館受託)
15	田辺三重松	薔薇	1936(昭和11)	油彩・キャンバス	45.5×37.5	
16	田辺三重松	海辺の春日	不詳	鉛筆・紙	20.2×28.8	
17	田辺三重松	海辺の春日	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	162.1×130.3	函館市蔵(当館受託)
18	田辺三重松	晩春の庭	不詳	鉛筆、水彩・紙	22.8×16.1	
19	田辺三重松	晩春の庭	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	162.1×112.1	函館市蔵(当館受託)
20	田辺三重松	夏の港町	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	97.0×145.5	函館市蔵(当館受託)
21	田辺三重松	雪晴れの小道	1938(昭和13)	油彩・キャンバス	116.7×90.9	函館市蔵(当館受託)
22	田辺三重松	有珠岳	1939(昭和14)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	函館市蔵(当館受託)
23	田辺三重松	函館港	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	71.5×90.9	函館市蔵(当館受託)
24	田辺三重松	五稜郭初秋	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	60.0×72.0	函館市蔵(当館受託)
25	田辺三重松	赤松の雪景色	1941(昭和16)	油彩・キャンバス	45.5×53.0	
26	田辺三重松	船	1941(昭和16)	油彩・キャンバス	116.7×90.9	函館市蔵(当館受託)
27	田辺三重松	ポプラの道	1942(昭和17)	油彩・キャンバス	116.7×90.9	函館市蔵(当館受託)
28	田辺三重松	北方の港(北千島)	1943(昭和18)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	函館市蔵(当館受託)
29	田辺三重松	駒ヶ岳	不詳	油彩・キャンバス	48.5×59.5	
30	田辺三重松	巡洋艦 愛宕	不詳	油彩・キャンバス	46.1×53.6	
第3章 戦後の再出発						
31	田辺三重松	おつけの浜	1947(昭和22)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	函館市蔵(当館受託)
32	田辺三重松	緑の池畔	1947(昭和22)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	函館市蔵(当館受託)
33	田辺三重松	鮮魚一匹	1948(昭和23)	油彩・キャンバス	34.0×45.0	
34	田辺三重松	樹間	1948(昭和23)	油彩・キャンバス	90.9×116.3	函館市蔵(当館受託)
35	田辺三重松	開墾地の初夏	1948(昭和23)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	函館市蔵(当館受託)
36	田辺三重松	古潭	1949(昭和24)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	函館市蔵(当館受託)
37	田辺三重松	古潭	不詳	鉛筆・紙	24.9×35.7	
38	田辺三重松	夏の函館港	1949(昭和24)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	函館市蔵(当館受託)
39	田辺三重松	埠頭風景	1949(昭和24)頃	油彩・キャンバス	32.0×41.0	
40	田辺三重松	早春街景	不詳	鉛筆・紙	26.3×34.2	
41	田辺三重松	早春街景	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	
42	田辺三重松	五稜郭跡「早春」	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	90.9×115.0	函館市蔵(当館受託)
43	田辺三重松	旧本店附近	1951(昭和26)	油彩・キャンバス	59.5×71.5	
44	田辺三重松	残雪のある山肌	1952(昭和27)	油彩・キャンバス	116.5×90.8	
45	田辺三重松	初夏の船入澗	1953(昭和28)	油彩・キャンバス	91.0×116.8	函館市立西小学校(現・弥生小学校)蔵(当館受託)
46	田辺三重松	函館港の秋	1953(昭和28)	油彩・キャンバス	42.0×51.0	函館市蔵(当館受託)
47	田辺三重松	羊蹄山	不詳	油彩・キャンバス	37.5×45.0	
48	田辺三重松	摩周湖	不詳	油彩・キャンバス	45.5×53.0	
49	田辺三重松	駒ヶ岳(仮称)	不詳	鉛筆、水彩・紙	23.7×34.4	
50	田辺三重松	八ヶ岳(仮称)	不詳	鉛筆、水彩・紙	21.8×31.3	
51	田辺三重松	羽黒山(仮称)	不詳	鉛筆、水彩・紙	22.8×29.8	
52	田辺三重松	海岸風景(仮称)	不詳	インク、水彩・紙	21.7×29.1	
53	田辺三重松	元町風景(仮称)	不詳	鉛筆、水彩・紙	23.9×33.4	
54	田辺三重松	五稜郭(仮称)	不詳	鉛筆、水彩・紙	19.2×27.2	
55	田辺三重松	五稜郭(仮称)	不詳	鉛筆、水彩・紙	23.0×28.0	
56	田辺三重松	阿寒湖(仮称)	不詳	水彩・紙	18.8×27.0	
57	田辺三重松	阿寒湖(仮称)	不詳	インク、水彩・紙	21.7×29.1	
58	田辺三重松	摩周湖(仮称)	不詳	インク、水彩・紙	21.7×28.8	
59	田辺三重松	摩周湖(仮称)	不詳	インク、水彩・紙	21.7×29.1	
60	田辺三重松	羊蹄山(仮称)	不詳	インク、水彩・紙	21.4×28.8	

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵先
61	向井潤吉	田辺三重松肖像	不詳	鉛筆・紙	30.0×21.2	
62	田辺三重松	時雨るゝ山湖	不詳	鉛筆・紙	23.6×29.4	
第4章 円熟の境地へ						
63	田辺三重松	大雪山の初夏	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	45.0×53.0	
64	田辺三重松	湖畔の白樺	1955(昭和30)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	函館市蔵(当館受託)
65	田辺三重松	然別湖	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	
66	田辺三重松	開墾地	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	90.9×72.2	函館市蔵(当館受託)
67	田辺三重松	西海九十九島	1950年代	油彩・キャンバス	45.5×53.0	
68	田辺三重松	海峡	1960(昭和35)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	
69	田辺三重松	船	1960(昭和35)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	函館市蔵(当館受託)
70	田辺三重松	はまなすの砂丘	1961(昭和36)	油彩・キャンバス	112.0×145.5	
71	田辺三重松	海浜	1962(昭和37)	油彩・キャンバス	91.0×116.6	
72	田辺三重松	砂丘と船	1962(昭和37)	油彩・キャンバス	90.9×116.3	函館市蔵(当館受託)
73	田辺三重松	海辺	1962(昭和37)	油彩・キャンバス	112.1×145.5	函館市蔵(当館受託)
74	田辺三重松	阿寒湖	1963(昭和38)	油彩・キャンバス	123.0×302.0	
75	田辺三重松	ブライトホーン氷河	1963(昭和38)	コンテ・紙	27.0×37.1	
76	田辺三重松	薔薇	1963(昭和38)	油彩・キャンバス	53.0×45.5	函館市立西小学校(現・弥生小学校)蔵(当館受託)
77	田辺三重松	積丹の海	1964(昭和39)	油彩・キャンバス	65.1×116.8	
78	田辺三重松	灯台のある草原	1965(昭和40)	油彩・キャンバス	91.0×116.8	
79	田辺三重松	ブライトホーン氷河	1965(昭和40)	油彩・キャンバス	90.9×116.8	函館市蔵(当館受託)
80	田辺三重松	湖畔の家	1965(昭和40)	油彩・キャンバス	72.7×90.9	函館市蔵(当館受託)
81	田辺三重松	大雪連峰初夏	1969(昭和44)	油彩・キャンバス	57.5×100.0	
82	田辺三重松	神威岬	1969(昭和44)	油彩・キャンバス	115.0×141.0	函館市蔵(当館受託)
83	田辺三重松	山	不詳	鉛筆、水彩・紙	22.5×29.3	
84	田辺三重松	チキユ岬	不詳	鉛筆、水彩・紙	28.3×36.7	
85	田辺三重松	利尻富士	不詳	鉛筆・紙	27.8×35.7	
86	田辺三重松	稚内大岬燈台下	不詳	鉛筆・紙	27.6×35.2	
87	田辺三重松	洞爺カントリークラブ頂上より	不詳	鉛筆・紙	26.8×37.7	
88	田辺三重松	『海峡』表紙原画(No.122、123)		インク・紙	13.1×17.1	
89	田辺三重松	『海峡』表紙原画(No.124、125)		インク・紙	12.6×16.8	
90	田辺三重松	『海峡』表紙原画(No.132、133)		インク・紙	11.2×14.5	
91		『海峡』			B6版	

*所蔵に記載のない作品はすべて当館蔵

招き猫亭コレクション 猫まみれ展 アートになった猫たち 浮世絵から現代美術まで

会期：2017年11月3日(金・祝)～2018年1月21日(日) 65日間

主催：北海道立函館美術館

共催：北海道新聞函館支社

後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、
函館山ロープウェイ(株)FMいるか

協力：招き猫亭、北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社

企画協力：アートシード

観覧者数：7,059名

観覧料：一般1,000(800)円、高大生600(400)円、小中生300(200)円

巡回：北海道立帯広美術館、神戸ゆかりの美術館、三重県立美術館、
周南市美術博物館、いわき市立美術館、川越市立美術館、
尾道市立美術館、北海道立旭川美術館

「猫」は、古今東西、人間のパートナーとして親しまれ、愛されてきた。「招き猫亭」は、猫と美術への愛が高じ、猫を題材にした美術作品を40年以上集め続けている日本人のコレクターである。そのコレクションから、絵画、彫刻、版画など、浮世絵から現代美術まで300点の作品を展示した。主なアーティストは、テオフィル・スタンラン、マルク・シャガール、オーブリー・ビアズリー、レオナルド・フジタ(藤田嗣治)、歌川国芳、簀内左斗司、山本容子、横尾忠則、フジコ・ヘミングら。猫にちなんだ関連イベントを多数用意し、多角的な展覧会の楽しみ方を提供した。

【関連事業】

ギャラリー・ツアー「めくるめく猫の世界へようこそ！」

日時：11月4日(土) 14:00～(約30分) 聴講者数：28名

1月6日(土) 14:00～(約30分) 聴講者数：15名

1月13日(土) 14:00～(約30分) 聴講者数：21名

講師：当館学芸員

会場：当館特別展示室(要観覧券)

ギャラリー・コンサート

「《招き猫亭コレクション 猫まみれ展》に寄せて」

日時：11月3日(金・祝) 11:30～/14:00～ (各回約40分)

出演：「ソリダリテ」畑野祥子(ソプラノ)、次藤正代(ソプラノ)、伊藤亜希子(ピアノ)

会場：当館特別展示室(要観覧券) 聴講者数：166名

猫まみれ展×松前高校書道部 書道パフォーマンス&ワークショップ

日時：11月11日(土) 14:00～(約2時間)

講師：北海道松前高等学校書道部、天満谷貴之氏(書家・同校教諭)、当館学芸員

会場：当館特別展示室、常設展示室、講堂 (募集制)

※荒天により中止

ハコビ・マジカル・ワークショップ「美術館でパンケーキ作りに挑戦!!」

日時：11月25日(土) 13:30～(約2時間)

講師：澤田基氏(「ちいさなしあわせパン☆」店主)、柳沢弥生(当館主任学芸員)、
ハコビ・マジカル・クラブ・アシスタント(北海道教育大学函館校学生)

会場：当館特別展示室、常設展示室、講堂 参加者数：25名(募集制)

カフェ&トーク「猫とスイーツの甘～い関係」

日時：12月2日(土) 14:00～(約60分)

講師：長谷川達氏(「ロマンティコ・ロマンティカ」店主)、柳沢弥生(当館主任学芸員)

会場：当館特別展示室、カフェ 参加者数：17名(募集制)

協力：「ロマンティコ・ロマンティカ」

「午後のタンゴ～猫に誘われて～」



ポスター(B2)/チラシ(A4)共通デザイン



チケット



展示風景

日時: 12月9日(土) 14:00～(約45分)

出演: モニカ&モリト(アルーラ・タンゴ)(タンゴ)、アンジェラ(ピアノ)、トーマス・ソントン(ヴァイオリン)

会場: 当館特別展示室(要観覧券) 聴講者数: 121名

冬休みハコビ・アトリエ「松ぼっくりでミニ・オーナメントを作ろう！」

期間: 12月23日(土・祝)～2018年1月21日(日) 9:30～17:00

会場: 当館ホール(参加無料) 参加者数: 187名

絵本のよみきかせ

日時: 1月7日(日) 11:00～(約30分) 聴講者数: 30名

1月14日(日) 11:00～(約30分) 聴講者数: 30名

1月21日(日) 11:00～(約30分) 聴講者数: 35名

よみきかせ: 函館絵本の会 銀のふね

会場: 当館特別展示室

【図録】

『招き猫亭コレクション 猫まみれ』

規格: 21.0×15.0cm／320頁

構成: 「招き猫亭コレクション」／招き猫亭小銀「猫が人間とともに歩んだ道」／招き猫亭小銀「猫がらみ、作家・作品解説」／林紀一郎「招き猫亭一座の顔見世興行」／福原義春「猫を描く人と集める人」／山下裕二「猫まみれのコレクション、そして日本美術史の中の猫」／掲載作品目録

監修・文: 招き猫亭

発行: 株式会社求龍堂

『招き猫亭コレクション 猫まみれ2』

規格: 21.0×15.0cm／200頁

構成: 「招き猫亭コレクション」／招き猫亭小銀「自由気ままな猫いる絵の読み解き」／招き猫亭小銀「平成かなよみ新聞」／林紀一郎「招き猫亭一座”賛江一吾輩の前口上にて御免蒙る」／山下裕二「もっと、猫まみれになるために―「新田猫」と民間信仰」／福原義春「猫まみれにまみれて」／掲載作品目録

監修・文: 招き猫亭

発行: 株式会社求龍堂

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)
1	高橋弘明	ジャパニーズ・ボブテイル	1924(大正13)	紙、木版	23.5×33.0
愛くるしい					
2	木下晋	甘え	2007(平成19)	紙、鉛筆	39.3×58.0
3	松田剣	猫面	2011(平成23)	テラコッタ	8.5×9.0×5.0
4	小糸源太郎	猫	制作年不詳	紙、水彩	27.0×23.5
5	生田宏司	芽ばえ IV・猫	1998(平成10)	紙、メゾチント、手彩色	9.0×8.0
6	生田宏司	子猫と子鼻	1998(平成10)	紙、メゾチント	45.7×25.5
7	生田宏司	子猫と子鼻 II	1998(平成10)	紙、メゾチント	16.5×36.0
8	関野準一郎	親子猫	1960(昭和35)	紙、木版	38.1×26.0
9	関野準一郎	シヤム猫	1960(昭和35)	紙、木版	35.5×45.0
10	関野準一郎	ペルシヤ猫	1960(昭和35)	紙、木版	24.0×55.0
11	稲垣知雄	猫の肖像	制作年不詳	紙、木版	37.5×49.8
12	大村廣陽	猫と黄蝶	1960(昭和35)	紙、木版	23.5×33.5
13	小松均	猫	制作年不詳	紙、木版	32×49
14	金子國義	Micky & Lily	2002(平成14)	キャンヴァス、油彩	22.8×16.0
15	十時孝好	NEKO 90-11	1990(平成2)	板、アクリル	30.3×8.7
16	相笠昌義	猫を抱く少女	1991(平成3)	キャンヴァス、油彩	SM(22×15)
17	南桂子	落葉と少女	1988(昭和63)	紙、エッチング	42.4×35.0
18	名嶋憲児	寧日	1999(平成11)	紙、木版	22.0×30.0
19	金森宰司	茶々丸	制作年不詳	紙、ミクストメディア	27.5×21.0
20	山中現	窓辺	2003(平成15)	紙、木版	30.4×22.0
21	横山貞二	猫と在る	2009(平成21)	紙、木版、油彩	39.0×27.0
22	横山貞二	たまの外出	1998(平成10)	紙、木版、油彩	48.8×39.5
23	中西良	夕暮れ	2009(平成21)	麻布に石膏下地、油彩	18.0×18.0
24	穂月明	板塀の子猫	制作年不詳	紙本墨画	31.0×19.0
25	中佐藤滋	見失う前に彷徨ってしまう 繫いで言葉じゃなくて	2005(平成17)	キャンヴァス、アクリル	32.0×40.0
26	中佐藤滋	男と猫	2002(平成14)	紙、鉛筆	8.5×8.3
27	中佐藤滋	猫 II	2002(平成14)	紙、アクリル	16.0×22.8
28	合田佐和子	キャッピーちゃん	1995(平成7)	キャンヴァス、油彩	45.5×27.3
29	合田佐和子	White Heart	2008(平成20)	キャンヴァス、油彩	39.0×30.0
30	アンリエット・ロナー	ベル著「アンリエット・ロナーの猫と子猫」	1894(初版)	大判版元装丁	39.5×31.0×2.5
31	秀島由己男	ホオズキの中の猫	2010(平成22)	紙、メゾチント、手彩色	14.0×14.0
32	田嶋健	ねこお	2007(平成19)	紙、木版	11.0×10.0
33	八木原由美	Friends	2008(平成20)	紙、リトグラフ	16.0×8.5
34	浮田麻木	困ったニヤー	2007(平成19)	鉄	55.0×27.0×30.0
35	柳原義達	猫	1963(昭和38)頃	ブロンズ	24×13×22
36	吾妻兼治郎	猫 M	1965(昭和40)	ブロンズ	27×49×14
37	吾妻兼治郎	二匹の猫	1965(昭和40)	ブロンズ	21×36×21
38	吾妻兼治郎	猫 A	1965(昭和40)	ブロンズ	32×42×12
猫は寝こ？					
39	川上澄生	眠り猫	制作年不詳	紙・木版	11×23.3
40	岸田劉生	或る人々[装幀木版画集より]	1920(大正9)	紙・木版	18.5×27.5
41	岸田劉生	猫と梅図[装幀木版画集より]	1920(大正9)	紙・木版	18.5×24.5
42	木下晋	くつろぎ	1985(昭和60)	紙、鉛筆	12×26
43	生田宏司	やすらぎの時	1998(平成10)	紙、メゾチント	35.5×68.0
44	山城隆一	ネ・カラー・ジュより	1972(昭和47)	紙、カラー・ジュ	34.0×23.5
45	蔡國華	ある日ー心地良い	2010(平成22)	紙、木炭、コンテ、水彩、パステルなど	79.0×54.6
46	辻村和美	寝子	2008(平成20)	紙本着色	21.0×15.5
47	辻村和美	食後	2008(平成20)	紙本着色	21.0×15.5
48	椿貞雄	とら寝る図	1936(昭和11)	紙、墨画着色	31.3×49.4
49	椿貞雄	たま寝る図	1930(昭和5)頃	紙、墨画着色	28.0×37.2
50	椿貞雄	たま座る図	1931(昭和6)	紙、墨画淡彩	34.3×23.7
51	椿貞雄	ころ座る図	1940(昭和15)	紙、墨画	37.2×26.7
52	四代長谷川貞信	猫	1955(昭和30)	布、着色	30.4×21.2
53	四代長谷川貞信	猫	1955(昭和30)	布、着色	30.4×21.2
54	四代長谷川貞信	猫	1955(昭和30)	布、着色	21.2×30.4
55	四代長谷川貞信	猫	制作年不詳	紙、木版	25.5×19.0
56	四代長谷川貞信	猫	制作年不詳	布、着色	29.0×22.5
ものがたり猫					
57	マルク・シャガール	猫と2羽のスズメ「ラ・フォンテーヌの寓話」より	1952	紙、エッチング	29.0×23.5
58	オーブリー・ビアズリー	黒猫	1884	紙、ラインブロック	20.0×14.0
59	山本容子	Cheshire-Chonta	1994(平成6)	紙、エッチング、手彩色	9.5×14.5
60	山本容子	Cheshire-cat 94'	1994(平成6)	紙、エッチング	32.0×42.0
61	古田恵美子	夜の散歩ネコ	2009(平成21)	キャンヴァス、油彩、木炭	14.5×28.0

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)
62	古田恵美子	ふとおもうネコ	2009(平成21)	キャンヴァス、油彩、クレパス	15.0×38.0
63	松井ヨシアキ	猫とコンサート II	2005(平成17)	キャンヴァス、油彩	45.0×52.5
64	松井ヨシアキ	青い部屋の猫	制作年不詳	キャンヴァス、油彩	41.0×31.8
65	落田洋子	お気に入り追加	2009(平成21)	キャンヴァス、油彩	22.7×15.8
66	落田洋子	セロトニンが足りない	2009(平成21)	キャンヴァス、油彩	45.5×53.0
67	笈本生	猫とギャルソン	2010(平成22)	キャンヴァス、油彩	24.2×33.5
68	竹久夢二	黒猫を抱く女[やなぎ屋版]	1920(大正9)	紙、木版	34.5×25.0
69	竹久夢二	猫[豆本]	1966(昭和41)	紙、木版	9.6×7.3×1.2
人間になった猫					
70	山本雅子	imitation	制作年不詳	キャンヴァス、油彩、コラージュ	26.5×18.5
71	植草甚一	猫男	1961(昭和36)	紙、油彩	14.0×9.0
72	朝倉撰	スベードの女王	2009(平成21)	キャンヴァス、ミクストメディア	14.5×10.0
73	浅井忠	猫の草紙	制作年不詳	装幀画	22.8×15.8
74	川上澄生	Cat Town[猫町]	1935(昭和10)	装幀画	19.8×15.3
75	西誠人	伸太郎	2002(平成14)	木	35.0×30.0×10.0
76	西誠人	燐太郎	2005(平成17)	木	4.0×18.0×3.0
77	歌川国芳	流行猫の戯 かがみやな 草履恥の段	1847(弘化4)	大判錦絵	大判
78	歌川国芳	流行猫の戯 おしゆん傳兵衛 身の臭淫色時	1847(弘化4)	大判錦絵	大判
79	歌川国芳	流行猫の戯 梅が枝無間の真似	1847(弘化4)	大判錦絵	大判
80	歌川国芳	流行猫の戯 道行 猫柳婁月影	1847(弘化4)	大判錦絵	大判
81	歌川国芳	流行猫の戯 袂糞氣罵責段	1847(弘化4)	大判錦絵	大判
82	歌川(落合)芳幾	与はなさけ浮名の横ぐし	1860(安政7/万延元)	大判錦絵	大判
83	歌川(落合)芳幾	手習鑑虎小家の段	1860(安政7/万延元)	大判錦絵	大判
84	三代歌川豊国	愛妾胡蝶	1853(嘉永6)	大判錦絵	大判(三枚続きの一枚)
85	作者不詳	新版猫と鼠の戯	明治初期	大判錦絵	大判
86	歌川芳藤	猫の善悪	明治初期	大判錦絵	大判
87	作者不詳	新版ねこの弥次きた	明治初期	大判錦絵	大判
88	四代歌川国政	新版ねずみのたわむれ 猫の図	明治初期	大判錦絵	大判錦絵
89	歌川国年	猫尽し	1884(明治17)	大判錦絵	大判錦絵
90	歌川国梅	新ばん猫世帯ままこしらへ	1877(明治10)	大判錦絵	大判
91	歌川国利	流行温泉の圖	明治初期	大判錦絵	大判
92	永島春暁	猫の温泉あそび	明治初期	大判錦絵	大判
93	三代歌川豊国(国貞)	花野嵯峨猫魔稿 愛妾胡蝶 伊東壮太 後室さがの方	1853(嘉永6)	大判錦絵 三枚続	
94	三代歌川豊国	五十三次の内 岡部九子の間 宇津谷猫石	1854(嘉永7/安政元)	大判錦絵	大判三枚続
95	三代歌川豊国	五十三次の内 京	1854(嘉永7/安政元)	大判錦絵 三枚続	大判三枚続
96	豊原国周	珍猫見立善悪鏡	1884(明治17)	大判錦絵 三枚続	35.7×23.7
97	豊原国周	東都三十六景之内 山下御門 古猫の怪 板東彦三	1864(文久4/元治元)	大判錦絵	大判
98	立原位貫	猫のひな祭り	1997(平成9)	紙、錦絵	
99	秀島由己男	猫の平家物語(変わり雛)	2015(平成27)	キャンヴァス、古代布、テンペラ、油彩	41.0×32.0
100	駒井哲郎	人のような猫	1961(昭和36)	紙、エッチング	16.1×7.8
101	秀島由己男	猫(ドレスのキャット)B	1998(平成10)	紙、フォトグラビュール、エッチング	21.0×12.5
102	秀島由己男	猫の鎧武者	2006(平成18)	紙、ミクストメディア	12.5×18.5
103	秀島由己男	猫(ドレスのキャット)A	1998(平成10)	紙、フォトグラビュール、エッチング	19.1×14.0
104	秋山祐徳太子	猫男	2007(平成19)	ブリキ	19.0×6.0×6.0
猫と女性					
105	レオノール・フィニ	飛ぶ魔女	制作年不詳	紙、エッチング	33.0×41.0
106	ルイ・イカール	スイート・ミステリー	1935	紙、エッチング	52.0×40.6
107	池田満寿夫	私の詩人・私の猫	1965(昭和40)	紙、ドライポイント、ルーレット	36.0×33.0
108	山下清澄	夜訪れる者たち	1971(昭和46)	紙、エッチング	29.0×35.1
109	斎藤真一	化粧	1962(昭和37)	キャンヴァス、油彩	53.0×41.0
110	水野年方	三十六佳撰 湯あがり 寛政の婦人	1894(明治27)	大判錦絵	大判
111	歌川広重	名所江戸百景 浅草田圃西の町詣	1857(安政4)	大判錦絵	大判
112	歌川国芳	山海愛度圖會 えりをぬきたい	1852(嘉永5)	大判錦絵	大判
113	歌川国芳	山海めでたいづえ はやくきめたい	1852(嘉永5)	大判錦絵	大判
114	大蘇(月岡)芳年	古今比賣鑑 薄雲	明治初期	大判錦絵	大判
115	大蘇(月岡)芳年	見立多以尽より とりけしたい	1878(明治11)	大判錦絵	大判
116	豊原国周	錦織 武蔵の別品	1883(明治16)頃	大判錦絵	大判
猫のごりやく					
117	横尾忠則	日の本の猫	1997(平成9)	紙、シルクスクリーン	102.0×71.5
118	四代歌川国政	新坂賊ねずみ	1882(明治15)	大判錦絵	大判
119	歌川広重	浄るり町繁花の図	1852(嘉永5)	大判錦絵	大判
120	歌川国芳	猫の妙術	1847-52頃	大判錦絵	大判
121	新田道純	猫図[新田猫]	江戸後期	紙本墨画淡彩	40.0×46.0
122	新田[源弘印]	猫図[新田猫]	江戸後期	紙、木版	29.5×22.4
123	岩松(新田)徳純	猫図[新田猫]	江戸期	紙本墨画	43.6×48.6
124	脇屋(新田)義明	猫図[新田猫]	江戸後期	紙本墨画淡彩	52.4×56.7

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)
125	岩松(新田)道純	猫図[新田猫]	江戸後期	紙本墨画淡彩	41.5×61.4
126	岩松(新田)俊純	猫図[新田猫]	江戸後期	紙本墨画淡彩	98.8×31.0
127	帰舟	猫図[新田猫]	江戸後期	紙本墨画淡彩	65.0×26.4
128	作者不詳	猫図[新田猫]	江戸後期	紙本墨画	46.5×30.7
129	岩松(新田)徳純	猫図[新田猫]	江戸後期	紙本墨画淡彩	52.0×41.0
130	岩松(新田)徳純	猫図[新田猫]	江戸後期	紙、木版	18.0×54.0
猫を描く					
131	辻村和美	障子	2006(平成18)	紙本着色	45.0×26.0
132	福沢健一	猫	制作年不詳	色紙、漆絵	27.3×24.2
133	河鍋暁斎	猫	1858~1870	紙本淡彩	31.0×34.0
134	山口華楊	華と猫	1983(昭和58)	紙、リトグラフ	36.0×45.0
135	竹内浩一	香	1999(平成11)	紙本着色	53.0×45.0
136	杉山寧	猫	1950(昭和25)	紙、鉛筆 着色	48.4×65.3
137	小泉淳作	猫	2007(平成19)	紙本着色	38.0×24.0
138	斎藤清	黒猫 I	1955(昭和30)	紙、木版	41.0×24.0
139	斎藤清	凝視	1952(昭和27)	紙、木版	35.2×23.7
140	斎藤清	競艶	1973(昭和48)	紙、木版	27.5×28.5
141	藤島武二	猫	制作年不詳	紙、水彩	33.0×23.5
142	國司華子	ネコ君	2002(平成14)	紙本着色	24.3×40.9
143	蔡國華	孤高	2009(平成21)	紙、コンテ	48.0×62.0
144	吉仲太造	Playing cat	1977(昭和52)	キャンヴァス、油彩	23.0×16.0
145	門坂流	カール	2007(平成19)	紙、鉛筆	19.2×28.8
146	門坂流	猫	2007(平成19)	紙、鉛筆、水彩	13.5×17.5
147	門坂流	黒猫[ミュウ]	2005(平成17)	紙、ペン、水彩	11.7×18.0
148	生田宏司	微風の香り	2002(平成14)	紙、カラーメゾチント	18.0×12.4
149	興倉豪	テリトリー	2007(平成19)	紙、ペン	25.0×18.5
150	三沢厚彦	cat	2002(平成14)	紙、ペン、色鉛筆	15.5×21.0
151	三沢厚彦	Head"猫"	2000(平成12)	桂、アクリル、油彩	13.8×12.8×14.0
152	藪内佐斗司	猫も歩けば	1998(平成10)	ブロンズ	各18.0×10.0×44.0
153	藪内佐斗司	寧子	1989(平成元)	木、漆	60.0×50.0×14.0
154	藪内佐斗司	尻上がり寧子	1993(平成5)	ブロンズ	43.0×15.5×43.5
155	大塚茂吉	猫	2009(平成21)	テラコッタ	51.0×20.0×27.0
156	木内克	猫	2009(平成21)	1960年	58.0×45.0×28.0
157	樋口富麻呂	黒猫	制作年不詳	紙本着色	29.0×22.0
158	小川芋銭	寒厳三公	明治期	紙本墨画淡彩	122.5×30.2
159	中川一政	日日(花に猫)	1931(昭和6)	紙本墨画	125.8×31.0
猫と作家たち					
160	レオナルド・フジタ	猫を抱く少女	1950(昭和25)	紙、水彩	34.0×24.0
161	レオナルド・フジタ	猫	1938(昭和13)	紙、水彩	23.0×32.0
162	レオナルド・フジタ	クリソテミス[「猫二十態」より]	1930(昭和5)	紙、コロタイプ	19.0×25.0
163	レオナルド・フジタ	アホリバテ[「猫二十態」より]	1930(昭和5)	紙、コロタイプ	19.0×25.0
164	レオナルド・フジタ	ミラ[「猫二十態」より]	1930(昭和5)	紙、コロタイプ	19.0×25.0
165	レオナルド・フジタ	若い猫	1952(昭和27)	印画紙、インク	17.0×23.5
166	レオナルド・フジタ	尾の黒い猫[「猫二十態」より]	1929(昭和4)	紙、エッチング	29.0×35.5
167	下村良之介	陶虎	1986(昭和61)	陶器	20.8×16.5×24.0
168	川合玉堂	猫児	1913(大正2)	紙本墨画淡彩	116.3×30.1
169	木村荘八	猫恋人(ねこらばさん)	制作年不詳	紙、エッチング	24.0×9.0
170	木村荘八	われがすみか 初代竹枝せん	1957-58 (昭和32-33)	紙本着色	130.4×30.3
171	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	猫と少女	1898	紙、リトグラフ	46.0×31.5
172	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	夏ー手すりの上の猫	1919	紙、リトグラフ	49.3×60.7
173	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	冬ークッションの上の猫	1919	紙、リトグラフ	49.6×59.0
174	アドルフ・リヨン・ウイレット	作品名不詳	制作年不詳	紙、エッチング	33.5×29.8
175	アンディ・ウォーホル	Sam	1954	紙、リトグラフ、手彩色	21.7×14.2
176	フジコ・ヘミング	猫十態(ソニア)	2005	紙、木版	25.5×23.3
177	歌川国芳	曲亭翁精著八犬士随一 犬村大角	江戸後期	大判錦絵	大判
178	歌川国芳	見立東海道五拾三次 岡部 猫石の由来	1847(弘化4)	大判錦絵、三枚続	大判三枚続
179	歌川国芳	日本駄右エ門 猫之古事	1847(弘化4)頃	大判錦絵、三枚続	大判三枚続
180	歌川国芳	流行逢都繪希代稀物	1852(嘉永5)頃	大判錦絵、三枚続	大判三枚続
181	伴亭/伊万里	伊万里国芳猫文様豆皿	1947-52 (昭和22-27)頃	陶器	大15点:9.0 小80点:6.0(径)
182	歌川国芳	猫飼好五十三疋(復刻版)	制作年不詳	大判錦絵、三枚続	大判三枚続(復刻版)
183	木村荘八	たま	制作年不詳	紙、鉛筆、墨、水彩	16.0×18.4
184	木村荘八	猫の銭湯	1953(昭和28)	紙・木版	42.7×29.8
185	猪熊弦一郎	少年と猫	1950(昭和25)頃	紙、グアッシュ	35.0×24.5

186 若江漢字 タライ君人となり 2007(平成19) キャンヴァス、アクリル 45.5×38.3

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)
夢見る猫					
187	山下まゆみ	鏡の国	2006(平成18)	紙本着色	46.0×53.0
188	安元亮祐	雨を呼ぶ猫	2002(平成14)	キャンヴァス、アクリル	27.5×41.0
189	安元亮祐	砂漠の秘宝	2003(平成15)	紙、布など、アクリル、ミクストメディア	22.5×17.0
190	安元亮祐	蒼い追想	2007(平成19)	板、アクリル、インク、コラーージュ	21.1×32.6
191	安元亮祐	道化少年	2010(平成22)	板、アクリル、コラーージュ	20.7×20.7
192	安元亮祐	あさがえり	2008(平成20)	板、アクリル、コラーージュ	12.5×25.8
193	安元亮祐	月を呼ぶ猫	2002(平成14)	板、木、アクリル、ミクストメディア	17.0×13.5×4.5
194	安元亮祐	平和への祈り	2003(平成15)	キャンヴァス、アクリル、コラーージュ	22.0×27.3
195	安元亮祐	凜Ⅱ	2007(平成19)	布、板裏打ち、アクリル、コラーージュ	10.0×6.7
196	多賀新	夢見る猫(Ⅱ)	2009(平成21)	紙、鉛筆、色鉛筆、蛍光ペン	61.0×33.0
197	清宮質文	夕日と猫Ⅱ	1979(昭和54)	紙、木版	20.0×17.5
198	清宮質文	夢の中へ	1983(昭和58)	紙、木版	15.5×6.8
199	生田宏司	マリオネットのある部屋(原版)	1999(平成11)	銅板	
200	生田宏司	マリオネットのある部屋	1999(平成11)	紙、メゾチント	18.6×12.5
201	秀島由己男	玉子と二匹の猫	2009(平成21)	キャンヴァス、ミクストメディア	33.5×24.3
202	秀島由己男	夜の根子岳(2匹の猫)	2011(平成23)	紙、ミクストメディア	10.5×19.6
203	秀島由己男	夜の根子岳(猫岳)	2009(平成21)	紙、キャンヴァス裏打ち、ミクストメディア	22.4×27.6
204	佐藤健吾エリオ	猫Ⅰ	2000(平成12)	紙、水彩	17.5×11.8
205	佐藤健吾エリオ	猫Ⅱ	2000(平成12)	紙、水彩	12.0×12.0
206	柏本龍太	休日	制作年不詳	キャンヴァス、油彩	50.0×20.0
207	鈴木敦子	ついてくる	2007(平成19)	紙、木版	30.0×22.5
208	鈴木敦子	光る	2007(平成19)	紙、木版	9.0×9.0
209	鈴木敦子	あっちこっち	2009(平成21)	紙、木版	12.0×22.5
210	鈴木敦子	花の便り	2005(平成17)	紙、木版	22.5×18.0
211	山田純嗣	(10-3)TURN AROUND	2010(平成22)	ポリコートパネルに印画紙、樹脂、パール粉、インタリオ、オン、フォト	50.0×40.0
212	呉亜沙	Flying Cat	2003(平成15)	キャンヴァス、油彩	40.9×31.8
213	呉亜沙	考	2003(平成15)	紙、鉛筆、クレヨン、アクリル	23.0×32.3
214	呉亜沙	団	2003(平成15)	紙、アクリル	23.5×32.0
215	呉亜沙	行き先	2003(平成15)	キャンヴァス、油彩	15.8×22.7
216	呉亜沙	Passer	2004(平成16)	キャンヴァス、油彩	24.0×33.4
217	呉亜沙	in the bottle -rainbow-	2006(平成18)	紙、ドライポイント	23.0×17.0
猫まみれ					
218	作者不詳	両めんによつくし	1909(明治42)	大判錦絵	大判
219	作者不詳	志ん坂ねこづくし	1908(明治41)	大判錦絵	大判
220	二代歌川国貞	花盛土農工商	1852(嘉永5)頃	大判錦絵、三枚続	大判三枚続
221	河鍋曉斎	戯画	明治初期	小判錦絵	18×24
222	河鍋曉斎	戯画	明治初期	小判錦絵	小判
224	貞斎泉晁	傾城花競 丸海老屋内 江門	江戸後期	大判錦絵	大判
225	歌川国芳	浮世四十八癖 はなしをききたがるくせ	1847-52 (弘化4-嘉永5)頃	大判錦絵	大判
223	歌川重宣(二代広重)	当世見立五節句	1850年代後半	大判錦絵	大判
226	歌川国芳	艶姿十六女仙 豊干禪師	1847-52 (弘化4-嘉永5)頃	大判錦絵	大判
227	歌川国貞(三代歌川豊国)	子宝遊「猫」	1832(天保3)頃	大判錦絵	大判
228	歌川豊国	七変化の内 女三宮 板東三津五郎	江戸後期	大判錦絵	大判
229	中村直人	猫	1975(昭和50)頃	紙、リトグラフ	56.0×43.0
230	中村直人	猫	制作年不詳	紙、リトグラフ	50.5×40.5
231	斎藤清	猫	制作年不詳	紙、木版	36.0×23.0
232	斎藤清	黒猫Ⅱ	1955(昭和30)頃	紙、木版	40.0×24.0
233	生田宏司	猫と猫頭鷹Ⅴ	2002(平成14)	紙、メゾチント	16.5×35.5
234	生田宏司	猫と猫頭鷹	2001(平成13)	紙、メゾチント	16.4×35.5
235	生田宏司	猫と猫頭鷹Ⅱ	2000(平成12)	紙、メゾチント	16.5×35.5
236	生田宏司	月夜の集い	2000(平成12)	紙、メゾチント	44.5×67.0
237	生田宏司	猫と夜猫子	1998(平成10)	紙、メゾチント	10.0×7.5
238	生田宏司	猫と夜猫子Ⅲ	2002(平成14)	紙、メゾチント	13.5×22.0
239	生田宏司	猫と猫頭鷹	1999(平成11)	紙、メゾチント	16.5×35.6
240	生田宏司	三猫図	2010(平成22)	紙、メゾチント	16.5×34.4
241	生田宏司	猫と猫頭鷹	2000(平成12)	紙、メゾチント	18.5×25.3
242	石川寅治	黒い猫	1934(昭和9)	紙・木版	37.5×29.5
243	石川寅治	つれづれ	1934(昭和9)	紙・木版	37.5×30
244	秀島由己男	猫のたんぼぼ	2005(平成17)	紙、ミクストメディア	12.5×18.5
245	秀島由己男	猫の季節	2005(平成17)	紙、ミクストメディア	13.5×17.0
246	秀島由己男	美しき野生(片耳リリー)	1987(昭和62)	紙、エッチング、アクアチント	16.3×11.0

247	秀島由己男	猫(キングのキャット)A	1998(平成10)	紙、フォトグラビュール、エッチング	11.8×16.9
248	秀島由己男	猫のポートレイト	1982(昭和57)	紙、メゾチント	17.5×17
249	秀島由己男	月夜	1981(昭和56)	紙、メゾチント	15.5×8.0

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
250	秀島由己男	春の城-261[連載小説『春の城』挿絵]	1998(平成10)	紙、フォトグラビュール、エッチングなど	10.0×13.5
251	秀島由己男	春の城-143[連載小説『春の城』挿絵]	1998(平成10)	紙、フォトグラビュール、エッチングなど	10.3×13.5
252	秀島由己男	春の城-6[連載小説『春の城』挿絵]	1998(平成10)	紙、フォトグラビュール、エッチングなど	10.0×14.0
253	多賀新	如意輪(猫)観音	2011(平成23)	紙、鉛筆、蛍光ペン	34.0×24.0
254	多賀新	猫	1977(昭和52)	紙、エッチング	27.5×17.8
255	多賀新	Fish and Cat	1986(昭和61)	紙、エッチング	13.5×12.0
256	山下清澄	私窩子	1973(昭和48)	紙、エッチング	6.0×14.0
257	小林ドンゲ	女と猫シリーズより「白いレース」	1980(昭和50)	紙、エッチング	17×13
258	小泉淳作	猫	1990(平成2)	紙、リトグラフ	37.3×25.2
259	緑川俊一	ラウンド・アバウト・ミッドナイト	2009(平成21)	キャンヴァス・油彩	22.2×27.6
260	安元亮祐	イブの猫 I	2014(平成26)	紙、カラードローイング	31.0×22.0
261	安元亮祐	猫が蒼い時	2003(平成15)	キャンヴァス・アクリル、コラーージュ	27.3×22.0
262	安元亮祐	みけねこ	2009(平成21)	板、アクリル、コラーージュ	20.7×20.7
263	安元亮祐	きいろいねこ	2004(平成16)	キャンヴァス・アクリル、コラーージュ	18.3×14.3
264	ピエール・ルシュール	猫のいる室内	1998	紙、キャンヴァス裏打ち、油彩	45.5×27.0
265	小澤清人	クレオパトラの猫	1987(昭和62)	板、油彩	23.2×16.1
266	井上長三郎	猫	制作年不詳	キャンヴァス・油彩	30.0×40.0
267	杉山寧	ローマの猫	1963(昭和38)	布、板裏打ち、着色	15.5×15.5
268	辻憲	猫	1998(平成10)	紙、カラーメゾチント	29.3×16.9
269	木下晋	トラの願望 II	2010(平成22)	紙、鉛筆	21.8×60.0
270	弦屋光溪	〈アルチンボルドに捧ぐ五題〉の内 猫	2013(平成25)	紙、木版	41.5×32.5
271	猪熊弦一郎	二人の女	1986(昭和61)	紙、ペン	15.2×10.3
272	成田朱希	猫舌三昧	2002(平成14)	紙、鉛筆	25.0×18.0
273	黒田征太郎	オスネコとメスネコ	1994(平成6)頃	団扇絵、ドローイング	各40×27
274	成田朱希	ラビリンス	2002(平成14)	紙、インク、鉛筆	38.0×26.5
275	成田朱希	ラビリンス	2002(平成14)	紙、インク、鉛筆	38.0×26.5
276	成田朱希	ラビリンス	2002(平成14)	紙、インク、鉛筆	38.0×26.5
277	成田朱希	ラビリンス	2002(平成14)	紙、インク、鉛筆	38.0×26.5
278	成田朱希	ラビリンス	2002(平成14)	紙、インク、鉛筆	38.0×26.5
これも猫					
279	小林清親	猫と提灯	1877(明治10)	間倍判錦絵	間倍判
280	尾形月耕	鼠 陸州黒石常経寺の猫	1892(明治25)	大判錦絵	36×25
281	作者不詳	夏日	制作年不詳	紙本着色	29.5×44.0
282	浜田知明	蒸し暑い夜	1985(昭和60)	紙、エッチング	23.0×15.0
283	浜田知明	夜	1988(昭和63)	紙、エッチング	25.0×21.5
284	永瀬義郎	東洋の旅 I 上海所見	1929(昭和4)	紙、木版	30.5×22.5
285	鬘嘔	怒	2001(平成13)	紙、シルクスクリーン	23.0×21.4
286	鬘嘔	Don't look back	2001(平成13)	紙、シルクスクリーン	34.9×25.0
287	鬘嘔	ルソーのピエール・ロティ氏の猫	1999(平成11)	紙、シルクスクリーン	26.5×21.5
288	村井正誠	猫[絵馬]	1958(昭和33)	木、グアッシュ	20.0×29.0
289	村井正誠	猫	1980(昭和50)	紙、リトグラフ	75.4×54.5
290	伊藤亜矢美	たぬさんネコ	2003(平成15)	紙、モノタイプ	22.0×35.0
291	伊藤亜矢美	たぬさんネコ 2	2003(平成15)	紙、モノタイプ	25.5×37.5
292	山中現	生	1999(平成11)	紙、ドライポイント、ルーレット	11.0×13.5
293	山中現	秘密	1999(平成11)	紙、ドライポイント、ルーレット	12.5×10.0
294	緑川俊一	猫	2007(平成19)	紙、コンテ、コラーージュ	33.4×22.7
295	會田千夏	portrait of forest e	2014(平成26)	油彩、パネル	30×30
296	大森暁生	ぬけない棘の山猫	1999(平成11)	ブロンズ、大理石	20.5×15.0×27.5
297	歌川国芳	猫の百面相	1840年代	大判錦絵	大判
298	歌川国利	しんばんねこ尽	明治初期	大判錦絵	大判
299	大森暁生	月夜のテーブルーBurmeseー	2014(平成26)	楠、樺、漆、彩色、ガラス	146×80×28
300	奥谷博	招き猫	1994(平成6)	ヴェネツィアンガラス	50.0×24.0×26.0

* 作品はすべて「招き猫亭」蔵

追悼特別展 高倉健 おかえりなさい、健さん。北の大地へ

会期：2018年1月31日(水)～3月31日(土) 52日間
 主催：北海道立函館美術館、毎日新聞社、函館美術館ボランティアいちいの会
 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、
 函館山ロープウェイ(株)FMいるか
 特別協力：高倉プロモーション
 協力：一般社団法人日本映画製作者連盟、
 北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社、
 函館市民映画館シネマアイリス
 特別協賛：健康家族
 観覧者数：4,604名
 観覧料：一般1,000(800)円、高大生600(400)円、中学生以下無料
 巡回：東京ステーションギャラリー、北九州市立美術館、北海道立釧路芸
 術館、北海道立帯広美術館、北海道立近代美術館、いわき市立美術
 館

俳優・高倉健の三回忌を機に、高倉健の映画俳優としての全仕事を回顧。出演作205本の抜粋映像を網羅し、高倉健が所蔵していた脚本、小道具などの資料も一堂に展示。昭和から平成へ、戦後という時代とともに歩んだ希代の映画俳優が日本映画し、北海道の映画史に残した足跡を浮き彫りにした。「居酒屋兆治」ロケ地てくてくツアーを開催し、函館という都市と俳優・高倉健の深いかわりについても知識を深める機会を提供した。

【関連事業】

ギャラリー・ツアー

日時：2月3日(土)14:00～14:30 聴講者数：17名
 2月10日(土)14:00～14:30 聴講者数：16名
 3月17日(土)14:00～14:30 聴講者数：45名
 講師：当館学芸員 会場：特別展示室(要観覧券)

ハコビ・マジカル・ワークショップ「人形劇の人形をつくろう！」

日時：2月24日(土)10:00～16:00(昼食休憩を含む)
 講師：北山敦氏(函館人形劇研究所 代表)
 会場：当館講堂、特別展示室 参加者数：10名(募集制)

ひなまつりイベント ハコビでお茶会

日時：3月3日(土) 10:00～13:30 席主：裏千家淡交会函館支部
 会場：当館ホール、特別展示室、常設展示室(要観覧券) 参加者数：271名

大人の遠足 「居酒屋兆治」ロケ地てくてくツアー

日時：3月9日(金)10:00～15:00
 講師：菅原和博氏(函館市民映画館シネマアイリス代表) 引率：当館学芸員
 行程：当館(「追悼特別展 高倉健」鑑賞)→太刀川邸カフェ(昼食)→臨海研究所→
 チャチャ登り→金森赤レンガ倉庫→七財橋→函館朝市 参加者数：18名(募集制)

【図録】

規格：30.3×21.8cm 256頁

構成：伊藤彰彦「映画俳優 高倉健」／第一章 東映時代初期 1956-1963／山根貞男「高度経済成長と量産体制の時代へ」／川村湊「高倉健と網走の海」／第二章 東映時代中期 1964-1969／山根貞男「東映仁侠映画の流れをぐるりと一巡させて」／富司純子「かけがえない財産」／第三章 東映時代後期 1970-1975／山根貞男「戦後日本映画の変転を体現して」／マーティン・スコセッシ「高倉健から映画を通して受け取ったもの」／ロバート・デ・ニーロ「さまざまな映画について熱く語った思い出」／第四章 独立時代前期 1976-1980／川本三郎「詫びるヒーロー」／劉文兵「中国人にとっての高倉健という存在」／第五章 独立時代中期 1981-1994／川本三郎「心のなかの夜叉」／今川英子「高倉健と北九州」／第六章 独立時代後期 1995-2014／川本三郎「自らに課したテーマ」／脚本／富田章「高倉健のふたつの転機—主演映画の物語の型に関する試論」／フィルモグラフィ



ポスター(B2)(G道立美術館4館共通)



A4チラシ



チケット

編集: 毎日新聞東京本社事業本部 立川明子・宮脇祐介、
東京ステーションギャラリー 富田章・清水広子、アヴァンティ・プラス
特別協力: 高倉プロモーション 校正: DarkDesign Institute・竹田賢一
デザイン: 美術出版デザインセンター 森重智子
制作: 美術出版デザインセンター 石塚肇 印刷: 岡村印刷工業 発行: 毎日新聞社



展示風景

上映作品・展示資料目録

上映作品一覧

西暦・上映時間	映画題名	公開年	クレジット
●東映時代初期(1956～1963年)			
1956(1)	1分10秒		
	電光空手打ち	1956(昭和31)	◎東映
	チョップ先生	1956(昭和31)	◎東映
	にっぽんGメン 特別武装班出動	1956(昭和31)	◎東映
1956(2)	1分59秒		
	大学の石松 ぐれん隊征伐	1956(昭和31)	◎東映
	大学の石松 太陽族に挑戦す	1956(昭和31)	◎東映
	夕日と拳銃 日本篇/大陸篇	1956(昭和31)	◎東映
	母孔雀	1956(昭和31)	◎東映
	恐怖の空中殺人	1956(昭和31)	◎東映
1956(3)	1分39秒		
	流星空手打ち	1956(昭和31)	◎東映
	大学の石松	1956(昭和31)	◎東映
	拳銃を捨てろ	1956(昭和31)	◎東映
1957	3分32秒		
	無敵社員	1957(昭和32)	◎東映
	第十三号棧橋	1957(昭和32)	◎東映
	大学の石松 女群突破	1957(昭和32)	◎東映
	多情佛心	1957(昭和32)	◎東映
	霧の街	1957(昭和32)	◎東映
	鯨と斗う男	1957(昭和32)	◎東映
	血まみれの決闘	1957(昭和32)	◎東映
	ジェット機出動 第101航空基地	1957(昭和32)	◎東映
1958	3分41秒		
	娘十八 御意見無用	1958(昭和33)	◎東映
	多羅尾伴内 十三の魔王	1958(昭和33)	◎東映
	台風息子 修学旅行の巻	1958(昭和33)	◎東映
	台風息子 最高殊勲の巻	1958(昭和33)	◎東映
	恋愛自由型	1958(昭和33)	◎東映
	季節風の彼方に	1958(昭和33)	◎東映
	奴の拳銃は地獄だぜ	1958(昭和33)	◎東映
	ひばりの花形探偵合戦	1958(昭和33)	◎東映
	空中サーカス 嵐を呼ぶ猛獣	1958(昭和33)	◎東映
	希望の乙女	1958(昭和33)	◎東映
	娘の中の娘	1958(昭和33)	◎東映
1957~1958	3分7秒		
	喧嘩社員	1957(昭和32)	◎東映
	青い海原	1957(昭和32)	◎東映
	非常線	1958(昭和33)	◎東映
	森と湖のまつり	1958(昭和33)	◎東映
1959	3分33秒		
	旋風家族	1959(昭和34)	◎東映
	無法街の野郎ども	1959(昭和34)	◎東映
	黒い指の男	1959(昭和34)	◎東映
	獣の通る道	1959(昭和34)	◎東映
	漂流死体	1959(昭和34)	◎東映
	地獄の底までつき合うぜ	1959(昭和34)	◎東映
	疑惑の夜	1959(昭和34)	◎東映
	高度7000米 恐怖の四時間	1959(昭和34)	◎東映
	空港の魔女	1959(昭和34)	◎東映

西暦・上映時間	タイトル	公開年	クレジット
1960	3分24秒		
	続べらんめえ藝者	1960(昭和35)	◎東映
	大いなる旅路	1960(昭和35)	◎東映
	ずべ公天使	1960(昭和35)	◎東映
	大空の無法者	1960(昭和35)	◎東映
	天下の怪男児 突進太郎	1960(昭和35)	◎東映
	続々べらんめえ藝者	1960(昭和35)	◎東映
	砂漠を渡る太陽	1960(昭和35)	◎東映
	殴りこみ艦隊	1960(昭和35)	◎東映
	男ならやってみろ	1960(昭和35)	◎東映
1961	2分49秒		
	べらんめえ藝者罷り通る	1961(昭和36)	◎東映
	俺が地獄の手品師だ	1961(昭和36)	◎東映
	天下の怪男児 旋風太郎	1961(昭和36)	◎東映
	男の血潮がこだまする	1961(昭和36)	◎東映
	魚河岸の女石松	1961(昭和36)	◎東映
	ひばり民謡の旅シリーズ べらんめえ藝者佐渡へ行く	1961(昭和36)	◎東映
	万年太郎と姐御社員	1961(昭和36)	◎東映
	ひばり民謡の旅シリーズ べらんめえ中乗りさん	1961(昭和36)	◎東映
1959-1962	4分41秒		
	静かなる兇弾	1959(昭和34)	◎東映
	天下の怪男児 万年太郎	1960(昭和35)	◎東映
	二発目は地獄行きだぜ	1960(昭和35)	◎東映
	花と嵐とギャング	1961(昭和36)	◎東映
	悪魔の手毬唄	1961(昭和36)	◎東映
	二・二六事件 脱出	1962(昭和37)	◎東映
	恋と太陽とギャング	1962(昭和37)	◎東映
	東京丸の内	1962(昭和37)	◎東映
1962	3分3秒		
	南太平洋波高し	1962(昭和37)	◎東映
	べらんめえ芸者と大阪娘	1962(昭和37)	◎東映
	千姫と秀頼	1962(昭和37)	◎東映
	黄門社長漫遊記	1962(昭和37)	◎東映
	民謡の旅シリーズ 桜島 おてもやん	1962(昭和37)	◎東映
	三百六十五夜	1962(昭和37)	◎東映
	暗黒街最後の日	1962(昭和37)	◎東映
	東京アンタッチャブル	1962(昭和37)	◎東映
	遊民街の銃弾	1962(昭和37)	◎東映
	裏切り者は地獄だぜ	1962(昭和37)	◎東映
1963	3分42秒		
	暗黒街の顔役 十一人のギャング	1963(昭和38)	◎東映
	第八空挺部隊 壮烈鬼隊長	1963(昭和38)	◎東映
	東京アンタッチャブル 脱走	1963(昭和38)	◎東映
	最後の顔役	1963(昭和38)	◎東映
	親分(ルビ:ボス)を倒せ	1963(昭和38)	◎東映
	暗黒街最大の決斗	1963(昭和38)	◎東映
	宮本武蔵 二刀流開眼	1963(昭和38)	◎東映
	恐喝	1963(昭和38)	◎東映
	ギャング忠臣蔵	1963(昭和38)	◎東映
●東映時代中期(1964～1969年)			
1964	3分12秒		
	東京ギャング対香港ギャング	1964(昭和39)	◎東映
	宮本武蔵 一乗寺の決斗	1964(昭和39)	◎東映
	ならず者	1964(昭和39)	◎東映
	暗黒街大通り(ルビ:メインストリート)	1964(昭和39)	◎東映
	日本俠客伝	1964(昭和39)	◎東映
	狼と豚と人間	1964(昭和39)	◎東映
	いれずみ突撃隊	1964(昭和39)	◎東映

西暦・上映時間	タイトル	公開年	クレジット
1965	3分46秒		
	顔役	1965(昭和40)	©東映
	飢餓海峡	1965(昭和40)	©東映
	続網走番外地	1965(昭和40)	©東映
	日本侠客伝 関東篇	1965(昭和40)	©東映
	宮本武蔵 巖流島の決斗	1965(昭和40)	©東映
	昭和残侠伝	1965(昭和40)	©東映
	網走番外地 望郷篇	1965(昭和40)	©東映
	網走番外地 北海篇	1965(昭和40)	©東映
1966	3分46秒		
	日本侠客伝 血斗神田祭り	1966(昭和41)	©東映
	網走番外地 荒野の対決	1966(昭和41)	©東映
	カミカゼ野郎 真昼の決斗	1966(昭和41)	©東映
	男の勝負	1966(昭和41)	©東映
	昭和残侠伝 一匹狼	1966(昭和41)	©東映
	網走番外地 南国の対決	1966(昭和41)	©東映
	地獄の掟に明日はない	1966(昭和41)	©東映
	網走番外地 大雪原の対決	1966(昭和41)	©東映
1967	3分59秒		
	日本侠客伝 白刃の盃	1967(昭和42)	©東映
	網走番外地 決斗零下30度	1967(昭和42)	©東映
	あゝ同期の桜	1967(昭和42)	©東映
	昭和残侠伝 血染の唐獅子	1967(昭和42)	©東映
	網走番外地 悪への挑戦	1967(昭和42)	©東映
	日本侠客伝 斬り込み	1967(昭和42)	©東映
	侠客の掟	1967(昭和42)	©東映
	網走番外地 吹雪の斗争	1967(昭和42)	©東映
1963-1965	6分12秒		
	暴力街	1963(昭和38)	©東映
	人生劇場 飛車角	1963(昭和38)	©東映
	鬼検事	1963(昭和38)	©東映
	ジャコ萬と鉄	1964(昭和39)	©東映
	日本侠客伝 浪花篇	1965(昭和40)	©東映
	網走番外地	1965(昭和40)	©東映
1966-1970	5分14秒		
	昭和残侠伝 唐獅子牡丹	1966(昭和41)	©東映
	日本侠客伝 雷門の決斗	1966(昭和41)	©東映
	俠骨一代	1967(昭和42)	©東映
	緋牡丹博徒	1968(昭和43)	©東映
	日本侠客伝 花と龍	1969(昭和44)	©東映
	燃える戦場 Too Late The Hero	1970(昭和45)	©Associates &Aldrich Company / Palomar Pictures / ABC Pictures
1968	4分17秒		
	日本侠客伝 絶縁状	1968(昭和43)	©東映
	獄中の顔役	1968(昭和43)	©東映
	荒野の渡世人	1968(昭和43)	©東映
	俠客列伝	1968(昭和43)	©東映
	ごろつき	1968(昭和43)	©東映
	人生劇場 飛車角と吉良常	1968(昭和43)	©東映
	祇園祭	1968(昭和43)	©日本映画復興協会
	博徒列伝	1968(昭和43)	©東映
	新網走番外地	1968(昭和43)	©東映

1969	4分33秒		
	緋牡丹博徒 花札勝負	1969(昭和44)	©東映
	昭和残俠伝 唐獅子仁義	1969(昭和44)	©東映
	緋牡丹博徒 二代目襲名	1969(昭和44)	©東映
	戦後最大の賭場	1969(昭和44)	©東映
	懲役三兄弟	1969(昭和44)	©東映
	日本女俠伝 俠客芸者	1969(昭和44)	©東映
	新網走番外地 流人岬の血斗	1969(昭和44)	©東映
	日本暗殺秘録	1969(昭和44)	©東映
	昭和残俠伝 人斬り唐獅子	1969(昭和44)	©東映
	渡世人列伝	1969(昭和44)	©東映
	新網走番外地 さいはての流れ者	1969(昭和44)	©東映

●東映時代時代後期(1970～1975年)

1970	4分19秒		
	日本女俠伝 真赤な度胸花	1970(昭和45)	©東映
	博徒一家	1970(昭和45)	©東映
	捨て身のならず者	1970(昭和45)	©東映
	日本ダービー 勝負	1970(昭和45)	©東映
	遊俠列伝	1970(昭和45)	©東映
	新網走番外地 大森林の決斗	1970(昭和45)	©東映
	昭和残俠伝 死んで貰います	1970(昭和45)	©東映
	最後の特攻隊	1970(昭和45)	©東映
	日本俠客伝 昇り龍	1970(昭和45)	©東映
	新網走番外地 吹雪のはぐれ狼	1970(昭和45)	©東映

1971	3分52秒		
	日本やくざ伝 総長への道	1971(昭和46)	©東映
	日本女俠伝 血斗乱れ花	1971(昭和46)	©東映
	日本俠客伝 刃(ルビ:ドス)	1971(昭和46)	©東映
	ごろつき無宿	1971(昭和46)	©東映
	新網走番外地 嵐呼ぶ知床岬	1971(昭和46)	©東映
	昭和残俠伝 吼えろ唐獅子	1971(昭和46)	©東映
	任俠列伝 男	1971(昭和46)	©東映
	新網走番外地 吹雪の大脱走	1971(昭和46)	©東映

1972	2分22秒		
	純子引退記念映画 関東緋桜一家	1972(昭和47)	©東映
	望郷子守唄	1972(昭和47)	©東映
	博奕打ち外伝	1972(昭和47)	©東映
	新網走番外地 嵐呼ぶダンプ仁義	1972(昭和47)	©東映
	昭和残俠伝 破れ傘	1972(昭和47)	©東映

1973-1975	5分50秒		
	山口組三代目	1973(昭和48)	©東映
	現代任俠史	1973(昭和48)	©東映
	ゴルゴ13	1973(昭和48)	©東映
	三代目襲名	1974(昭和49)	©東映
	無宿(やどなし)	1974(昭和49)	©1974 東宝
	ザ・ヤクザ The Yakuza	1974(昭和49)	©1975 /Renewed©2003 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved
	日本任俠道 激突篇	1975(昭和50)	©東映
	大脱獄	1975(昭和50)	©東映
	神戸国際ギャング	1975(昭和50)	©東映

●独立時代前期(1976～1980年)

1975-1978	6分37秒		
	新幹線大爆破	1975(昭和50)	©東映
	八甲田山	1977(昭和52)	©橋本プロ/東宝/シナノ企画
	幸福の黄色いハンカチ	1977(昭和52)	©松竹
	野性の証明	1978(昭和53)	©KADOKAWA 1978

1976-1980	4分11秒		
	君よ憤怒の河を渉れ	1976(昭和51)	©KADOKAWA 1976
	冬の華	1978(昭和53)	©東映
	動乱 第1部 海峡を渡る愛/第2部 雪降り止まず	1980(昭和55)	©東映・シナノ企画
	遙かなる山の呼び声	1980(昭和55)	©松竹

●独立時代中期(1981～1994年)

1982-1985	4分13秒		
	刑事物語	1982(昭和57)	©1982 SANRIO CO., LTD. TOKYO, JAPAN
	海峽	1982(昭和57)	©1982 東宝
	南極物語	1983(昭和58)	©フジテレビ/学研/蔵原プロ
	居酒屋兆治	1983(昭和58)	©1983 東宝
	夜叉	1985(昭和60)	©1985 東宝

●独立時代後期(1995～2014年)

1988-2001	2分11秒		
	海へ—See you—	1988(昭和63)	©1988 東宝
	あ・うん	1989(平成元)	©1989 東宝
	ミスター・ベースボール Mr. Baseball	1993(平成5)	©UNIVERSAL CITY STUDIOS. INC.
	四十七人の刺客	1994(平成6)	©東宝/日本テレビ放送網/電通アドギア
	ホテル	2001(平成13)	©2001「ホテル」製作委員会
1981-2012	7分56秒		
	駅 STATION	1981(昭和56)	©1981 東宝
	ブラック・レイン BLACK RAIN	1989(平成元)	©1989 BY Paramount Pictures Corporaion. All Rights Reserved.
	鉄道員(ぼっぼや)	1999(平成11)	©1999「鉄道員(ぼっぼや)」製作委員会
	単騎、千里を走る。	2006(平成18)	©2005 Elite Group (2004) Enterprises Inc.
	あなたへ	2012(平成24)	©2012「あなたへ」製作委員会

ケース内展示資料リスト

ケースNo	映画題名または資料名	種別	数量
1	東映の身分証明書	書類	1
2	電光空手打ち	脚本	1
	流星空手打ち	脚本	1
		梗概	1
	大学の石松	脚本	1
		脚本(準備用)	1
	夕日と拳銃	脚本	1
	恐怖の空中殺人	脚本	1
3	無敵社員・喧嘩社員	脚本	1
		香盤	1
	空中サーカス	脚本(『サーカス物語』)	1
	季節風の彼方に	スチール	1
	霧の街	脚本	1
	非常線	脚本	1
		梗概	1
	鯨と斗う男	脚本(『龍巻』)	1
青い海原	梗概	1	
4	二発目は地獄行きだぜ	カラースチール	2
	天下の快男児 万年太郎	カラースチール	1
	続べらんめえ藝者	カラースチール	1
5	天下の快男児 突進太郎	スチール	4
	殴り込み艦隊	スチール(1枚は台紙貼付)	3
	無法街の野郎ども	スチール	1
	旋風家族	スチール	1
	空港の魔女	スチール	1
	大空の無法者	スチール	1
	遊民街の銃弾	スチール	7
6	日本侠客伝	脚本(準備用)	1
	飢餓海峽	パンフレット	1
	網走番外地 望郷篇	スチール	2
	昭和残侠伝	スチール	2
	昭和残侠伝 唐獅子牡丹	アルバム	1
		スチール	1
	網走番外地	スチール	4
横尾忠則編『憂魂、高倉健』	書籍	1	
7	日本侠客伝 花と龍	スチール	3
	俠骨一代	スチール	5
	暴力街	スチール	6
	人生劇場 飛車角	スチール	4

ケースNo	映画題名または資料名	種別	数量
8	荒野の渡世人	スチール	1
	ゴルゴ13	脚本	1
		映画で使用したのと同型のサングラス	1
	無宿	脚本	1
		フライヤー	1
	ザ・ヤクザ	脚本	1
	任侠列伝 男	脚本	1
		梗概	1
		スタジオ・メール	1
		大判モノクロフライヤー	1
		スチール	2
	望郷子守唄	脚本	1
		スタジオ・メール	1
		大判モノクロフライヤー	1
スチール		3	
関東緋桜一家		脚本	1
		スタジオ・メール	1
		大判モノクロフライヤー	1
		スチール	3
9	新幹線大爆破	脚本	1
		スチール	2
	君よ憤怒の河を渉れ	脚本	1
		スチール	1
	冬の華	脚本	1
		脚本(『HIDEJI』)	1
		スチール	1
	幸福の黄色いハンカチ	脚本	1
		脚本(準備稿)	1
		スチール	1
	八甲田山	脚本	1
		パンフレット	1
		パンフレット	1
		プレスブック	1
10	あ・うん	脚本	1
	南極物語	脚本	1
		企画書「タロとジロは生きていた」	1
	ホテル	脚本	1
		スチール	1
	単騎、千里を走る。	脚本	1
		スチール	1
		映画で使用した笛	1
11	あなたへ	脚本	1
		脚本(決定稿)	1
		脚本(撮影稿)	1
	鉄道員	脚本	1
		パンフレット	1
		厚紙折り畳みチラシ	1
駅 STATION	脚本	1	
12	風に吹かれて	脚本	1
	海へ - See you -	ロケで使用したトランク	1

壁面展示資料リスト

時代区分	映画題名	種別
------	------	----

●東映時代初期(1956～1963年)

東映入社の際	スチール
東映入社の際	スチール
電光空手打ち	ポスター(複製)
電光空手打ち	スチール
大学の石松	ポスター(複製)
大学の石松 太陽族に挑戦す	ポスター(複製)
母孔雀	スチール
にっぽんGメン 特別武装班出動	スチール
拳銃を捨てろ	スチール
恐怖の空中殺人	スチール
青い海原	ポスター(複製)
非常線	ポスター(複製)
血まみれの決闘	スチール

時代区分映画題名	種別
青い海原	スチール
第十三号棧橋	スチール
森と湖のまつり	ポスター(複製)
フィルムの経年劣化とその修復・保存	(パネル展示)
黒い指の男	スチール
高度7000米 恐怖の四時間	スチール
獣の通る道	ポスター(複製)
旋風家族	スチール
続べらんめえ藝者	スチール
大いなる旅路	スチール
男ならやってみろ	スチール
天下の快男児 旋風太郎	スチール
べらんめえ藝者罷り通る	スチール
静かなる兇弾	ポスター
静かなる兇弾	スチール
二発目は地獄行きだぜ	スチール
花と嵐とギャング	ポスター
恋と太陽とギャング	ポスター
恋と太陽とギャング	スチール
東京丸の内	スチール
遊民街の銃弾	スチール
暗黒街最後の日	スチール
暗黒街最大の決斗	スチール
ギャング忠臣蔵	スチール
●東映時代中期(1964～1969年)	
ならず者	ポスター
いれずみ突撃隊	ポスター
日本俠客伝	スチール
網走番外地 望郷篇	ポスター
日本俠客伝 血斗神田祭り	スチール
カミカゼ野郎 真昼の決斗	ポスター
昭和残俠伝 唐獅子牡丹	スチール
緋牡丹博徒	スチール
昭和残俠伝 人斬り唐獅子	スチール
昭和残俠伝 血染の唐獅子	スチール
横尾忠則 新網走番外地	ポスター
横尾忠則 KENTAKAKURA	ポスター
昭和残俠伝	スチール
網走番外地 南国の対決	スチール
網走番外地 望郷篇	スチール
網走番外地 吹雪の斗争	スチール
俠客列伝	ポスター
緋牡丹博徒 花札勝負	ポスター
戦後最大の賭場	ポスター
●東映時代後期(1970～1975年)	
新網走番外地 大森林の決斗	ポスター
燃える戦場 Too Late The Hero	ポスター
遊俠列伝	ポスター
捨て身のならず者	ポスター
日本女俠伝 血斗乱れ花	ポスター
ごろつき無宿	ポスター
昭和残俠伝 吼えろ唐獅子	スチール
博奕打ち外伝	スチール
新網走番外地 嵐呼ぶダンブ仁義	ポスター
ゴルゴ13	スチール
無宿(やどなし)	ポスター
神戸国際ギャング	ポスター
無宿(やどなし)	スチール
現代仁俠史	ポスター

時代区分	映画題名	種別
------	------	----

●独立時代前期(1976～1980年)

君よ憤怒の河を渉れ	ポスター
遙かなる山の呼び声	スチール
新幹線大爆破	スチール
幸福の黄色いハンカチ	ポスター
野性の証明	スチール

●独立時代後期(1995～2014年)

あ・うん	スチール
あ・うん	ポスター
ブラック・レイン BLACK RAIN	ポスター
ブラック・レイン BLACK RAIN	スチール
駅 SATION	スチール
鉄道員(ぽっぽや)	ポスター
あなたへ	スチール

北海道150年事業

アートギャラリー北海道 北のさきがけ 道南四都物語 港町江差・城下町松前・開港地函館・開拓地伊達

会期：2018年4月28日(土)～6月13日(水) 40日間
 主催：北海道立函館美術館、「アートギャラリー北海道 in 道南」
 実行委員会
 共催：北海道新聞函館支社
 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、
 函館山ロープウェイ(株)FMいるか
 協力：北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社、
 北海道中央バスグループ(株)シービーツアーズ
 観覧者数：3,898名
 観覧料：一般920(720)円、高大生610(410)円、小中生300(200)円

2018年、北海道は命名から150年という節目の年を迎えた。これを契機に、北前船
 交易で栄えた港町・江差、最北の城下町・松前、幕末の開港地・函館、明治の開拓
 地・伊達の四都市と連携し、自治体ならびに地域の民間、個人が所蔵するすぐれた
 文化財を紹介した。

江戸時代以来の歴史と伝統を誇る江差町の姥神大神宮渡御祭で、町内を練り歩
 く《江差町姥神大神宮祭礼山車松寶丸》(北海道指定有形民俗文化財)。《洛中洛
 外図屏風互理伊達本》(伊達市教育委員会蔵)、小玉貞良《松前屏風》(松前町教育
 委員会蔵/北海道指定有形文化財)、《江差屏風》(旧相馬邸蔵)の3点の近世の名
 作屏風。蠣崎波響作品11点に大西椿年《蠣崎波響肖像》(松前町教育委員会蔵)を
 加えた蠣崎波響特集。幕末の開港から明治初期にかけての函館の様子を伝える書
 籍や写真。これら各地から集結した文化財を通じ、道南の歴史文化を堪能できる見
 どころの多い展覧会になった。



ポスター(B2)/チラシ(A4)共通デザイン



チケット

【関連事業】

ギャラリー・ツアー

日時：4月29日(日)14:00～14:30 聴講者数：17名
 5月6日(日)14:00～14:30 聴講者数：13名
 5月13日(日)14:00～14:30 聴講者数：25名
 講師：当館学芸員 会場：特別展示室(要観覧券)

ファミリー・ツアー

日時：5月3日(木・祝) 11:00～11:30 聴講者数：8名
 5月4日(金・祝) 11:00～11:30 聴講者数：14名
 5月5日(土・祝) 11:00～11:30 聴講者数：22名
 講師：当館学芸員 会場：特別展示室(要観覧券)

松寶丸ギャラリー・トークと祭囃子・切声

日時：4月28日(土) 11:00～11:30 聴講者数：135名
 出演：松寶丸保存会 会場：当館特別展示室(要観覧券)

松前神楽

日時：5月19日(土) 11:00～11:40 聴講者数：70名
 出演：松前神楽連合保存会 会場：当館特別展示室(要観覧券)

江差追分コンサート

日時：5月27日(日) 11:00～11:30 聴講者数：50名
 出演：江差追分会 会場：当館特別展示室(要観覧券)

イベント「波響ぐるっと4館ツアー」

日時：4月7日(土) 9:15～16:00 参加者数：21名(募集制)
 4月8日(日) 9:15～16:00 参加者数：21名(募集制)
 4月7日(土) 9:15～16:00 参加者数：23名(募集制)
 行程：函館美術館→市立函館博物館→旧相馬邸(昼食含む)→高龍寺 引率：館学芸員

道南四都バスツアー（札幌発着・2泊3日）

日時: 5月11日(金)～13日(日) ※最小催行人数に満たず中止
6月8日(金)～10日(日) 参加者数: 12名

行程: 1日目＝札幌発着→伊達市内観光→函館市内宿泊
2日目＝当館観覧→松前町内観光→江差町内宿泊
3日目＝江差町内観光→札幌着

企画: 北海道中央バス(株)シービーツアーズ

マジカル・ワークショップ「友禅染に挑戦！」

日時: 5月26日(土) 13:00～15:30 参加者数: 12名(募集制)
講師: 景澤富佐子氏(友禅染作家) 会場: 当館講堂、展示室

カフェ&トーク 幕末珈琲を味わう

日時: 6月3日(日) 10:30～12:00/14:00～15:30 参加者数: 21名
講師: 坂口隆年氏(美鈴商事株式会社)、当館学芸員
会場: 当館特別展示室、箱館奉行所



展示風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵先	備考	期間
江差								
1		姥神大神宮渡御祭山車ミニチュア		木ほか		江差町		13点一組
2		姥神大神宮渡御祭はんでん		布		江差町		13点一組
3		姥神大神宮渡御祭	2013(平成25)	DVD(8分)		江差町		
4	太秦屋徳八郎(棟梁)	江差町姥神大神宮祭礼山車松竇丸	1845(弘化2)	樟ほか	700.0×220.0	松竇丸保存会		北海道指定有形民族文化財
伊達								
5	公立はこだて未来大学	相馬野馬追図屏風高精細画像スライドショー		プロジェクター上映		公立はこだて未来大学		
6	公立はこだて未来大学	洛中洛外図屏風亙理伊達本高精細画像スライドショー		プロジェクター上映		公立はこだて未来大学		
7		洛中洛外図屏風亙理伊達本	17~18世紀(江戸時代中期)	紙本彩色・屏風(六曲一隻)	108.0×259.0	伊達市教育委員会		前
8	高橋勝蔵	桑港海岸	1892(明治25)	水彩・紙	34.1×54.3	伊達市教育委員会		前
9		染分霰紋様繪子地松藤鯉模様小袖	江戸時代後期	絹	丈170.0 幅124.0	伊達市教育委員会		後
松前								
10	小玉貞良	江差屏風	1751-1764(宝暦年間)	紙本彩色・屏風(六曲一隻)	182.0×382.0	旧相馬邸		前
11	小玉貞良	松前屏風	1751-1764(宝暦年間)	紙本彩色・屏風(六曲一隻)	157.0×365.0	松前町教育委員会		北海道指定有形文化財
12	不詳(原作者、模写絵師とも)	江差檜山屏風(模写)	戦前(模写)	紙本彩色・屏風(六曲一隻)	111.8×352.4(乾)、112.2×351.6(坤)	函館市中央図書館		後
13	蠣崎波響	十二支図屏風	1824(文政7)	紙本彩色・屏風(六曲一隻)	(各)135.0×321.0	松前町教育委員会		半双ずつ半期
14	公立はこだて未来大学	松前屏風・江差屏風高精細画像スライドショー		4Kモニター上映		公立はこだて未来大学		
15	内田九一	松前崇廣像(複写)	1868-77(明治初期)	鶏卵紙	9.0×5.6	松前町教育委員会		前
16	撮影者不詳	陣羽織姿の松前崇廣	1866(慶応2)以前	アンプロタイプ	12.3×10.0	松前町教育委員会		後
17	撮影者不詳	笑う武士	1866(慶応2)以前	アンプロタイプ	7.0×5.9	松前町教育委員会		前
18	撮影者不詳	山下雄城	1866(慶応2)以前	アンプロタイプ	9.7×7.1	松前町教育委員会		後
19	大西椿年	蠣崎波響肖像		絹本彩色・軸	140.0×39.0	蠣崎よね子氏蔵(松前町教育委員会寄託)		前
20	蠣崎波響	瑞鶴祥雛(愛子鶴図)	1826(文政9)	紙本彩色・軸	98.0×34.0	北海道立函館美術館		前
21	蠣崎波響	柴垣群雀図	1796(寛政8)	絹本彩色・軸	87.7×43.0	松前町教育委員会		前
22	蠣崎波響	桜花図(岡本花亭詩書)	詩は1833(天保4)	紙本淡彩・墨書・軸	画:58.6×53.3 詩:43.0×53.3	北海道立函館美術館		前
23	蠣崎波響	唐美人図	1804(文化元)	紙本淡彩・軸	125.5×57.7	北海道立函館美術館		前
24	蠣崎波響	名鷹図	1815(文化12)	絹本彩色・軸	100.4×43.8	北海道立函館美術館		前
25	蠣崎波響	鳩に豆花図		絹本彩色・軸	102.9×34.6	松前町教育委員会		後
26	蠣崎波響	春野遊雉図		絹本彩色・軸	43.7×61.5	松前町教育委員会		後
27	蠣崎波響	楊貴妃図		絹本彩色・軸	96.5×36.0	北海道立函館美術館		後
28	蠣崎波響	夢始美人図		絹本彩色・軸	90.3×34.2	市立函館博物館		後
29	蠣崎波響	虜美人図		絹本彩色・軸	102.0×41.3	松前町教育委員会		後
30	蠣崎波響	富岳芭蕉図		絹本彩色・軸	44.3×75.6	松前町教育委員会		後
函館								
31	小島又次郎	亜墨利加一条写	1854(嘉永7)	紙本彩色・帖	24.0×18.0	函館市中央図書館		頁替え
32	平尾魯僊	洋夷茗話附図 乾・坤	1856(安政3)	紙本彩色・書籍	26.0×17.0	函館市中央図書館		頁替え
33	横山松三郎カ	横山松三郎(複写)	1868-77(明治初期)	アンプロタイプ	10.8×7.8	函館市中央図書館		前
34	横山松三郎	菊	不詳	油彩、絹	45.5×30.4	北海道立函館美術館		
35	横山松三郎	渡邊孝平之像	明治時代	写真油絵	28.3×22.1	渡邊謙一氏蔵(市立函館博物館寄託)		
36	エリファレット・ブラウンJr	松前勘解由と従者像(複写)	1854(嘉永7)		15.0×10.4	函館市中央図書館		後
37	エリファレット・ブラウンJr	石塚官蔵と従者像(複写)	1854(嘉永7)		9.8×7.8	函館市中央図書館		後
38		函館焼 染付松文花瓶		陶磁	16.0×9.2 16.0×9.7	市立函館博物館		2点一組
39		函館焼 染付蝦夷人唐子文様碗	1859(安政6)	陶磁	9.2×9.7	市立函館博物館		
40		函館焼 染付箱館真景碗	1860	陶磁	8.0×8.7	市立函館博物館		
41		函館焼 染付函館八景茶入れ山背泊	1860	陶磁	11.8×9.5	市立函館博物館		
42		函館焼 脚付杯		陶磁	9.0×7.3	市立函館博物館		
43	小杉直道	麦叢録附図		紙本彩色・折帖	27.3×38.3	函館市中央図書館		頁替え

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵先	備考	期間
44	岩橋教章	箱館戦争図絵	1869(明治2)	紙本彩色・折帖	28.5×19.3	函館市中央図書館		頁替え
45	撮影者不詳	旧幕府脱走軍兵士	1869(明治2)頃	鶏卵紙	5.6×9.3	函館市中央図書館		前
46	田本研造カ	徳川幕府脱走兵之士	1869(明治2)頃	鶏卵紙	13.3×16.2	函館市中央図書館		前
47	撮影者不詳	幕府軍艦回天の残骸(複写)	1869(明治2)	ゼラチン・シルバー・プリント	9.4×13.4	函館市中央図書館		前
48	撮影者不詳	箱館市中取締 裁判局頭取 土方歳三	1869(明治2)	ゼラチン・シルバー・プリント(後年のプリント)	8.7×5.5	函館市中央図書館		後
49	撮影者不詳	総裁 榎本釜次郎(武揚) 海軍副総裁	1869(明治2)頃	ゼラチン・シルバー・プリント(後年のプリント)	8.8×5.6	函館市中央図書館		後
50	撮影者不詳	榎本対馬守(榎本享三)	1869(明治2)頃	鶏卵紙	9.1×5.5	函館市中央図書館		後
51	永島孟斎	函館大戦争之図			大判三枚続	市立函館博物館		前
52	月岡芳年	函館港官兵脱兵血戦之図			大判三枚続	市立函館博物館		前
53	右田年英	画卷国史函館五稜郭奮戦之図			大判三枚続	市立函館博物館		後
54	花の原房勝	戊辰五月東軍之諸將於五稜郭酒宴之図			大判三枚続	市立函館博物館		後
55	撮影者不詳	函館市街	1868-82 (明治初期)	鶏卵紙	21.0×24.2 20.0×27.0 21.2×26.6	函館市中央図書館	3枚一組	前
56	撮影者不詳	函館市街	1868-82 (明治初期)	鶏卵紙	6.2×9.3 6.1×9.3 6.1×9.2 6.0×9.5 6.1×9.5	函館市中央図書館	5枚一組	後

新収蔵作品コーナー

1	大川壽美子	源氏物語 濤標 抄/薄雲 抄	2016(平成28)	墨、紙・屏風(二曲一双)		北海道立函館美術館		
2	桜田角二郎	白百合など	1932(昭和7)	油彩・キャンバス		北海道立函館美術館		

炸裂するシュルレアリスムの世界 奇才・ダリ版画展

会期：2018年7月14日(土)～8月26日(日) 39日間
 主催：北海道立函館美術館、北海道新聞社、奇才・ダリ版画展実行委員会
 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、函館山ロープウェイ(株)
 FMいるか、スペイン大使館 Embajada de España
 協力：北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社
 企画協力：谷口事務所
 観覧者数：14,694名
 観覧料：一般1,100(900)円、高大生600(400)円、中学生300(200)円、
 小学生以下無料
 巡回：北海道立旭川美術館、大分市美術館

20世紀を代表するスペインの画家、サルバドール・ダリ(1904-1989)は、油彩、版画のほか、彫刻、舞台美術、デザイン、映画の制作、そして文筆活動とマルチな活動をした。1920年代後半、パリでシュルレアリスム(超現実主義)の芸術家や文筆家たちと交流を深め、やがてダリ自身も、非現実的な夢や幻覚、無意識の世界を写実的な表現で描き出す独自のスタイルを打ち出し、シュルレアリスムの一員として活躍していった。後半生では、版画制作に力を入れ、欧州文学史の名作を多数含む文学作品の挿画も手掛けた。本展では、ダリの円熟期から晩年に制作された版画約200点に彫刻6点を加えて展示。多彩な関連事業と合わせ、シュルレアリスムの旗手が繰り広げる奇想天外な世界を楽しむ機会となった。



ポスター(B2)／チラシ(A4) 共通デザイン

【関連事業】 北海道150年 【アートギャラリー北海道】 みんなのアートプロジェクト

●プレイベント

スタンプラリー「ダリ・テーリング」

期間：6月21日(木)～8月26日(日)
 スタンプ設置場所：①函館市中央図書館 ②箱館奉行所
 ③函館市芸術ホール・北洋資料館 ④五稜郭タワー
 ⑤北海道立函館美術館
 会場：当館ホール 参加(完走)者数：241名

七夕ダリ祭り

○特製短冊の笹飾り

期間：6月21日(木)～7月7日(土) 9:30～16:30
 会場：当館ホール(参加無料)

○七夕祭(歌と菓子振る舞い)

日時：7月7日(土) 9:30～16:30
 会場：当館ホール(参加無料) 参加者数：233名(小学生以下限定)

●会期中のイベント

ギャラリー・コンサート「フラメンコのひととき」

日時：7月14日(土) 11:30～/14:00～(各回約40分)
 出演：永倉真紀、フラメンコ・ロルカ(踊り)、山内裕之(ギター)、千葉みどり(歌)
 会場：当館特別展示室(要観覧券) 聴講者数：168名

合唱コンサート

日時：7月16日(月・祝) 14:00～(約30分)
 出演：女声コーラス・トリル 指揮：大坂吉明 聴講者数：46名
 日時：7月29日(日) 14:00～(約30分)
 出演：函館MB混声合唱団 指揮：畑中一映、山方太郎 聴講者数：40名
 日時：8月4日(土) 14:00～(約30分)
 出演：遺愛女子中学・高等学校音楽部 指揮：白須朋子 聴講者数：73名
 会場：当館特別展示室(要観覧券)



チケット



展示風景

ギャラリー・ツアー

日時: 7月17日(火) 14:00～(約30分) 聴講者数: 42名
8月12日(日) 14:00～(約30分) 聴講者数: 56名
8月19日(日) 14:00～(約30分) 聴講者数: 49名
講師: 当館学芸員
会場: 当館特別展示室(要観覧券)

ファミリー・ツアー

日時: 7月15日(日) 11:00～(約30分) 聴講者数: 36名
講師: 当館学芸員
会場: 当館特別展示室(要観覧券)

怖～いお話のよみきかせ

日時: 8月12日(日) 11:00～11:30 聴講者数: 26名
8月19日(日) 11:00～11:30 聴講者数: 34名
よみきかせ: 函館絵本の会 銀のふね
会場: 当館特別展示室(要観覧券)

ハコビ×高龍寺 怖い絵2館ツアー

日時: 7月21日(土) 13:30～15:15 参加者数: 24名(募集制)
7月22日(日) 13:30～15:15 参加者数: 19名(募集制)
行程: 当館特別展示室→高龍寺 引率: 当館学芸員

スペイン・ワインのタベ

日時: 7月27日(金) 18:00～19:30
講師: 深谷宏治氏(レストラン・バスク・シェフ)、当館学芸員
会場: 当館ホール、特別展示室 聴講者数: 29名(募集制)

ランチ&トーク「ダリ作品とスペイン料理を味わう」

日時: 8月2日(木) 10:00～13:00
講師: 当館学芸員
会場: 当館特別展示室、レストラン・バスク(函館市松陰町1-4)
参加者数: 15名(募集制)

ハコビ・マジカル・ワークショップ

「地平線のあるふしぎな世界を描こう！」

日時: 7月28日(土) 13:30～15:30
講師: 輪島進一氏(画家)、当館学芸員
会場: 当館特別展示室、講堂 参加者数: 27名(募集制)

ワークショップ「ダリと夢の世界へ? リラックス・ヨガ体験」

日時: 8月5日(日) 14:00～16:00
講師: 児玉典子氏(ヨガセラピスト)、当館学芸員
会場: 当館特別展示室、講堂 参加者数: 17名(募集制)

ワークショップ「目カメイクでスペイン美人」

日時: 8月11日(土・祝) 13:30～15:30
講師: 資生堂ジャパン株式会社
会場: 当館特別展示室、講堂 参加者数: 27名(募集制)

夏休みハコビ・アトリエ「マイうちわをつくって夏を乗り切ろう！」

期間: 7月14日(土)～8月19日(日) 各日9:30～16:30
会場: 当館ホール(参加無料) 参加者: 892名

港まつりハコビ縁日「ヨーヨー釣りをしよう！」

期間: 8月1日(土)～5日(日) 各日9:30～16:30
会場: 当館エントランス(参加無料) 参加者数: 478名

美術映画会

日時: 8月18日(土) 14:00～

「世界の名画～華麗なる巨人たち～」(ゴヤ・スペイン激動の時代)(約48分)

会場: 当館講堂(入場無料) 聴講者数: 34名

【図録】

規格: 29.0×22.5cm/140頁

構成: 大森達次「21世紀から見るサルバドール・ダリの版画」/カタログ/
サルバドール・ダリ年譜/出品リスト

編集・発行: 谷口事務所

出品目録

No.	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)
1	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 1:魅惑的な山(旅のはじまり)(第1歌)	1963	木口木版	330×262
2	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 2:ペアトリーチェの励まし (ペアトリーチェを思い浮かべるダンテ)(第2歌)	1963	木口木版	330×262
3	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 3:地獄の河の渡し守カロン(第3歌)	1963	木口木版	330×262
4	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 4:暗い辺獄(リンボ)で(第4歌)	1963	木口木版	330×262
5	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 5:審判者ミノス(第5歌)	1963	木口木版	330×262
6	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 6:地獄の番犬ケルベロス(第6歌)	1963	木口木版	330×262
7	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 7:貧欲の罪と浪費の罪(第7歌)	1963	木口木版	330×262
8	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 8:忿怒の罪(第8歌)	1963	木口木版	330×262
9	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 9:復讐の女神エリニユスたち(第9歌)	1963	木口木版	330×262
10	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 10:ファリナータ(第10歌)	1963	木口木版	330×262
11	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 11:地獄の深淵について語る(第11歌)	1963	木口木版	330×262
12	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 12:ミノウロス(第12歌)	1963	木口木版	330×262
13	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 13:自殺者の森(第13歌)	1963	木口木版	330×262
14	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 14:神を冒瀆する者(邪悪な舌)(第14歌)	1963	木口木版	330×262
15	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 15:男色者たち(第15歌)	1963	木口木版	330×262
16	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 16:フレグトン川瀑布(第16歌)	1963	木口木版	330×262
17	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 17:虚偽瞞着の権化(第17歌)	1963	木口木版	330×262
18	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 18:グレユオンの背に乗って(第18歌)	1963	木口木版	330×262
19	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 19:誘惑者たち(第19歌)	1963	木口木版	330×262
20	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 20:阿諛追従の徒(第20歌)	1963	木口木版	330×262
21	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 21:聖職売買の徒(第21歌)	1963	木口木版	330×262
22	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 22:マント(第22歌)/[メドゥーサ(第9歌)?]	1963	木口木版	330×262
23	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 23:不正行為者(第23歌)	1963	木口木版	330×262
24	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 24:ヴァンニ・フッチの予言(第24歌)	1963	木口木版	330×262
25	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 25:ヴァンニ・フッチの懲罰(第25歌)	1963	木口木版	330×262
26	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 26:ケンタウロスのカクス(第26歌)	1963	木口木版	330×262
27	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 27:黒天使(第27歌)	1963	木口木版	330×262
28	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 28:マホメット(第28歌)	1963	木口木版	330×262
29	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 29:ベルトラン・ド・ボルン(第29歌)	1963	木口木版	330×262
30	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 30:カボッキオにかじりつくジャンニ・スキッキ(第30歌)	1963	木口木版	330×262
31	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 31:アンタイオスの手によって降下するダンテとウェルギリウス(第31歌)	1963	木口木版	330×262
32	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 32:モンタベルティの裏切り者 (ボッカ・デリ・アバーティの髪をつかむダンテ)(第32歌)	1963	木口木版	330×262
33	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 33:ウゴリーノ伯とルッジエーリ大司教(第33歌)/[氷結した涙(第33歌)?]	1963	木口木版	330×262
34	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 地獄篇 34:悪魔大王ルチフェロ(第34歌)	1963	木口木版	330×262
35	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 1:悔悟者たちの城(第1歌)	1963	木口木版	330×262
36	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 2:船の船頭をつとめる天使(魂を乗せた船)(第2歌)	1963	木口木版	330×262
37	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 3:魂の能力(第3歌)	1963	木口木版	330×262
38	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 4:怠け者(第4歌)	1963	木口木版	330×262
39	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 5:ウェルギリウスの叱責(第5歌)/[抱擁するウェルギリウスとソルデッロ(第6歌)?]	1963	木口木版	330×262
40	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 6:暴力的な死に遭遇した怠け者(第6歌)/[ブオンコンテ・ダ・モンテフェルトロをめぐる争い(第5歌)?]	1963	木口木版	330×262
41	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 7:登りの捷(地に線を引くソルデッロ)(第7歌)	1963	木口木版	330×262
42	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 8:王侯たちの谷間の見張りをする二人の天使(第8歌)	1963	木口木版	330×262
43	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 9:恵みの鷺(ダンテの鷺の夢)(第9歌)	1963	木口木版	330×262
44	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 10:受胎告知の聖母(第10歌)/[レア(第27歌)?]	1963	木口木版	330×262
45	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 11:怠慢な人(第11歌)	1963	木口木版	330×262
46	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 12:蜘蛛と化した狂女アラクネ(第12歌)	1963	木口木版	330×262
47	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 13:第二の環道(第13歌)	1963	木口木版	330×262
48	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 14:嫉妬の羨望の罪を浄める人々(第14歌)	1963	木口木版	330×262
49	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 15:慈悲の天使(第15歌)	1963	木口木版	330×262
50	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 16:厚い帷(第16歌)	1963	木口木版	330×262
51	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 17:恍惚とした光景(第17歌)	1963	木口木版	330×262
52	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 18:怠惰の罪(第18歌)	1963	木口木版	330×262
53	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 19:ダンテの夢にあらわれたセイレーン(第19歌)	1963	木口木版	330×262
54	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 20:貪欲の罪(第20歌)	1963	木口木版	330×262
55	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 21:浪費の罪(第21歌)	1963	木口木版	330×262
56	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 22:黄金時代(第22歌)	1963	木口木版	330×262
57	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 23:大食の罪(第23歌)	1963	木口木版	330×262
58	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 24:懲罰の樹(第24歌)	1963	木口木版	330×262
59	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 25:好色の罪(第25歌)	1963	木口木版	330×262
60	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著) 煉獄篇 26:好色多淫の二群(第26歌)	1963	木口木版	330×262

No.	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
61	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)煉獄篇 27:ウェルギリウスの最後の言葉(第27歌)	1963	木口木版	330×262
62	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)煉獄篇 28:神の森(地上楽園)(第28歌)	1963	木口木版	330×262
63	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)煉獄篇 29:ダンテとベアトリーチェ(第29歌)	1963	木口木版	330×262
64	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)煉獄篇 30:懺悔するダンテ(第30歌)	1963	木口木版	330×262
65	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)煉獄篇 31:掟の樹の方へ(第31歌)	1963	木口木版	330×262
66	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)煉獄篇 32:ダンテの覚醒(第32歌)	1963	木口木版	330×262
67	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)煉獄篇 33:浄められたダンテ(第33歌)	1963	木口木版	330×262
68	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 1:ダンテ(第1歌)	1963	木口木版	330×262
69	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 2:第一天の天使(第2歌)	1963	木口木版	330×262
70	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 3:ピッコルダ・ドナーティ(第3歌)/[ユスティニアヌス(第6歌)?]	1963	木口木版	330×262
71	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 4:ダンテの疑問を解消するベアトリーチェ(第4歌)	1963	木口木版	330×262
72	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 5:木星天で(第5歌)	1963	木口木版	330×262
73	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 6:教会と帝国(第6歌)	1963	木口木版	330×262
74	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 7:疑念を抱いたダンテ(第7歌) / [目が眩んでしまったダンテ(第25歌)?]	1963	木口木版	330×262
75	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 8:ヴィーナス(金星天)への上昇(第8歌) / [光の中のピカルダ(第3歌)?]	1963	木口木版	330×262
76	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 9:司教となった吟遊詩人(第9歌)/[愚かな説教師(第29歌)?]	1963	木口木版	330×262
77	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 10:造詣の深い魂の群れの歌声(第10歌)	1963	木口木版	330×262
78	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 11:魂の二つの輪(第11歌)/[至高天の光の大河(第30歌)?]	1963	木口木版	330×262
79	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 12:原初の完全な創造(第12歌)	1963	木口木版	330×262
80	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 13:火星天の十字架(第13歌)	1963	木口木版	330×262
81	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 14:粉塵のような無数の魂(第14歌)	1963	木口木版	330×262
82	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 15:高祖父カッチャグイダの出現(第15歌)	1963	木口木版	330×262
83	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 16:カッチャグイダの年代記(第16歌) / [天の白い薔薇(第31歌)?]	1963	木口木版	330×262
84	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 17:神の中にダンテの追放を見るカッチャグイダ(第17歌) / [鷲の姿を形づくる魂(第18歌)?]	1963	木口木版	330×262
85	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 18:詩人を慰めるベアトリーチェ(第18歌)	1963	木口木版	330×262
86	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 19 木星天で(第19歌)/[憤る聖ペテロ(第27歌)?]	1963	木口木版	330×262
87	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 20:至福の魂の星座(第20歌)/[恒星からの眺め(第22歌)?]	1963	木口木版	330×262
88	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 21:天の梯子(第21歌)	1963	木口木版	330×262
89	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 22:神の計りがたさ(第22歌)/[高慢な天使(第29歌)?]	1963	木口木版	330×262
90	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 23:キリストの光の下にある庭(第23歌) / [キリストと聖母の勝利(第23歌)?]	1963	木口木版	330×262
91	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 24:マリアを賛美する(第24歌)	1963	木口木版	330×262
92	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 25:至福の魂の喜び(第25歌)	1963	木口木版	330×262
93	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 26:聖ヤコブの出現(第26歌)	1963	木口木版	330×262
94	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 27:聖ペテロとダンテ(第27歌)/[カッチャグイダの魂と会話するダンテ(第17歌)?]	1963	木口木版	330×262
95	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 28:忠実な天使(第28歌)	1963	木口木版	330×262
96	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 29:ベアトリーチェの超越的美しさ(第29歌)/[祈りにより恵みを得ることを教える聖ベルナルド(第32歌)?]	1963	木口木版	330×262
97	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 30:至高天に至る(第30歌)	1963	木口木版	330×262
98	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 31:至高天の天使たち(第31歌)/[聖ペテロとヤコブ(第25歌)?]	1963	木口木版	330×262
99	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 32:大天使ガブリエルと聖母マリア(第32歌)	1963	木口木版	330×262
100	『神曲』(ダンテ・アリギエーリ著)天国篇 33:マリアを讃える聖ベルナルドの祈り(第33歌)	1963	木口木版	330×262
2	1 『15の版画集』 犀	1968	エングレーヴィング	125×175
	2 『15の版画集』 象	1968	エングレーヴィング	175×125
	3 『15の版画集』 ナルキッソス	1968	エングレーヴィング	175×125
	4 『15の版画集』 ツルーズ=ロートレック	1968	エングレーヴィング	175×125
	5 『15の版画集』 メルクリウス	1968	エングレーヴィング	175×125
	6 『15の版画集』 レオナルド・ダ・ヴィンチ	1968	エングレーヴィング	175×125
	7 『15の版画集』 ファン・ゴッホ	1968	エングレーヴィング	175×125
	8 『15の版画集』 ミケランジェロ	1968	エングレーヴィング	175×125
	9 『15の版画集』 やわらかい電話	1968	エングレーヴィング	175×125
	10 『15の版画集』 ベガス	1968	エングレーヴィング	175×125
	11 『15の版画集』 レンブラント	1968	エングレーヴィング	175×125
	12 『15の版画集』 シャガール	1968	エングレーヴィング	175×125
	13 『15の版画集』 ピカソ	1968	エングレーヴィング	175×125
	14 『15の版画集』 ダリ	1968	エングレーヴィング	175×125
	15 『15の版画集』 やわらかい時計	1968	エングレーヴィング	175×125
3	馬乗り	1968	リトグラフ	1020×730
4	『ファウスト』(ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ著)より:子牛の頭	1969	エングレーヴィング	318×239
5	1 『毛皮のヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッハー=マゾフホ著) 鞭を持つ女	1968	エングレーヴィング	318×239

No.	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
2	『毛皮のヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッハー＝マゾッホ著) ヴェールを持つ女	1968	エングレーヴィング	318×239
3	『毛皮のヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッハー＝マゾッホ著) 紫のブーツ	1968	エングレーヴィング	318×239
4	『毛皮のヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッハー＝マゾッホ著) 靴の女	1968	エングレーヴィング	318×239
5	『毛皮のヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッハー＝マゾッホ著) ひざまづく女	1968	エングレーヴィング	318×239
6	『毛皮のヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッハー＝マゾッホ著) トルソ	1968	エングレーヴィング	318×239
7	『毛皮のヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッハー＝マゾッホ著) 黒人女たち	1968	エングレーヴィング	318×239
8	『毛皮のヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッハー＝マゾッホ著) 馬乗りの女	1968	エングレーヴィング	318×239
9	『毛皮のヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッハー＝マゾッホ著) 木の葉になった女	1968	エングレーヴィング	318×239
10	『毛皮のヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッハー＝マゾッホ著) 羽根飾り	1968	エングレーヴィング	318×239
11	『毛皮のヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッハー＝マゾッホ著) 枝苔並木道	1968	エングレーヴィング	318×239
12	『毛皮のヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッハー＝マゾッホ著) 刺激的なお尻	1968	エングレーヴィング	318×239
13	『毛皮のヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッハー＝マゾッホ著) 頭部	1968	エングレーヴィング	318×239
14	『毛皮のヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッハー＝マゾッホ著) 松葉杖の女	1968	エングレーヴィング	318×239
15	『毛皮のヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッハー＝マゾッホ著) 翼のある悪魔	1968	エングレーヴィング	318×239
16	『毛皮のヴィーナス』(レオポルト・フォン・ザッハー＝マゾッホ著) 靴に接吻する男	1968	エングレーヴィング	318×239
6	1 『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) トリスタンとイゾー	1970	ドライポイント	400×265
2	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) マルク王	1970	ドライポイント	400×265
3	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) モルオルトとの戦い	1970	ドライポイント	400×265
4	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) アイルランド王妃イゾーとその娘イゾー	1970	ドライポイント	400×265
5	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) トリスタンと竜	1970	ドライポイント	400×265
6	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) 傷ついたトリスタン	1970	ドライポイント	400×265
7	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) イゾーの到着	1970	ドライポイント	400×265
8	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) 邪悪な小びとフロサン	1970	ドライポイント	400×265
9	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) カサマツの下で	1970	ドライポイント	400×265
10	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) 断罪された恋人たち	1970	ドライポイント	400×265
11	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) 隠修士オグラ	1970	ドライポイント	400×265
12	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) マルク王の野営	1970	ドライポイント	400×265
13	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) アルテュール王の騎士たち	1970	ドライポイント	400×265
14	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) 王妃は絹のブリーオーを身に着けていた	1970	ドライポイント	400×265
15	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) 不実な三人の貴族	1970	ドライポイント	400×265
16	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) 巨人ベリアゴ	1970	ドライポイント	400×265
17	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) 白い手のイゾー	1970	ドライポイント	400×265
18	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) イゾーと侍女ブランゲース	1970	ドライポイント	400×265
19	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) 狂えるトリスタン	1970	ドライポイント	400×265
20	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) トリスタンの最後の戦い	1970	ドライポイント	400×265
21	『トリスタンとイゾー』(アンドレ・マリ編) トリスタンの遺言	1970	ドライポイント	400×265
7	1 『雅歌』 ソロモン王	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
2	『雅歌』 どうかあの方が、その口のくちづけをもって、わたしにくちづけしてくださるように(1:2)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
3	『雅歌』 どうぞ、そんなに見ないでください、日焼けして黒くなったわたしを(1:6)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
4	『雅歌』 恋人よ、あなたをたとえよう、ファラオの車をひく馬に(1:9)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
5	『雅歌』 恋人よあなたは美しい。あなたは美しく、その目は鳩のよう(1:15)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
6	『雅歌』 恋しい人の声が開こえます。山を越え、丘を跳んでやってきます。(2:8)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
7	『雅歌』 恋人はかもしかのよう、若い牡鹿のようです。ごらん下さい、もう家の外に立って窓からうかがい、格子の外からのぞいています(2:9)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
8	『雅歌』 見よ、ソロモンの輿を。輿を担う60人の勇士、イスラエルの精鋭(3:7)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
9	『雅歌』 恋人よ、あなたは何もかもが美しく傷ひとつもない(4:7)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
10	『雅歌』 恋しいあの人のはわたしのもの、わたしは恋しいあの人のも、ゆりの中で群れを飼っているあの人のも(6:3)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
11	『雅歌』 わたしはクルミの園に下りて行きました。流れのほとりの緑の茂みに、ぶどうの花は咲いたか、ざくろのつぼみは開いたか、見ようとして(6:11)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
12	『雅歌』 もう一度出ておいで、シュラムのおとめ。もう一度出ておいで、姿を見せておくれ(7:1)	1971	エッチング、ステンシル、金粉	400×250
8	1 『シュルレアリスムの思い出』 ダダ・シュルレアリスムの天使	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
2	『シュルレアリスムの思い出』 シュルレアリスム的な花娘	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
3	『シュルレアリスムの思い出』 ウルトラ・シュルレアリスムの微粒子のガルトツカ	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
4	『シュルレアリスムの思い出』 天空の象	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
5	『シュルレアリスムの思い出』 シュルレアリスム的な王様	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
6	『シュルレアリスムの思い出』 シュルレアリスム的な時間の目	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
7	『シュルレアリスムの思い出』 蝶に囲まれたガリのシュルレアリスムの肖像	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
8	『シュルレアリスムの思い出』 シュルレアリスム風に裸体で装う	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
9	『シュルレアリスムの思い出』 狂いに狂った狂気のミネルヴェ	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
10	『シュルレアリスムの思い出』 シュルレアリスム的な時計への思いやり	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
11	『シュルレアリスムの思い出』 シュルレアリスム的な松葉杖	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
12	『シュルレアリスムの思い出』 シュルレアリスム的な美術術	1971	フォトリトグラフ、エッチング	525×415
9	『シカゴの眺め』より：シカゴ・アート・インスティテュート	1972	エッチング、ステンシル	485×315
10	1 『パンタグリュエルの滑稽な夢』 No.2	1973	リトグラフ	760×560
2	『パンタグリュエルの滑稽な夢』 No.3	1973	リトグラフ	760×560
11	1 『不死のための10の処方』 リスのホログラフによって復活した人間	1973	エングレーヴィング	395×570
2	『不死のための10の処方』 ダリアヌス・ガラエの不死	1973	エングレーヴィング	420×320

No.	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)
3	『不死のための10の処方』 不死の墓碑銘	1973	エングレーヴィング	392×576
4	『不死のための10の処方』 遺伝帝国主義の不死	1973	エングレーヴィング	390×570
5	『不死のための10の処方』 大便食(糞して食べろ)システム	1973	エングレーヴィング	390×570
6	『不死のための10の処方』 カストルとポリュデウケスの不死	1973	エングレーヴィング	390×570
7	『不死のための10の処方』 立方体の四面体の不死	1973	エングレーヴィング	390×575
8	『不死のための10の処方』 聖三位一体、聖なる記憶の固執	1973	エングレーヴィング	415×315
9	『不死のための10の処方』 アナモルフォーズの中のアナモルフォーズ そしてすべてはホログラ	1973	エングレーヴィング	570×390
10	『不死のための10の処方』 ソエートローブとブレ塔	1973	エングレーヴィング	575×390
11	『不死のための10の処方』 君主制の立体鏡的・立体科学的不死	1973	エングレーヴィング	390×570
12 1	『イスラエルの12部族』 口絵	1973	エッチング、ステンシル	655×505
2	『イスラエルの12部族』 ベニヤミン族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
3	『イスラエルの12部族』 ルベン族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
4	『イスラエルの12部族』 シメオン族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
5	『イスラエルの12部族』 ヨセフ族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
6	『イスラエルの12部族』 ゼブルン族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
7	『イスラエルの12部族』 ユダ族	1973	エッチング、ステンシル	505×655
8	『イスラエルの12部族』 イサカル族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
9	『イスラエルの12部族』 アシエル族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
10	『イスラエルの12部族』 ダン族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
11	『イスラエルの12部族』 レビ族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
12	『イスラエルの12部族』 ガド族	1973	エッチング、ステンシル	505×655
13	『イスラエルの12部族』 ナフタリ族	1973	エッチング、ステンシル	655×505
13 1	『宇宙の征服者』 反物質の蝶たち	1974	エングレーヴィング、クロモリトグラフ	1000×700
2	『宇宙の征服者』 二重完全電子顕微鏡を備えた火星人大リ	1974	エングレーヴィング、クロモリトグラフ	1000×700
3	『宇宙の征服者』 宇宙の内臓円	1974	エングレーヴィング、クロモリトグラフ	1000×700
4	『宇宙の征服者』 5歳のダリが自分は昆虫だと思っていたが故に熱愛した地を這う生物たち	1974	エングレーヴィング、クロモリトグラフ	1000×700
14 1	『日本昔話』 花咲じい	1976	エッチング、ステンシル	660×505
2	『日本昔話』 湖山が長者	1976	エッチング、ステンシル	660×505
3	『日本昔話』 六地藏	1976	エッチング、ステンシル	660×505
15	『哲学者の錬金術師』より：王と王妃	1976	リトグラフ、エングレーヴィング、セリグラフ	760×560
16	『薔薇』	1975	ドライポイント、ステンシル	570×760
17	『回想録 II』より：トルソ(ヴィーナスの誕生)	1979	リトグラフ	748×545
s-1	キリンのヴィーナス	1973	ブロンズ	275×92×565
s-2	『不死のための10の処方』	1973	メタクリル樹脂とブロンズ	550×110×645
s-3	ニュートンに捧ぐ	1981	ブロンズ	210×85×390
s-4	記憶の持続	1981	ブロンズ	175×60×365
s-5	引き出しを持つミロのヴィーナス	1988	ブロンズ	100×85×365
s-6	天空の犀	1988	ブロンズ	165×40×330

歌川広重 二つの東海道五拾三次 江戸っ子たちの旅ログ!

会期：2018年10月5日(金)～11月25日(日) 46日間
 主催：北海道立函館美術館
 共催：北海道新聞函館支社
 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、
 函館山ロープウェイ(株)FMいるか
 協力：北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社
 特別協力：公益財団法人日動美術財団、日本美術商事株式会社
 観覧者数：6,384名
 観覧料：一般920(720)円、高大生610(410)円、小中生300(200)円

江戸時代の浮世絵師・歌川広重(1797[寛政9]～1858[安政5])は、1833(天保4)年に《東海道五拾三次之内》(保永堂版東海道五拾三次)の刊行を始めた。十返舎一九『東海道中膝栗毛』の大ヒットによる空前の旅ブームを背景に、「保永堂版東海道五拾三次」はたいへんな人気を博した。その後、広重は生涯を通じて20を超える東海道をモチーフにした浮世絵版画シリーズを手がけたという。

本展覧会では、そのうち最初に手がけた「保永堂版」と、その15年後に発表した「丸清版」をご紹介します。また、大正時代と平成初頭に撮影された宿場町の写真をあわせて展示し、過去と現在の風景を見比べてご覧いただくことができました。広重作品を通じて、江戸に居ながらにして東海道の旅を楽しんだ江戸っ子さながらに、江戸・京都間500kmの旅を楽しんでいただく機会となりました。

【関連事業】

ギャラリー・ツアー

日時：10月6日(土)14:00～14:30 聴講者数：32名
 11月17日(土)14:00～14:30 聴講者数：82名
 11月24日(土)14:00～14:30 聴講者数：46名
 講師：当館学芸員 会場：当館特別展示室(要観覧券)

ミュージアム・コンサート「箏のしらべ」

日時：10月21日(日) 14:00～14:40 聴講者数：68名
 出演：[箏]宮崎加奈古(雅是歌)、内藤雅実歌、[十七弦]平野雅智歌
 会場：当館特別展示室(要観覧券)

スイーツ&トーク「スイーツで楽しむ東海道」

日時：10月14日(日) 14:00～15:30 参加者：21名(事前申込制)
 協力：お菓子処 ひとつ風(函館市松陰町8-1)
 瀬川宗裕氏(裏千家淡交会函館支部)
 講師：当館学芸員 会場：当館展示室、カフェ

ランチ&トーク「ランチで楽しむ東海道」

日時：11月1日(木) 10:30～13:00 参加者：35名(事前申込制)
 協力：四季海鮮・旬花(函館市五稜郭町43-9五稜郭タワー2階)
 講師：当館学芸員 会場：四季海鮮・旬花、当館展示室

ハコビ・マジカル・ワークショップ「貝合わせを作って遊ぼう！」

日時：10月27日(土) 13:30～15:30 聴講者数：11名(事前申込制)
 講師：当館学芸員 会場：当館展示室、講堂

松前高校書道部 書道ワークショップ「旅への思いを書にしたためよう！」

日時：11月3日(土・祝) 14:00～16:00 参加者：33名
 講師：北海道松前高校書道部、天満谷貴之氏(書家・同校教諭)、当館学芸員
 会場：当館展示室、講堂



ポスター (B2) / チラシ (A4) 共通デザイン



チケット



展示風景

出品目録

No.	版	作品名	材質・形状	寸法	No.	版	作品名	材質・形状	寸法
1	保永堂 丸清版	日本橋「朝之景」 日本橋	木版多色刷・紙	大判錦絵	29	保永堂 丸清版	見附「天龍川図」 見附	木版多色刷・紙	大判錦絵
2	保永堂 丸清版	品川「日之出」 品川	木版多色刷・紙	大判錦絵	30	保永堂 丸清版	浜松「冬枯ノ図」 はま松	木版多色刷・紙	大判錦絵
3	保永堂 丸清版	川崎「六郷渡舟」 川崎	木版多色刷・紙	大判錦絵	31	保永堂 丸清版	舞坂「今切真景」 舞坂	木版多色刷・紙	大判錦絵
4	保永堂 丸清版	神奈川「臺之景」 神奈川	木版多色刷・紙	大判錦絵	32	保永堂 丸清版	荒井「渡舟ノ図」 荒井	木版多色刷・紙	大判錦絵
5	保永堂 丸清版	保土ヶ谷「新町橋」 程か谷	木版多色刷・紙	大判錦絵	33	保永堂 丸清版	白須賀「汐見逆図」 白須賀	木版多色刷・紙	大判錦絵
6	保永堂 丸清版	戸塚「元町別道」 戸塚	木版多色刷・紙	大判錦絵	34	保永堂 丸清版	二川「猿ヶ馬場」 二川	木版多色刷・紙	大判錦絵
7	保永堂 丸清版	藤沢「遊行寺」 藤沢	木版多色刷・紙	大判錦絵	35	保永堂 丸清版	吉田「豊川橋」 吉田	木版多色刷・紙	大判錦絵
8	保永堂 丸清版	平塚「繩手道」 平塚	木版多色刷・紙	大判錦絵	36	保永堂 丸清版	御油「旅人留女」 御油	木版多色刷・紙	大判錦絵
9	保永堂 丸清版	大磯「虎ヶ雨」 大磯	木版多色刷・紙	大判錦絵	37	保永堂 丸清版	赤坂「旅舎招婦ノ図」 赤坂	木版多色刷・紙	大判錦絵
10	保永堂 丸清版	小田原「酒匂川」 小田原	木版多色刷・紙	大判錦絵	38	保永堂 丸清版	藤川「棒鼻ノ図」 藤川	木版多色刷・紙	大判錦絵
11	保永堂 丸清版	箱根「湖水図」 箱根	木版多色刷・紙	大判錦絵	39	保永堂 丸清版	岡崎「矢矧之橋」 岡崎	木版多色刷・紙	大判錦絵
12	保永堂 丸清版	三島「朝霧」 三島	木版多色刷・紙	大判錦絵	40	保永堂 丸清版	池鯉鮒「首夏馬市」 池鯉鮒	木版多色刷・紙	大判錦絵
13	保永堂 丸清版	沼津「黄昏図」 沼津	木版多色刷・紙	大判錦絵	41	保永堂 丸清版	鳴海「名物有松紋」 鳴海	木版多色刷・紙	大判錦絵
14	保永堂 丸清版	原「朝之富士」 原	木版多色刷・紙	大判錦絵	42	保永堂 丸清版	宮「熱田神事」 宮	木版多色刷・紙	大判錦絵
15	保永堂 丸清版	吉原「左富士」 吉原	木版多色刷・紙	大判錦絵	43	保永堂 丸清版	桑名「七里渡口」 桑名	木版多色刷・紙	大判錦絵
16	保永堂 丸清版	蒲原「夜之雪」 蒲原	木版多色刷・紙	大判錦絵	44	保永堂 丸清版	四日市「三重川」 四日市	木版多色刷・紙	大判錦絵
17	保永堂 丸清版	由井「薩埵嶺」 由井	木版多色刷・紙	大判錦絵	45	保永堂 丸清版	石薬師「石薬師寺」 石薬師	木版多色刷・紙	大判錦絵
18	保永堂 丸清版	奥津「興津川」 興津	木版多色刷・紙	大判錦絵	46	保永堂 丸清版	庄野「白雨」 庄野	木版多色刷・紙	大判錦絵
19	保永堂 丸清版	江尻「三保遠望」 江尻	木版多色刷・紙	大判錦絵	47	保永堂 丸清版	龜山「雪晴」 龜山	木版多色刷・紙	大判錦絵
20	保永堂 丸清版	府中「阿部川」 府中	木版多色刷・紙	大判錦絵	48	保永堂 丸清版	関「本陣早立」 関	木版多色刷・紙	大判錦絵
21	保永堂 丸清版	鞠子「名物茶屋」 鞠子	木版多色刷・紙	大判錦絵	49	保永堂 丸清版	阪之下「筆捨嶺」 坂之下	木版多色刷・紙	大判錦絵
22	保永堂 丸清版	岡部「宇津之山」 岡部	木版多色刷・紙	大判錦絵	50	保永堂 丸清版	土山「春之雨」 土山	木版多色刷・紙	大判錦絵
23	保永堂 丸清版	藤枝「人馬継立」 藤枝	木版多色刷・紙	大判錦絵	51	保永堂 丸清版	水口「名物干瓢」 水口	木版多色刷・紙	大判錦絵
24	保永堂 丸清版	島田「大井川駿岸」 嶋田	木版多色刷・紙	大判錦絵	52	保永堂 丸清版	石部「日川ノ里」 石部	木版多色刷・紙	大判錦絵
25	保永堂 丸清版	金谷「大井川遠岸」 金谷	木版多色刷・紙	大判錦絵	53	保永堂 丸清版	草津「名物立場」 草津	木版多色刷・紙	大判錦絵
26	保永堂 丸清版	日坂「佐夜ノ中山」 日坂	木版多色刷・紙	大判錦絵	54	保永堂 丸清版	大津「走井茶屋」 大津	木版多色刷・紙	大判錦絵
27	保永堂 丸清版	掛川「秋葉山遠望」 懸川	木版多色刷・紙	大判錦絵	55	保永堂 丸清版	京師「三条大橋」 京	木版多色刷・紙	大判錦絵
28	保永堂 丸清版	袋井「出茶屋ノ図」 袋井	木版多色刷・紙	大判錦絵					

ケータイ絵文字のほっこりワールド ハコビ・コレクションの「文字と記号」

会期：2018年12月1日(土)～2019年2月3日(日) 51日間
 主催：北海道立函館美術館
 共催：北海道新聞函館支社
 後援：函館市、函館市教育委員会、函館山ロープウェイ(株)FMいるか
 協力：五稜郭タワー株式会社
 企画協力：株式会社NTTドコモ（「ケータイ絵文字のほっこりワールド」）
 助成：芸術文化振興基金（「ハコビ・コレクションの『文字と記号』」）
 観覧者数：1,828名
 観覧料：一般510(410)円、高大生300(200)円、
 65歳以上、中学生以下無料

「ケータイ絵文字のほっこりワールド」では、1999(平成11)年にNTT DOCOMOが開発した12×12ドットの絵文字176種類に、その後追加された絵文字を加えた244種類の絵文字を展示し、ケータイメールという現代的コミュニケーションのなかから生まれた、「文字と記号」に関わる最新の「アート」をご覧いただいた。また、「ハコビ・コレクションの『文字と記号』」では、当館が所蔵する書の秀作ならびに「文字と記号」に関わる現代美術の秀作を一堂に展示。あわせて、当館と連携協定を結んでいる公立はこだて未来大学の学生が、当館の「書」コレクションの作品をモチーフに制作した、参加型の映像インスタレーション「書の中に、からだごと飛び込め!」などを展示した。

【関連事業】

ギャラリー・ツアー

日時：12月1日(土)14:00～14:30 聴講者数：10名
 12月24日(月・祝)14:00～14:30 聴講者数：8名
 1月5日(土)14:00～14:30 聴講者数：7名
 講師：当館学芸員 会場：特別展示室(要観覧券)

冬休みハコビ・アトリエ「オリジナル・リースを作ろう!」

日時：12月15日(土)～1月20日(日) 各日9:30～16:30
 会場：当館ホール(参加無料) 参加者数：103名

クリスマス・ハンドベル・コンサート

日時：12月22日(土)14:00～14:30 聴講者数：46名
 出演：遺愛女子中学校ハンドベルクワイア
 会場：当館特別展示室(要観覧券)

ハコビ・マジカル・ワークショップ「つるし雛に挑戦!」

日時：1月26日(土)13:00～16:00 参加者数：20名(募集制)
 講師：山上照子氏(つるし雛作家)、当館学芸員
 会場：当館特別展示室、常設展示室、講堂



ポスター(B2)/チラシ(A4)共通デザイン



チケット



展示風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	備考
ハコビ・コレクションの「文字と記号」						
1	三島喜美代	NEWS PAPER F-87	1987(昭和62)	陶磁、シルクスクリーン	130.0×98.0×98.0	
2	前田守一	あらっ!	1968(昭和43)	ビニール、合板	90.0×90.0×10.0	
3	郭徳俊	フォードと郭(A)	1975(昭和50)	リトグラフ・紙	45.3×33.1	
4	バーバラ・クルーガー	無題(We will undo you)	1981-83	写真・ボード	185.0×124.0	
5	ジョセフ・コースス	題(芸術としての芸術という概念)	1967	印刷・板	125.0×125.0	
6	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープ II :チキン・ダンプリング	1969	シルクスクリーン・紙	各88.9×58.4	10点のうち2点を展示
7	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープ II :トマト・ビーフ・ヌードル	1969	シルクスクリーン・紙	各88.9×58.4	
	出版:The Paragon Press 企画制作:ジョシユア・コンプトン	版画集『アザー・メンズ・フラワーズ』	1995	版画集・全19葉		
8	ファクチュアル・ノンセン ス(デザイン)	アザー・メンズ・フラワーズ:序2	1994	木版・紙	61.0×47.0	全19葉の版画集のうち
9	ファクチュアル・ノンセン ス(デザイン)	アザー・メンズ・フラワーズ:序1	1994	木版・紙	61.0×47.0	全19葉の版画集のうち
10	ファクチュアル・ノンセン ス(デザイン)	アザー・メンズ・フラワーズ:タイトル	1994	木版・紙	61.0×47.0	全19葉の版画集のうち
11	ファクチュアル・ノンセン ス(デザイン)	アザー・メンズ・フラワーズ:出版事項	1994	木版・紙	61.0×47.0	全19葉の版画集のうち
12	スチュアート・ブリズレイ	アザー・メンズ・フラワーズ:無題	1994	凸版・紙	61.0×47.0	全19葉の版画集のうち
13	ヘンリー・ボンド	アザー・メンズ・フラワーズ:無題	1994	凸版・紙	61.0×47.0	全19葉の版画集のうち
14	ドン・ブラウン	アザー・メンズ・フラワーズ:無題	1994	モノタイプ・紙	61.0×47.0	全19葉の版画集のうち
15	マット・コリショー	アザー・メンズ・フラワーズ:無題	1994	凸版・紙	61.0×47.0	全19葉の版画集のうち
16	トレーシー・エミン	アザー・メンズ・フラワーズ:無題	1994	凸版・紙	61.0×47.0	全19葉の版画集のうち
17	アンガス・フェアファース	アザー・メンズ・フラワーズ:無題	1994	凸版・紙	47.0×61.0	全19葉の版画集のうち
18	リアム・キリック	アザー・メンズ・フラワーズ:無題	1994	凸版・紙	47.0×61.0	全19葉の版画集のうち
19	アンドリュー・ハーマン	アザー・メンズ・フラワーズ:無題	1994	スクリーンプリント・紙	61.0×47.0	全19葉の版画集のうち
20	アイタイ・ドローン	アザー・メンズ・フラワーズ:無題	1994	凸版・紙	61.0×47.0	全19葉の版画集のうち
21	ギャリー・ヒューム	アザー・メンズ・フラワーズ:無題	1994	スクリーンプリント・紙	61.0×47.0	全19葉の版画集のうち
22	ヘレン・チャドウィック	アザー・メンズ・フラワーズ:無題	1994	凸版・紙	47.0×61.0	全19葉の版画集のうち
23	サラ・ステイトン	アザー・メンズ・フラワーズ:無題	1994	凸版(活版)・紙	47.0×61.0	全19葉の版画集のうち
24	サム・テイラー＝ウッド	アザー・メンズ・フラワーズ:無題	1994	凸版・紙	47.0×61.0	全19葉の版画集のうち
25	マックス・ウィグラム	アザー・メンズ・フラワーズ:無題	1994	スクリーンプリント、凸版・紙	47.0×61.0	全19葉の版画集のうち
26	ギャビン・トーク	アザー・メンズ・フラワーズ:無題	1994	スクリーンプリント(蛍光インク)・紙	47.0×61.0	全19葉の版画集のうち
27	荒木高子	砂の聖書	1985(昭和60)	陶磁、シャモット、シルクスクリーン	57.0×33.3×14.0	
28	岡田博	RED	1971(昭和46)	アクリリック・キャンバス	72.8×103.0	
29	高松次郎	この七つの文字	1970(昭和45)	オフセット・紙	61.0×25.0	
30	高松次郎	THESE THREE WORDS	1970(昭和45)	オフセット・紙	80.0×56.0	
31	河原温	NOV.23,1971 TODAY NO.111	1971(昭和46)	アクリリック・キャンバス、紙箱付属	25.4×33.0	
32	荒川修作	DISTANCE OF FORMING/MODEL BY MODEL/THE	1980(昭和55)	リトグラフ、シルクスクリーン・紙	86.6×160.0	
33	村上善男	黒石府下之図油横丁に釘打ち	1992(平成4)	アクリリック・キャンバス	182.5×228.5	
34	村上善男	津軽街道十面澤に十丁杭	1987(昭和62)	鉛筆、糸・紙	100.8×53.8	
ケータイ絵文字のほっこりワールド NTT DOCOMOの初期の絵文字から						
35	株式会社NTTドコモ	携帯絵文字 オリジナルセットより	1999(平成11)	インクジェットプリント・紙	12×12ドット	協力:渡島総合振興局 東部森林室、株式会社ハルキ、和信化学工業株式会社
ハコビ・コレクションの「文字と記号」						
36	ジェニー・ホルツァー	4つのテキスト:「暴行殺人」「走毒」「アルノ川」「青」	1993-98	LEDサイン(ブルーダイオード) *計641語の英文テキストを反復点滅	146.7×7.6×13.3	
37	石飛博光	黒白黒黒白	2001(平成13)	墨・紙・額(二面)	各118.0×352	
38	金兌庭	原始シリーズII 自然回帰 好古敏而求之者也	1988	ミクストメディア・麻布	124.0×167.0	
39	金兌庭	原始シリーズII 自然回帰 仁宅弘祥	1988	ミクストメディア・麻布	124.0×167.0	
40	金昌烈	解体	1985-88	油彩・麻布、他	193.5×290.5	
41	金昌烈	水滴	1986	油彩・麻布	162.5×97.0	
42	ジョルジュ・マチュー	グリーン・パロック	1961	油彩・キャンバス	195.0×96.0	
43	篠田桃紅	漸く	1991(平成3)	墨、銀泥・紙	180.2×136.5	
44	中島荘牛	睡蓮	2006(平成18)	墨・紙	57.0×237.0	
45	荒木高子	岩の聖書	1987(昭和62)	陶磁、シャモット、シルクスクリーン	63.0×46.0×15.0	
46	作者不詳	李朝絵文字(義)	朝鮮時代	紙本彩色・軸	50.0×30.0	
47	永田青雲	風	2007(平成19)	墨・紙・屏風(二曲一隻)	138.7×140.0	

No.	作家名	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	備考
48	比田井南谷	作品63-11	1963(昭和38)	墨・紙	124.0×92.0	
49	平林薫	五十一音一箱	1985(昭和60)	杉板、ベニヤ板、紙粘土ほか(51点組)	各50.0×20.5×50.0 (各箱は開閉式で、 開閉角度により幅と 奥行は約2倍寸まで 可変)	
50	小川東州	鶴	1977(昭和52)	墨・紙	61.5×57.3	
51	小川東州	鶴	1977(昭和52)	墨・紙	59.3×67.5	
ハコビ×公立はこだて未来大学 展示						
52	藤原瞳(公立はこだて未来大学)	書の中に、からだごと飛び込め!	2018(平成30)	PC、キネクトセンサー、プロジェクター		作者蔵
53	金子鷗亭	小野十三郎詩 断崖	1955(昭和30)	墨・紙	68.0×134.5	当館受託(函館市蔵)
54	金子鷗亭	北原白秋詩 海雀	1952(昭和27)	墨・紙	67.5×132.5	当館受託(函館市蔵)
55	金子鷗亭	松尾芭蕉六句	1994(平成6)	墨・紙・屏風(六曲一隻)	各138.0×33.5(六連)	
56	栗田千里、元瑄、佐々木知有、佐々木成泉(公立はこだて未来大学)	アート・パズルで遊ぼう!	2018(平成30)	Raspberry Pi、木枠、パネル、ディスプレイ		作者蔵
57	鶴川五郎	森の魑魅魍魎A	2007(平成19)	油彩・キャンベル	72.7×90.9	
58	炭光任	蛾と蝶	1965-1974 (昭和40年代)頃	絹本彩色・額	50.0×40.0	

*所蔵に記載のない作品はすべて当館蔵

生誕110年 岩船修三展／同時開催 水辺のものがたり

会期：2019年2月9日(土)～4月7日(日) 58日間
 主催：北海道立函館美術館
 共催：北海道新聞函館支社
 後援：函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、
 函館山ロープウェイ(株)FMいるか
 協力：北海道旅客鉄道(株)函館支社、五稜郭タワー株式会社
 観覧者数：2,449名
 観覧料：一般510(410)円、高大生300(200)円、
 65歳以上および中学生以下無料

本展では、特別展示室を前半と後半の二つに分け、「生誕110年 岩船修三展」と「水辺のものがたり」展を開催。合計72点の作品をご紹介します。

「生誕110年 岩船修三展」では、函館出身の洋画家・岩船修三の画業を回顧。岩船は、函館商業学校(現・北海道函館商業高校)在学中から油彩画に取り組んだ。同校卒業後は上京し、洋画家の青山熊治に師事。1930(昭和5)年に帝展初入選。1936年からは3年間フランスに留学し、ピカソやマティスの知遇を得た。戦後は、全道展の創立や赤光社の再建に加わり、道内画壇をけん引する存在になった。今回、当館の所蔵作品に加え、市内の個人蔵によるアイヌ・ユウカラシリーズ16点(平成30年度末当館に寄贈)をあわせて展示した。

「水辺のものがたり」展では、流水、湖沼、海という三つのテーマのもとに、当館の所蔵作品をご覧いただいた。今金町出身の画家・長内さゆみの光まばゆい油彩画と書家・中島荘牛のしたためた書による「睡蓮」の競演、作風も色彩も対照的な三箇三郎と瀬戸英樹それぞれが描く函館の海景、函館出身の岡沼淳一による大型の彫刻などをご紹介します。



ポスター(B2)／チラシ(A4)共通デザイン

【関連事業】

ギャラリー・ツアー

日時：3月9日(土) 14:00～14:30 聴講者数：13名
 3月23日(土) 14:00～14:30 聴講者数：42名
 3月30日(土) 14:00～14:30 聴講者数：306名
 講師：当館学芸員 会場：当館特別展示室(要観覧券)

アーティスト・トーク

日時：2月9日(土) 10:00～11:00 聴講者数：45名
 講師：岡沼淳一氏(彫刻家)
 会場：当館特別展示室(要観覧券)

絵本の読み聞かせ

日時：3月10日(日) 11:00～11:30 参加者：34名
 3月17日(日) 11:00～11:30 参加者：28名
 出演：函館絵本の会 銀のふね
 会場：当館特別展示室(要観覧券)

ハコビでお茶会

日時：3月2日(土) 10:00～15:00 参加者：249名
 席主：内山宗幸氏(表千家同門会函館支部)
 講師：当館学芸員 会場：当館ホール、展示室



チケット



岩船修三展展示風景



水辺のものがたり展示風景

出品目録

No.	作者	作品名	制作年	材質・形状	寸法 (cm)	所蔵	備考
生誕110年 岩船修三展							
1	岩船修三	貂の嫁になるのを嫌ってテンに福寿草にされた女神クナウ	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	65.2×80.3		
I 戦前の歩みー上京、渡仏ー							
2	岩船修三	貝と野原	1933(昭和8)	油彩・キャンバス	72.0×89.2		
3	岩船修三	海の静物	1934(昭和9)	油彩・キャンバス	130.0×162.3		
4	岩船修三	フランスの女	1938(昭和13)	油彩・キャンバス			
5	岩船修三	ブレ村(フランス)	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	34.4×43.4		
6	岩船修三	毀された静物	1938(昭和13)頃	油彩・キャンバス	80.5×117.0		
7	岩船修三	ピカソによる習作	1938-1939 (昭和13-14)	油彩・キャンバス	130.0×162.0		
II 色彩画家としての飛躍							
8	岩船修三	画家の家族	1951-1953 (昭和26-28)	油彩・キャンバス	129.0×161.0		
9	岩船修三	丘陵	1949(昭和24)	油彩・キャンバス	91.0×116.8		
10	岩船修三	野犬	1958(昭和33)	油彩・キャンバス	96.0×143.2		
11	岩船修三	鼻と花	1961(昭和36)頃	油彩・キャンバス	96.5×130.5		
12	岩船修三	鼻と少女	1963(昭和38)頃	油彩・キャンバス	71.0×89.1		
13	岩船修三	花と少女	1969(昭和44)	油彩・キャンバス			
14	岩船修三	釣られた魚	1963(昭和38)頃	油彩・キャンバス	97.0×145.5		
15	岩船修三	蟹	1964(昭和39)頃	油彩・キャンバス	90.0×91.0		
16	岩船修三	蜂の巣と少年	1965(昭和40)	油彩・キャンバス	130.0×162.0		
17	岩船修三	森の中(森にすむコロポックルと鼻)	1966(昭和41)	油彩・キャンバス	130.2×162.0		
18	岩船修三	雪中鳥	1969(昭和44)	油彩・キャンバス	130.0×161.5		
19	岩船修三	小鳥を捕えたコロポックル	1966(昭和41)頃	油彩・キャンバス	95.5×128.5		
20	岩船修三	樹	1970(昭和45)	油彩・キャンバス	130.3×162.0		
III アイヌ・ユウカラの世界を描く							
21	岩船修三	国造りの神(コタン・カム・カムイ)と妹の女神と天下る	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	44.2×51.8	個人蔵	
22	岩船修三	蔦の葉の下の神さまコロポックル達	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	59.4×71.5	個人蔵	
23	岩船修三	蔦の葉の下の神さまコロポックル達	1973(昭和48)頃	油彩・キャンバス	59.3×71.5	個人蔵	
24	岩船修三	魚を捕えたコロポックル	1973(昭和48)頃	油彩・キャンバス	36.8×44.3	個人蔵	
25	岩船修三	アイヌラックル(尊い神)に汚水をかけたメノコ(娘)二人が罰され裸にされる	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	52.0×63.8	個人蔵	
26	岩船修三	男を誘惑する裸女のパウチ(淫魔)	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	44.2×51.7	個人蔵	
27	岩船修三	魔神の大鯨(アメマス)と戦うアイヌ・ラック	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	72.0×89.8	個人蔵	
28	岩船修三	クンネルクカムイ(夜叫ぶ神)ふくろう	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	60.6×72.7		
29	岩船修三	柳の葉から魚になったシシャモ魚	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	44.3×51.8	個人蔵	
30	岩船修三	鹿を支配する神にチャランケしているカケスの女神	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	48.8×59.3	個人蔵	
31	岩船修三	災いを知らせる善い狐の神様	1973(昭和48)頃	油彩・キャンバス	64.0×79.1	個人蔵	
32	岩船修三	災いを知らせる良い狐	1973(昭和48)頃	油彩・キャンバス	30.7×40.0	個人蔵	
33	岩船修三	森の中の神々	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	91.0×116.8		
34	岩船修三	寂しいアイヌの翁	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	71.5×59.7	個人蔵	
35	岩船修三	神々の住む山とアイヌの翁	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	89.5×115.5	個人蔵	
36	岩船修三	神々の住む山	1973(昭和48)	油彩・キャンバス			
37	岩船修三	部落の守神(コタンクカムイ)の縞鼻	1973(昭和48)頃	油彩・キャンバス	89.2×115.2	個人蔵	
38	岩船修三	部落の守神(コタンクカムイ)の縞鼻	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	44.2×52.0	個人蔵	
39	岩船修三	人間をこまらせるニチネカムイ(魔神)と戦うサマイクカムイとキムンカムイ(山の神)の熊	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	80.3×100.0		
40	岩船修三	神から贈られた熊を弓射るアイヌ	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	44.5×52.0	個人蔵	
41	岩船修三	カリブーのいるアラスカの丘	1975(昭和50)	油彩・キャンバス	60.0×72.0		
42	岩船修三	晩秋の旭岳	1970年代	油彩・キャンバス	72.7×60.6		
43	岩船修三	アラスカ山脈(マッキンレー)	1984(昭和59)	リトグラフ・紙			『岩船修三石版画集』展示期間: 2月9日～3月10日
44	岩船修三	秋の大雪山	1984(昭和59)	リトグラフ・紙			『岩船修三石版画集』展示期間: 3月12日～4月7日
45	岩船修三	憩う女	1984(昭和59)	リトグラフ・紙			『岩船修三石版画集』展示期間: 2月9日～3月10日
46	岩船修三	はこだて港	1984(昭和59)	リトグラフ・紙			『岩船修三石版画集』展示期間: 3月12日～4月7日

No.	作者	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	所蔵	備考
出品資料							
1		ゴッホの墓前にて	1936-1939 (昭和11-14)	写真			
2		滞欧中の岩船修三	1936-1939 (昭和11-14)	写真			
3		《ノモンハン決戦》を描く		写真			
4		1945年、旭川にて	1945(昭和20)	写真			
5		幼い子供たちと		写真			
6		喫煙する岩船修三		写真			
7		自作を眺める岩船修三		写真			
8	画:岩船修三 詩:更科源蔵	『ユーカラ画集』画集	1973(昭和48)	書籍			1週間ごとに頁替え
9	画:岩船修三 詩:更科源蔵	『子どものためのユーカラ画集』より「宿なし仔熊」	1977(昭和52)	画集(マット装)			展示期間:3月12日～4月7日
10	画:岩船修三 詩:更科源蔵	『子どものためのユーカラ画集』より「大きな神さま」	1977(昭和52)	画集(マット装)			展示期間:2月9日～3月10日
11	画:岩船修三 詩:更科源蔵	『子どものためのユーカラ画集』より「落葉の下の小さな神さまコロボックル」	1977(昭和52)	画集(マット装)			展示期間:3月12日～4月7日
12	画:岩船修三 詩:更科源蔵	『子どものためのユーカラ画集』より「一番偉い鼻の神さま」	1977(昭和52)	画集(マット装)			展示期間:2月9日～3月10日
水辺のものかたり							
流水							
1	松本春子	万葉集 志貴皇子の歌	1970年代	墨・紙	27.2×24.2		
2	田辺三重松	五稜郭初秋	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	60.0×72.0	函館市蔵(当館受託)	
3	伊藤聰	流 韻	2002(平成14)	油彩・キャンバス			
4	西村舟水	清流	1985(昭和60)	墨・紙	127.1×50.6		
湖沼							
5	田辺三重松	緑の池畔	1947(昭和22)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	函館市蔵(当館受託)	
6	田辺三重松	駒ヶ岳	制作年不詳	油彩・キャンバス	48.5×59.5		
7	田辺三重松	阿寒湖	1963(昭和38)	油彩・キャンバス	123.0×302.0		
8	長内さゆみ	睡蓮－雲－	2007(平成19)	油彩・キャンバス			
9	中島荘牛	睡蓮	2006(平成18)	墨・紙	57.0×237.0		
海							
10	池谷寅一	修道院遠望	1973(昭和48)	油彩・キャンバス	112.1×145.5		
11	田辺三重松	おつけの浜	1947(昭和22)	油彩・キャンバス	90.9×116.7	函館市蔵(当館受託)	
12	田辺三重松	夏の港町	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	97.0×145.5	函館市蔵(当館受託)	
13	田辺三重松	船	1960(昭和35)	油彩・キャンバス	116.7×90.9	函館市蔵(当館受託)	
14	田辺三重松	神威岬	1969(昭和44)	油彩・キャンバス	115.0×141.0	函館市蔵(当館受託)	
15	蛭子善悦	白い港(ノルマンディー)	1987(昭和62)	油彩・キャンバス	112.1×135.5		
16	木村捷司	函館旧棧橋	1962(昭和37)	油彩・キャンバス	112.0×162.1		
17	中野北溟	原田康子詩 ふるさと(海)	1983(昭和58)	墨・紙	69.0×78.4		
18	相田幸男	鷗翔－H市の記憶	2005(平成17)	油彩・キャンバス	161.9×258.0		
19	平田鳥閑	高野素十句 一瀑の	1984(昭和59)	油彩・キャンバス	103.0×132.3		
20	三箇三郎	前線通過	2009(平成21)	油彩・キャンバス			
21	岡沼淳一	Mountain Stream	2018(平成30)	埋もれ木(ニレ)	400.0×40.0×132.0	作者蔵	
22	瀬戸英樹	海峡からの潮風(かぜ) 立待岬	2013(平成25)	油彩・キャンバス			
23	瀬戸英樹	海峡からの潮風(かぜ) 陸に上がった	2013(平成25)	油彩・キャンバス			
24	瀬戸英樹	海峡からの潮風(かぜ) 昆布干し場	2014(平成26)	油彩・キャンバス			
25	瀬戸英樹	海峡からの潮風(かぜ) 船小屋	2013(平成25)	油彩・キャンバス			
26	三箇三郎	ワイングラスの陽	2007(平成19)	油彩・キャンバス	130.3×162.1		

*所蔵に記載のない作品はすべて当館蔵